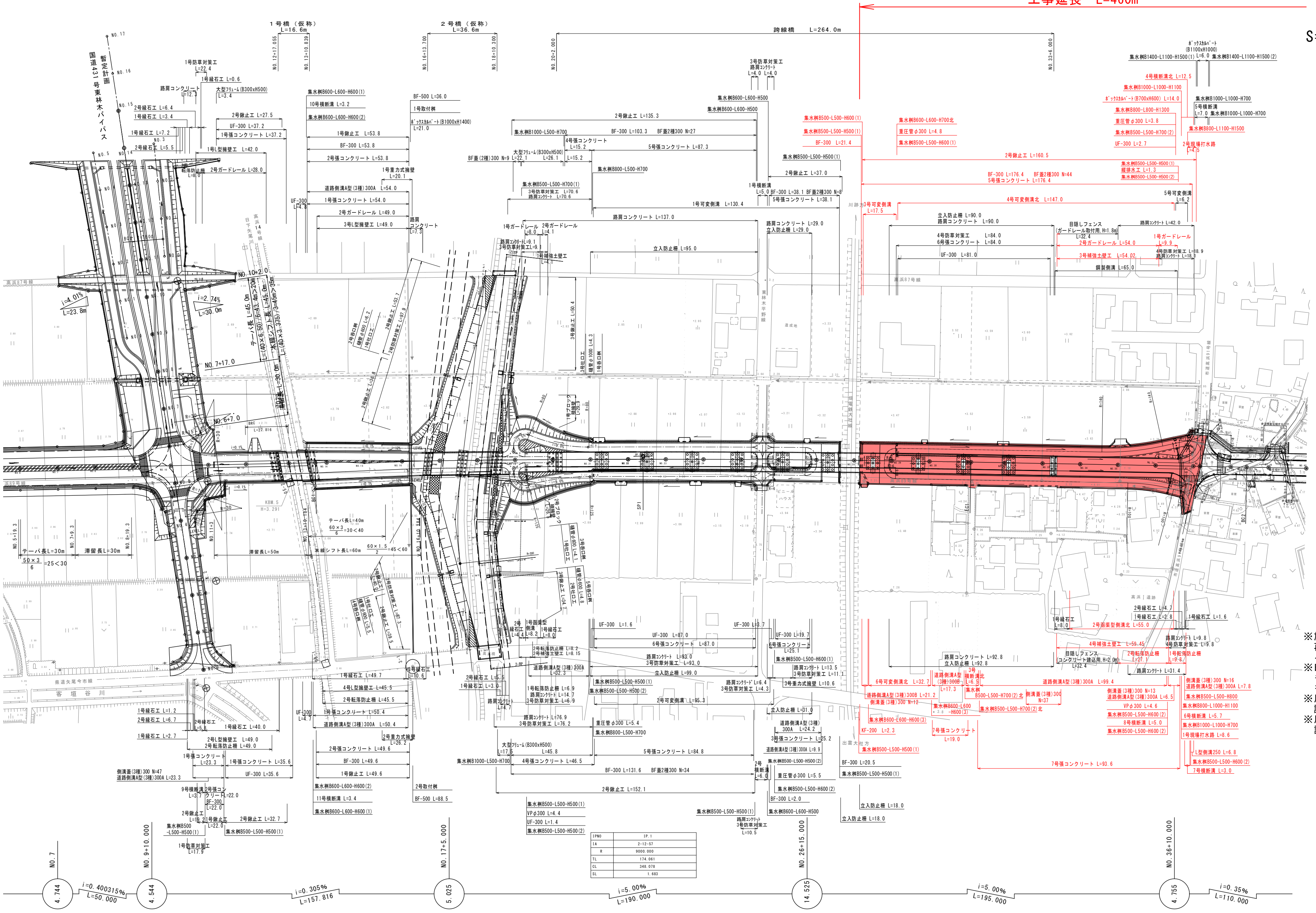
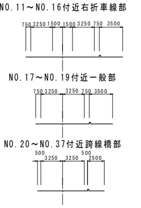
(一)矢尾今市線 大塚工区 平面図

工事延長 L=460m

S=1:1000



(一) 矢尾今市線　道路規格



凡	例
	路　面
	切土法面
	盛土法面
	排水路
	用水路
	コンクリート構造物
	上水道(既設)

※施工時に東林木バイパス交差点施工済部の再確認を行い、必要ならば計画を整合させること。
※田区等への進入路は、図示していないものも含めて施工時に地権者と協議の上、位置を最終決定すること。
※用水路の取水位置は、施工時に地権者と協議の上、決定すること。
※用水路の分水部の桝については、角落しを設けること。

実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡㊚ 矢尾 里方 ㊊村 大字　地内
図面名称	平面図　縮尺1:1000
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	
79 葉の内 1	

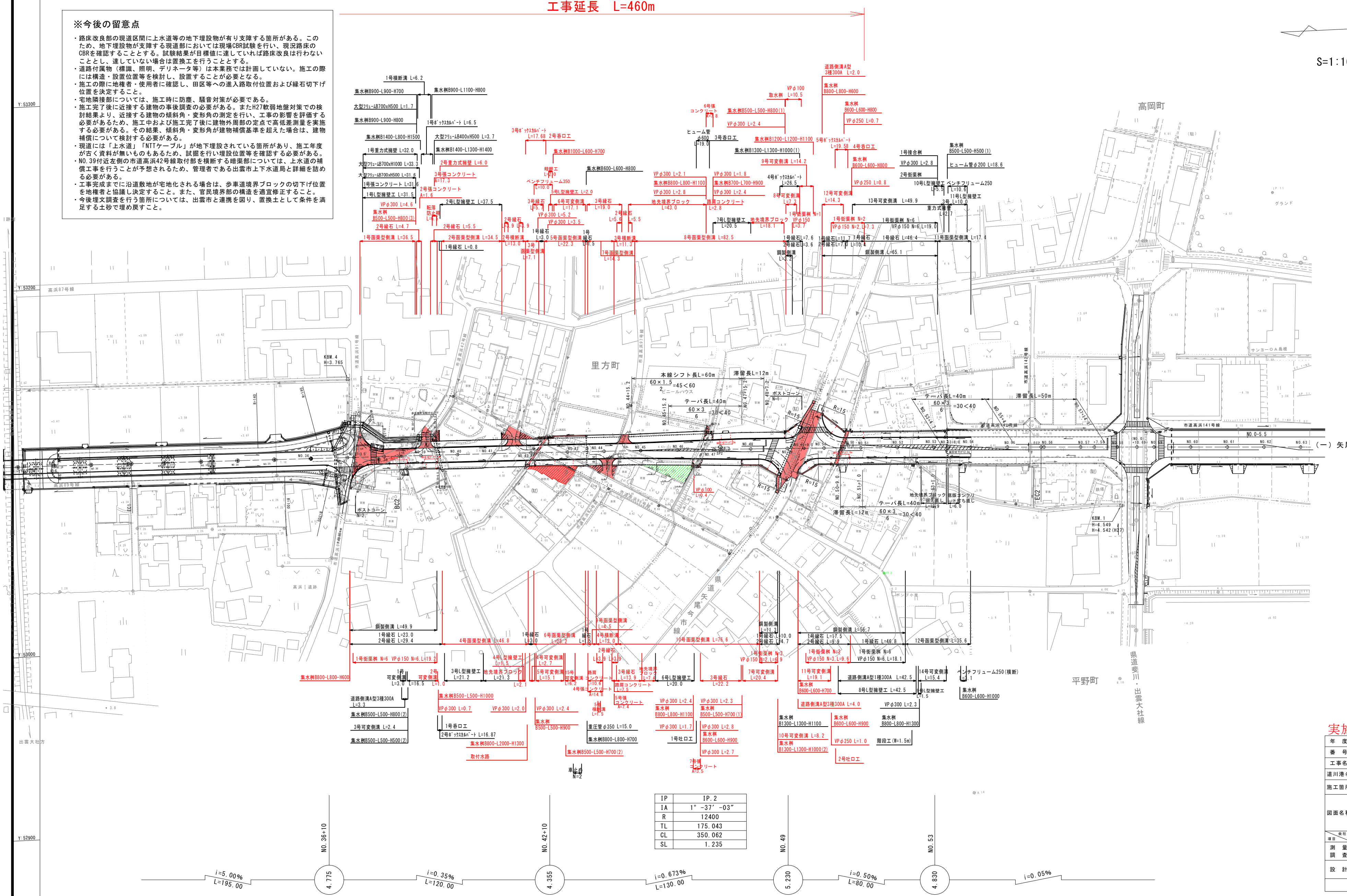
(一)矢尾今市線大塚工区 防災安全交付金(改築)工事 平面図

工事延長 L=460m

S=1:1000

※今後の留意点

- 路床改良部の現道区間に上水道等の地下埋設物が有り支障する箇所がある。このため、地下埋設物が支障する現道部においては現場CBR試験を行い、現況路床のCBRを確認することとする。試験結果が目標値に達していれば路床改良は行わないこととし、達していない場合は置換工を行うこととする。
- 道路付属物（標識、照明、デリネータ等）は本業務では計画していない。施工の際には構造・設置位置等を検討し、設置することが必要となる。
- 施工の際に地権者・使用者に確認し、田区等への進入路取付位置および縁石切下げ位置を決定すること。
- 宅地隣接部については、施工時に防塵、騒音対策が必要である。
- 施工完了後に近接する建物の事後調査の必要がある。またH27軟弱地盤対策での検討結果より、近接する建物の傾斜角・変形角の測定を行い、工事の影響を評価する必要があるため、施工中および施工完了後に建物外周部の定点で高低差測量を実施する必要がある。その結果、傾斜角・変形角が建物補償基準を超えた場合は、建物補償について検討する必要がある。
- 現道には「上水道」「NTTケーブル」が地下埋設されている箇所があり、施工年度が古く資料が無いものもあるため、試掘を行い埋設位置等を確認する必要がある。
- NO.39付近左側の市道高浜42号線取付部を横断する暗渠部については、上水道の補償工事を行うことが予想されるため、管理者である出雲市上下水道局と詳細を詰める必要がある。
- 工事完成までに沿道敷地が宅地化される場合は、歩車道境界ブロックの切下げ位置を地権者と協議し決定すること。また、官民境界部の構造を適宜修正すること。
- 今後埋文調査を行う箇所については、出雲市と連携を図り、置換土として条件を満足する土砂で埋め戻すこと。



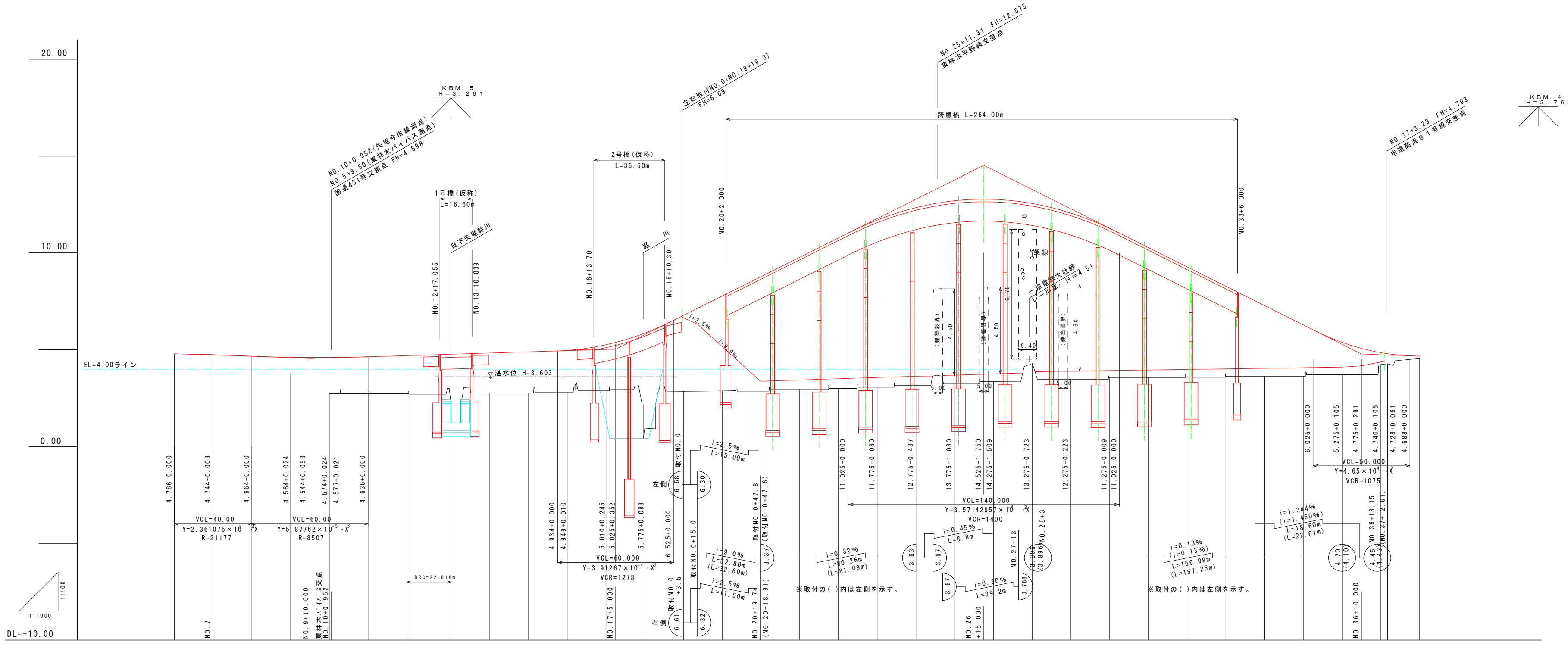
IP	IP.2
IA	1° -37′ -03″
R	12400
TL	175.043
CL	350.062
SL	1.235

(一) 矢尾今市線 道路規格
第3種第2級
V=60km/hr
右折車線部
一般部

凡	例
	路面
	切土法面
	盛土法面
	排水路
	用水路
	コンクリート構造物
	上水道(既設)
	NTTケーブル(既設)
	幅杭

実施　　第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 高岡/里方 町/村 大字 地内
図面名称	平面図 縮尺1:1000
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設計	
	79 葉の内 2



勾配	i=0.211429%	4.744	i=0.400315% L=50.000	4.544	i=0.305% L=157.816	5.025	i=5.00% L=190.000	14.525	i=5.00% L=195.000	4.775	i=0.35%

測点	盛土	切土	計画高	地盤高	追加距離	単距離
NO.6			4.786		120.000	20.000
NO.7			4.735		140.000	20.000
NO.8			4.664		160.000	20.000
NO.9			4.608		180.000	20.000
NO.10	1.87		4.598	2.73	200.000	20.000
NO.11	1.91		4.635	2.73	220.000	20.000
NO.12	1.97		4.696	2.73	240.000	20.000
NO.13	2.35		4.766	2.42	262.816	22.816
BC1	2.04		4.808	2.77	276.735	13.919
NO.14	2.06		4.827	2.77	282.816	6.081
NO.15	2.12		4.888	2.77	302.816	20.000
NO.16	2.15		4.959	2.81	322.816	20.000
NO.17	2.38		5.255	2.88	342.816	20.000
NO.18	4.92		5.863	0.94	362.816	20.000
NO.19	3.93		6.775	2.85	382.816	20.000
NO.20	4.91		7.775	2.87	402.816	20.000
NO.21	5.92		8.775	2.86	422.816	20.000
NO.22	6.86		9.775	2.92	442.816	20.000
SP1	7.25		10.173	2.92	450.774	7.958
NO.23	7.78		10.775	3.00	462.816	12.042
NO.24	8.64		11.695	3.06	482.816	20.000
NO.25	9.18		12.338	3.16	502.816	20.000
NO.26	9.47		12.695	3.23	522.816	20.000
NO.27	9.42		12.766	3.35	542.816	20.000
NO.28	8.27		12.552	4.28	562.816	20.000
NO.29	8.58		12.052	3.47	582.816	20.000
NO.30	7.71		11.266	3.56	602.816	20.000
NO.31	6.72		10.275	3.56	622.816	20.000
EC1	6.62		10.175	3.56	624.813	1.997
NO.32	5.71		9.275	3.57	642.816	18.003
NO.33	4.65		8.275	3.63	662.816	20.000
NO.34	3.65		7.275	3.63	682.816	20.000
NO.35	2.65		6.275	3.63	702.816	20.000
NO.36	1.67		5.380	3.71	722.816	0.000
NO.37	0.61		4.845	4.23	742.816	20.000
+3.5	0.53		4.789	4.26	746.316	3.500
NO.38	0.13		4.670	4.54	762.816	16.500

曲線方向: IP.1 IA=2-12-57 R = 9000 CL=348.078 TL=174.061SL= 1.683

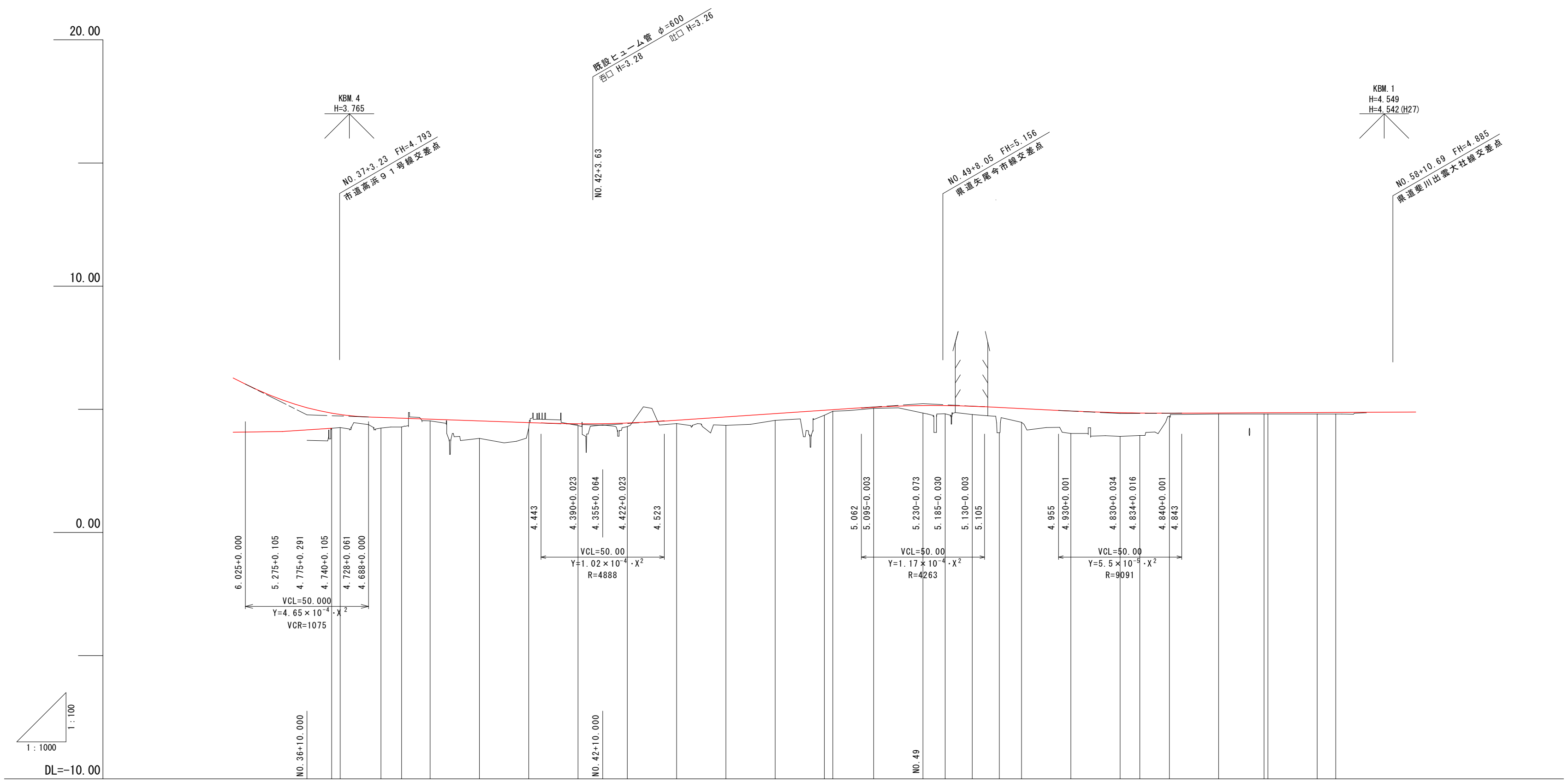
片勾配摺付図: 左側 ——— 右側 —·— -1.50%

拡幅量: 左側 右側

実施 第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金（改築）工事
道川港名	（一）矢尾今市線（大塚工区）
施工箇所	出雲 郡 ㊫ 矢尾 里方 ㊒ 村 大字 地内
図面名称	縦断図 縮尺 図示
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

79 葉の内 3



勾配: i=5.00% ／ 4.775 ／ i=0.35% L=120.000 ／ 4.355 ／ i=0.673% L=130.000 ／ 5.230 ／ i=0.50% L=80.000 ／ 4.830 ／ i=0.05%

測点	追加距離	単距離	地盤高	計画高	盛土	切土
				6.275		
				5.380		
NO.37	742.816	20.000	4.23	4.845	0.62	
+3.5	746.316	3.500	4.26	4.789	0.53	
NO.38	762.816	16.500	4.24	4.670	0.43	
BC2	771.190	8.374	4.28	4.641		
NO.39	782.816	11.626	4.53	4.600	0.07	
NO.40	802.816	20.000	3.82	4.530	0.71	
NO.41	822.816	20.000	4.24	4.460	0.22	
NO.42	842.816	20.000	4.34	4.413	0.07	
NO.43	862.816	20.000	4.30	4.445	0.15	
NO.44	882.816	20.000	4.42	4.557	0.14	
NO.45	902.816	20.000	4.35	4.692	0.34	
NO.46	922.816	20.000	4.55	4.826	0.28	
NO.47	942.816	20.000	4.76	4.961	0.20	
SP.2	946.221	3.405	4.92			
NO.48	962.816	16.595	5.04	5.092	0.05	
NO.49	982.816	20.000	4.85	5.157	0.31	
+9.0	991.816	9.000	4.82	5.155	0.34	
NO.50	1002.816	11.000	4.79	5.127	0.34	
+11.0	1013.816	11.000	4.05	5.075	1.03	
NO.51	1022.816	9.000	4.47	5.030	0.56	
NO.52	1042.816	20.000	4.02	4.931	0.91	
NO.53	1062.816	20.000	3.90	4.864	0.96	
+8.0	1070.816	8.000	3.94	4.850	0.91	
NO.54	1082.816	12.000	4.72	4.841	0.12	
NO.55	1102.816	20.000	4.81	4.850	0.04	
EC2	1121.252	18.436	4.81			
NO.56	1122.816	1.564	4.81	4.860	0.05	
NO.57	1142.816	20.000	4.81	4.870	0.06	
+7.5	1150.316	7.500	4.81	4.874	0.06	
				4.880		
				4.890		

曲線方向: IP.2 IA=1-37-03 R =12400.000 CL=350.062 TL= 175.043 SL= 1.235

片勾配摺付図: 左側 ——— 右側 —·— -1.50% … -1.50%

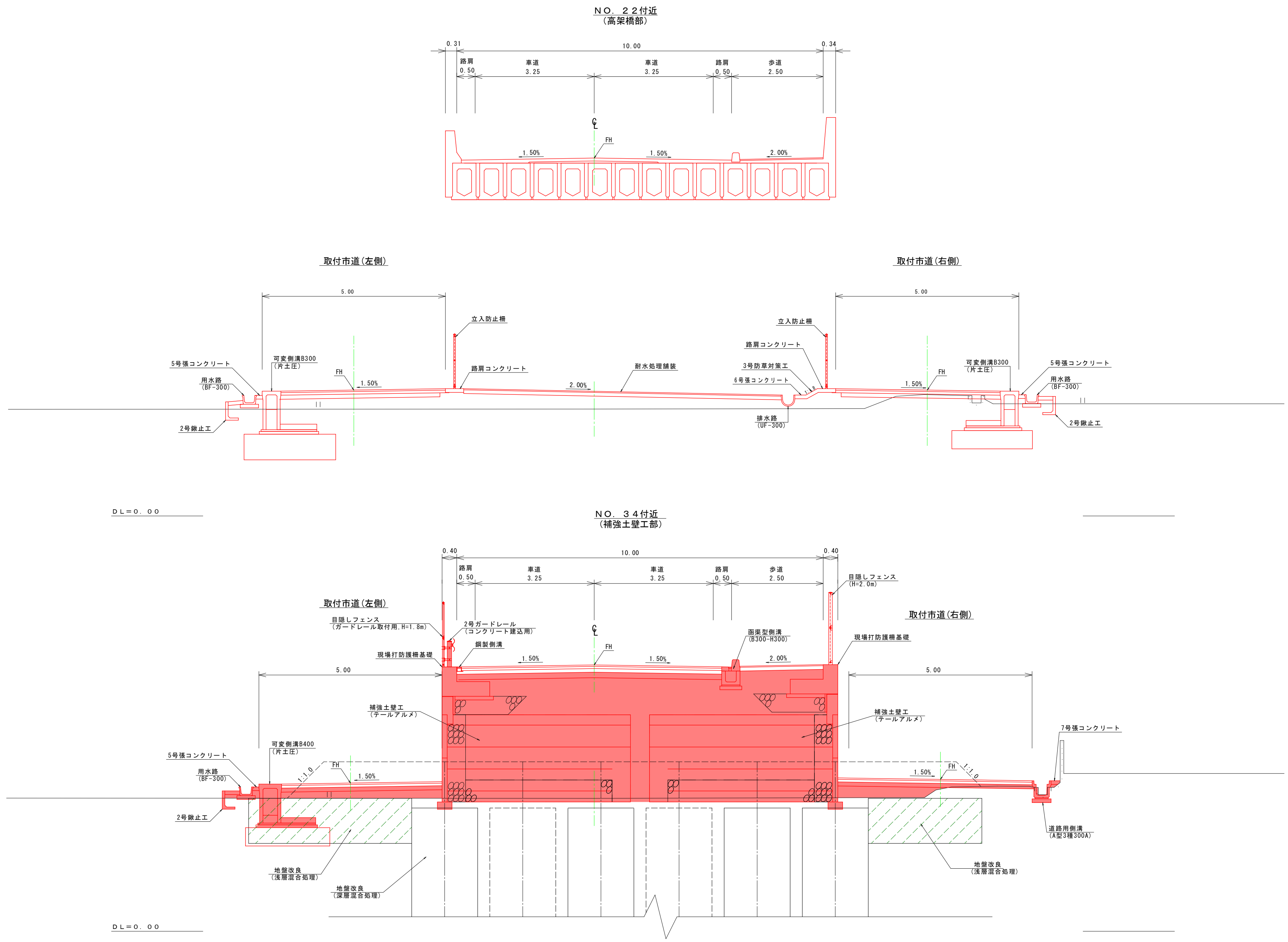
拡幅量: 左側 右側

実施 第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 市 高岡 里方 町 大字 地内
図面名称	縦断面図
	縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

79 葉の内 4

標 準 断 面 図 (2/3) S=1:50



実施 第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊂ 矢尾 里方 ㊅/村 大字 地内
図面名称	標準断面図 縮尺 図示
会社名 / 項目	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	
	79 葉の内 5

標準断面図 (3/3) S=1:50

本 線
舗 装 構 成 S=1:10

車 道 部

交通量区分 N5(旧B交通)
設計CBR 12%

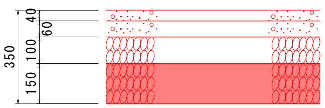


表 層 : 密粒度As改質Ⅰ型
基 層 : 再生粗粒度As
上層路盤 : 粒 調 砕 石 (M-30)
下層路盤 : 切 込 砕 石 (RC-40)

歩 道 部

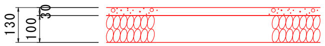


表 層 : 再生密粒度As
路 盤 : 切 込 砕 石 (RC-30)

取 付 市 道
舗 装 構 成 S=1:10

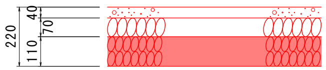


表 層 : 密粒度As
上層路盤 : 粒 調 砕 石 (M-30)
下層路盤 : 切 込 砕 石 (RC-30)

耕作道・管理道
舗 装 構 成 S=1:10

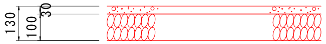


表 層 : 再生密粒度As
路 盤 : 切 込 砕 石 (RC-30)

耐 水 処 理
舗 装 構 成 S=1:10

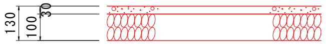
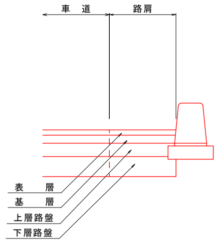


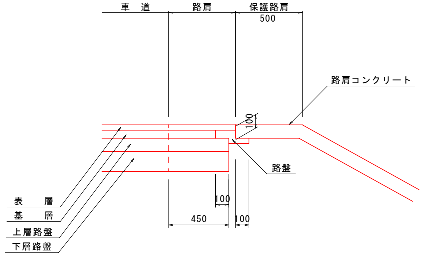
表 層 : 再生密粒度As
路 盤 : 切 込 砕 石 (RC-30)

路 肩 舗 装 S=1:20

路肩端部に構造物がある場合



法がある場合



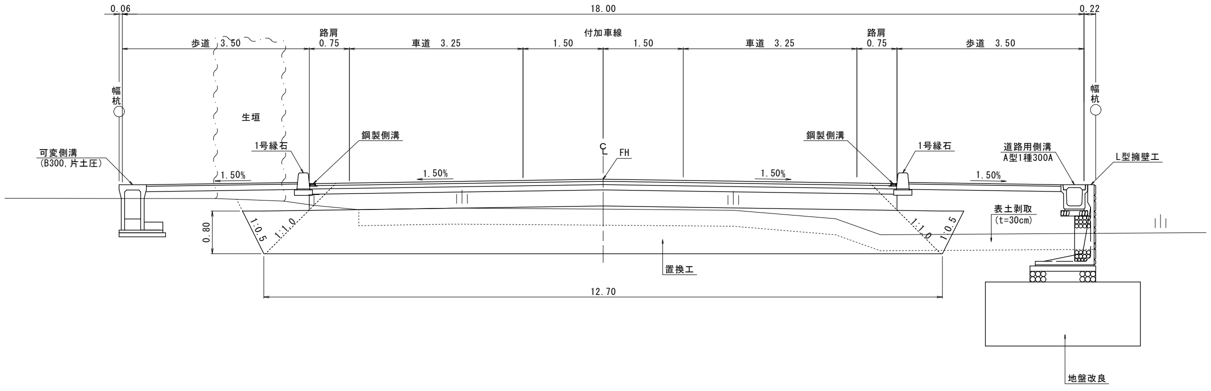
実施

第20期

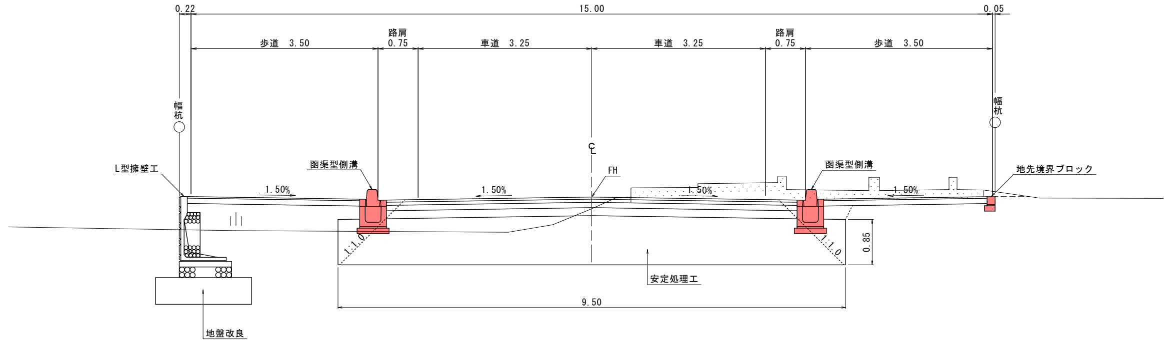
年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊢ 矢尾 里方 ㊫/村 大字 地内
図面名称	標準断面図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	
79 葉の内 6	

標準断面図 S=1:50

NO.49+5～NO.57付近区間
付加車線部



NO.37～NO.49+5付近区間
一般部



舗 装 構 成 S=1:10

車 道 部

NO.37～NO.49+5付近区間

交通量区分 N5(旧B交通)
設計CBR 12%

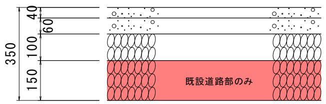


表 層 : 密粒度As改質Ⅰ型
基 層 : 再生粗粒度As
上層路盤 : 粒 調 砕 石 (M-30)
下層路盤 : 切 込 砕 石 (RC-40)

NO.49+5～NO.57付近区間
(現道矢尾今市線以降)

交通量区分 N5(旧B交通)
設計CBR 6%

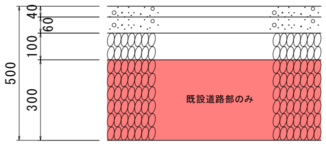


表 層 : 密粒度As改質Ⅰ型
基 層 : 再生粗粒度As
上層路盤 : 粒 調 砕 石 (M-30)
下層路盤 : 切 込 砕 石 (RC-40)

歩 道 部

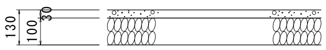


表 層 : 再生密粒度As
路 盤 : 切 込 砕 石 (RC-30)

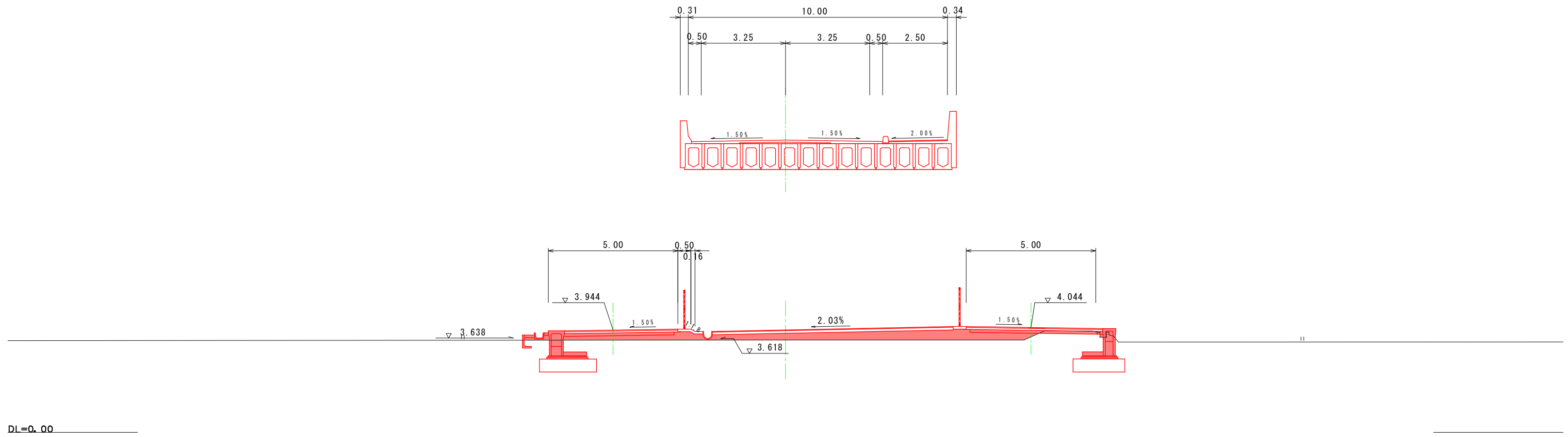
※本業務区間は、安定処理工・置換工による路床改良を行うこととしているが、現道部にて上水道等の地下埋設物が有り支障する箇所がある。このため、地下埋設物が支障する現道部においては現場CBR試験を行い、現況路床のCBRを確認することとする。試験結果が目標値に達していれば路床改良は行わないこととし、達していない場合は置換工を行うこととする。
※現道には「上水道」「NTTケーブル」が地下埋設されている箇所があり、施工年度が古く資料が無いものもあるため、試掘を行い埋設位置等を確認する必要がある。

実施 第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一)矢尾今市線(大塚工区)
施工箇所	出雲 市 町 高岡 里方 町 大字 地内
図面名称	標準断面図 縮尺 図示
項目 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

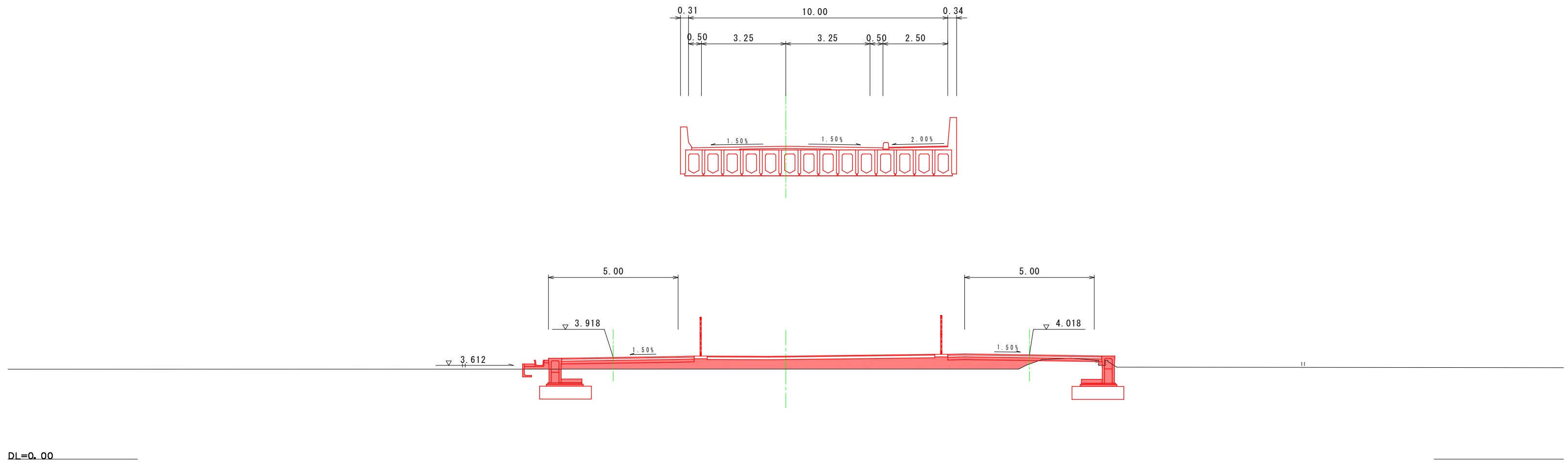
NO. 30

GH=3. 56
FH= 11.266
D=20. 000



NO. 29

GH=3. 47
FH= 12.052
D=20. 000

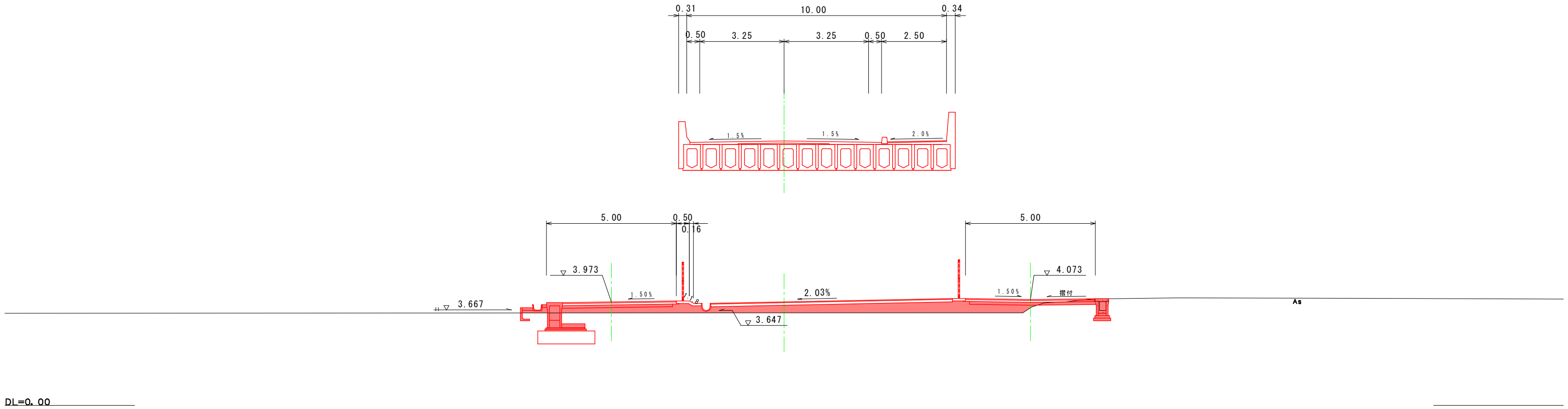


実施 NO. 29－NO. 30 第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊫ 矢尾 里方 ㊊ 村 大字　地内
図面名称	横断図 縮尺 1:100
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	
79 葉の内 8	

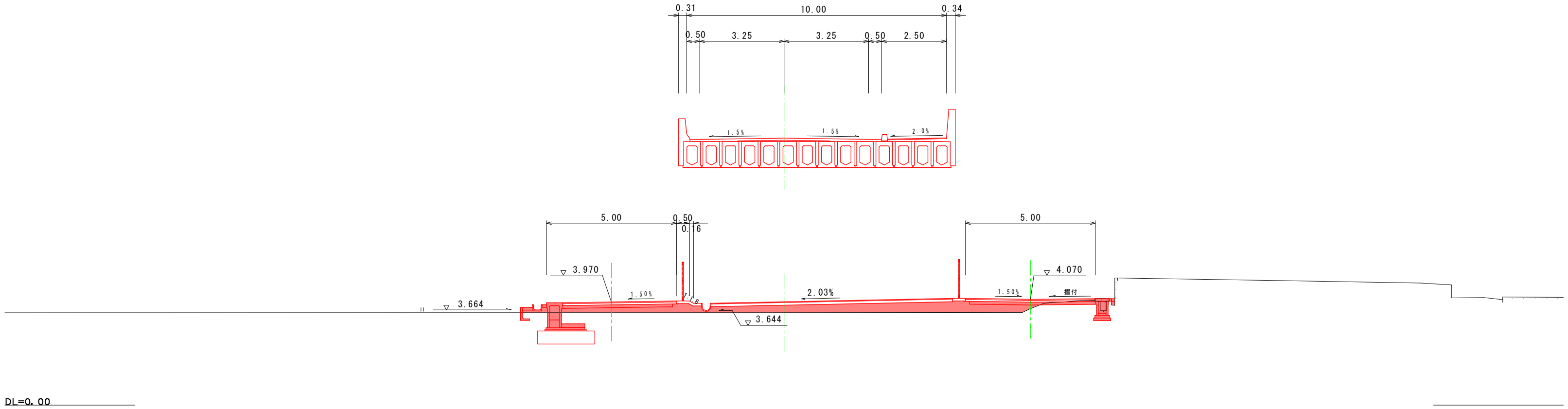
EC. 1

GH=3.56
FH=10.175
D=1.997



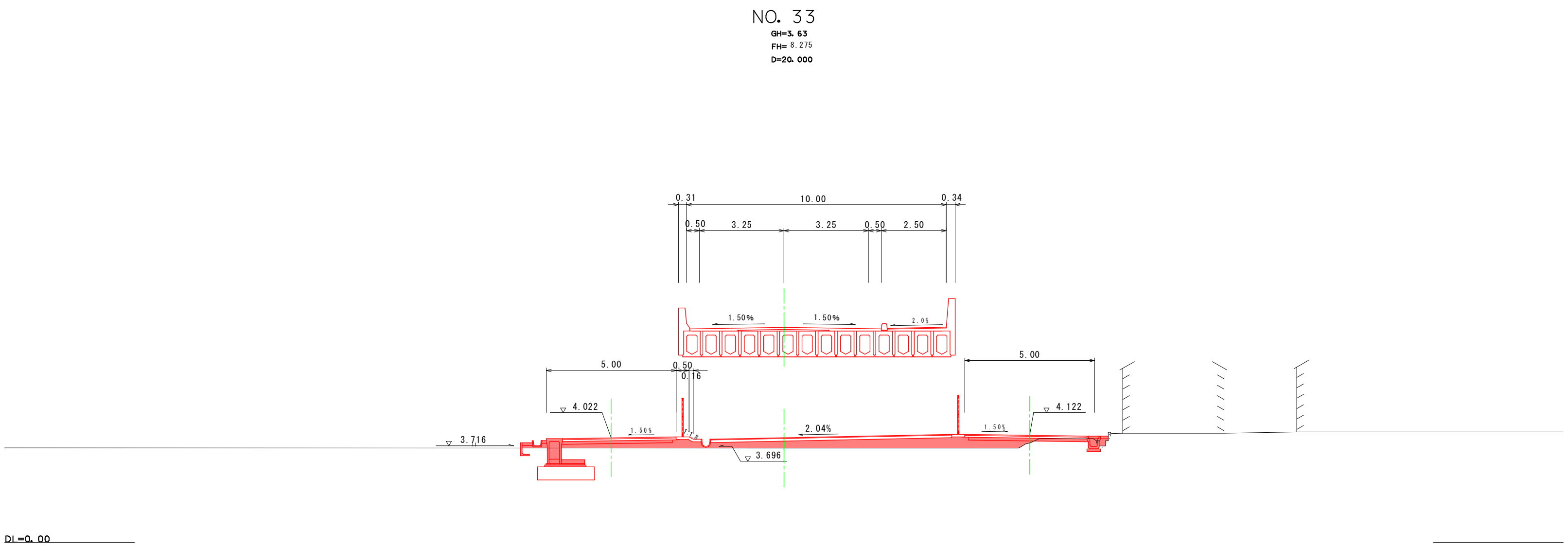
NO. 31

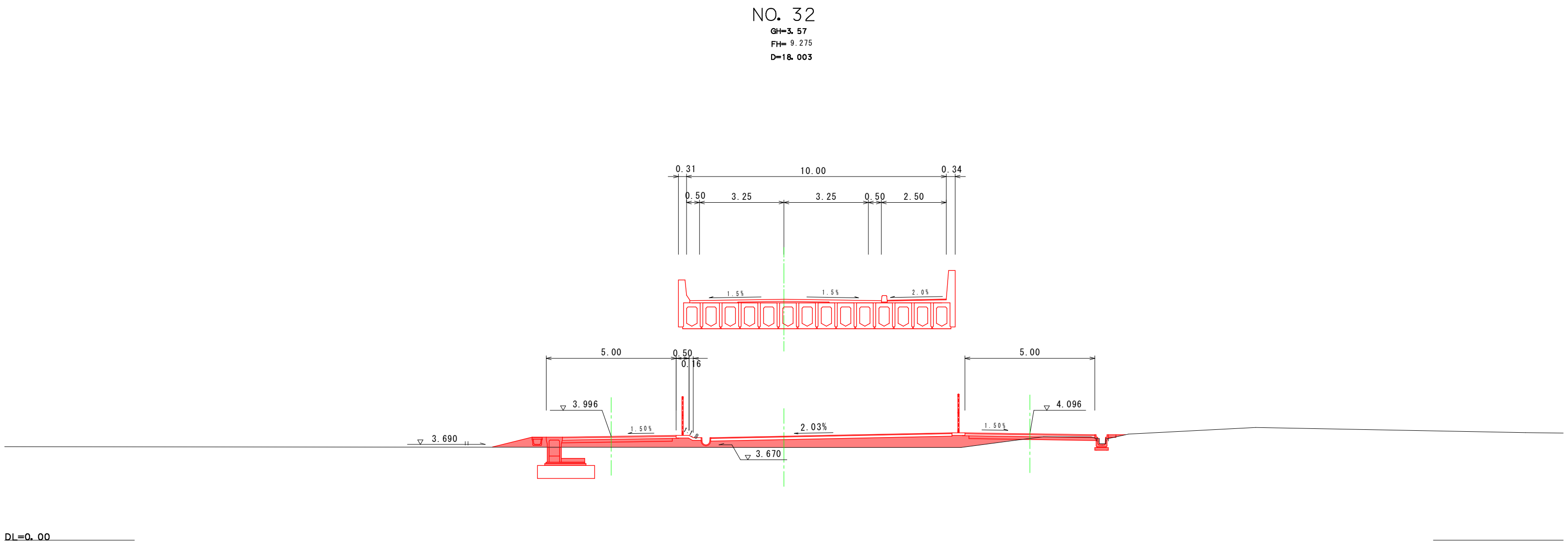
GH=3.56
FH=10.275
D=20.000



実施　NO. 31−EC. 1　第20期

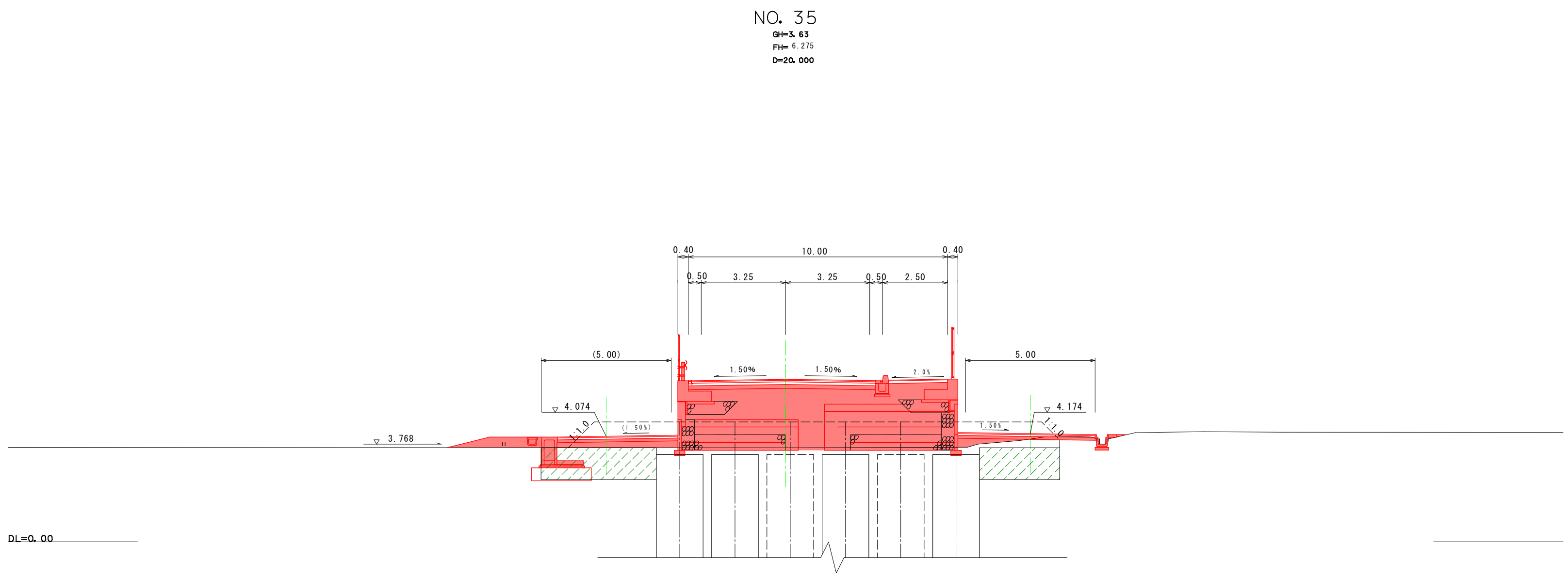
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊢ 矢尾 里方 ㊖/村 大字　地内
図面名称	横断図 縮尺 1:100
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	
79 葉の内 9	

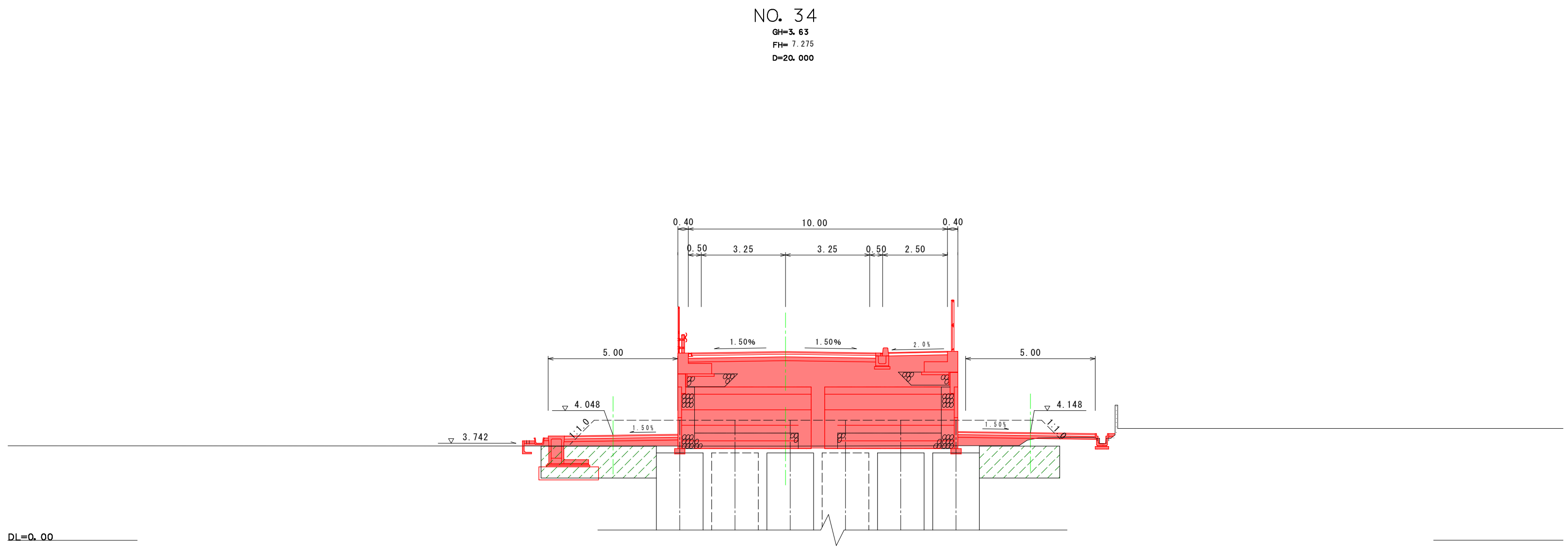




実施 ＮＯ．３２－ＮＯ．３３ 第20期

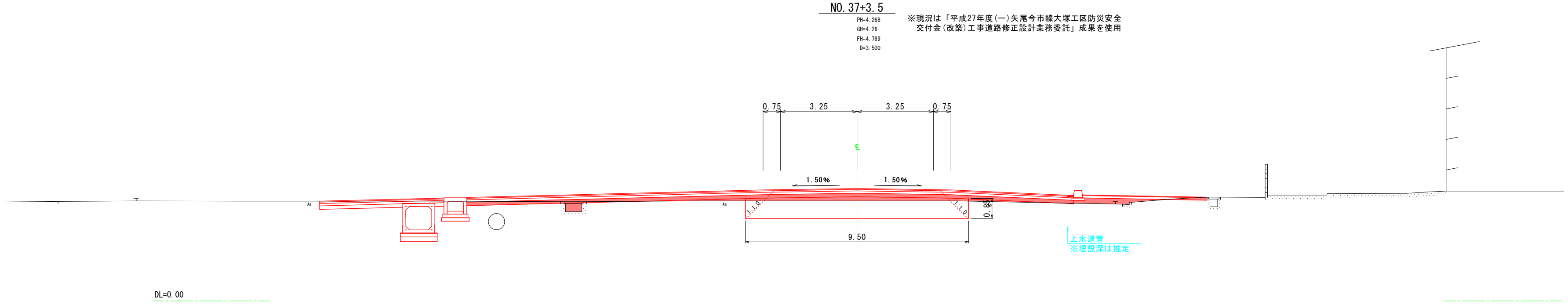
年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金（改築）工事
道川港名	（一）矢尾今市線（大塚工区）
施工箇所	出雲 郡/㊅ 矢尾 里方 ㊈/村 大字 地内
図面名称	横断図 縮尺 1:100
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	
79 葉の内 10	

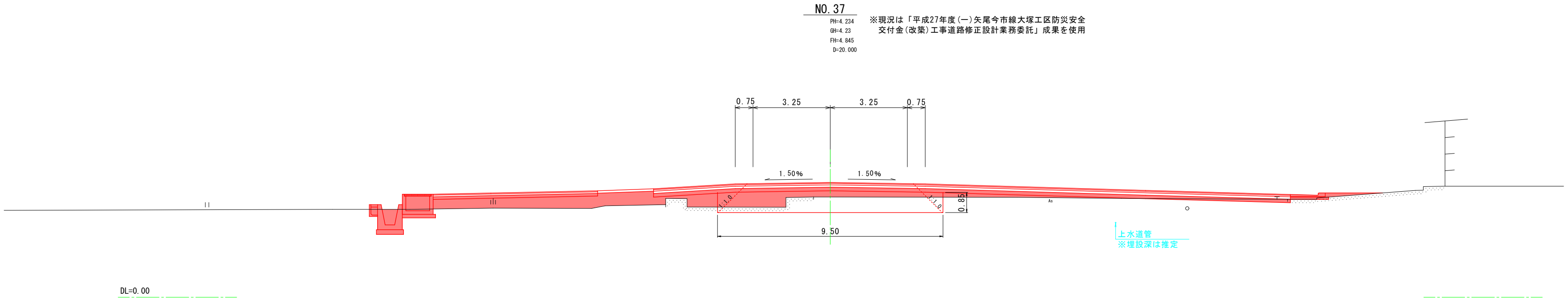


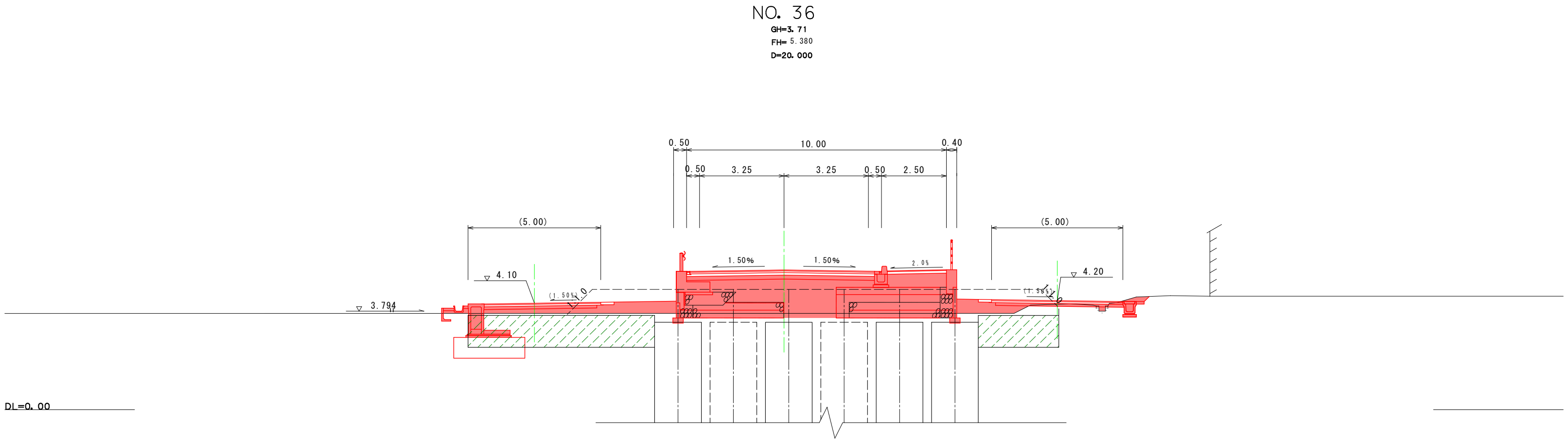


実施 NO. 34－NO. 35 第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡(市) 矢尾 里方 (町)村 大字　地内
図面名称	横断図 縮尺 1:100
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	
79 葉の内 11	



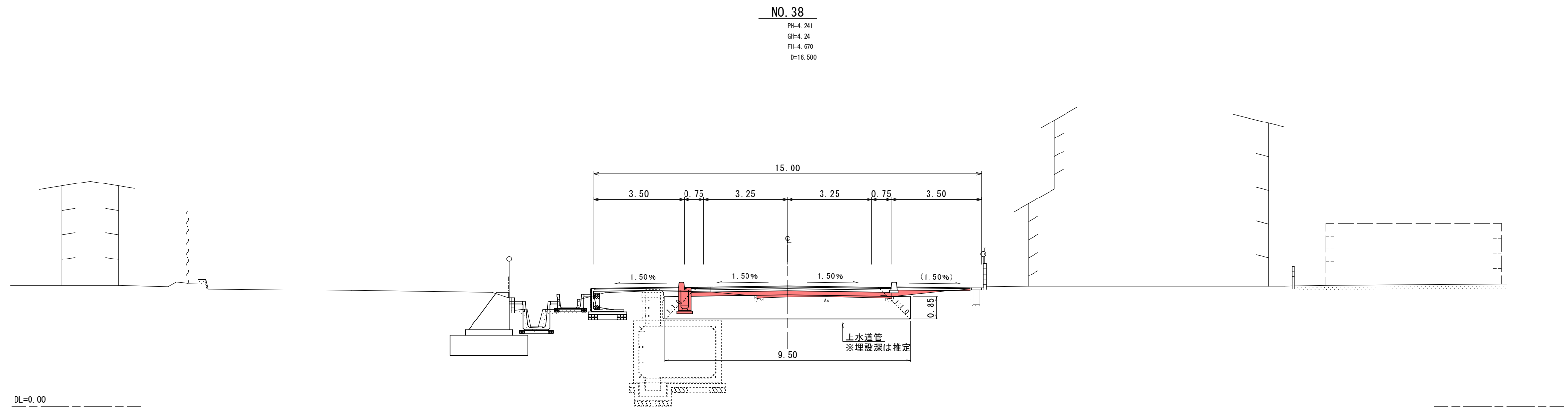


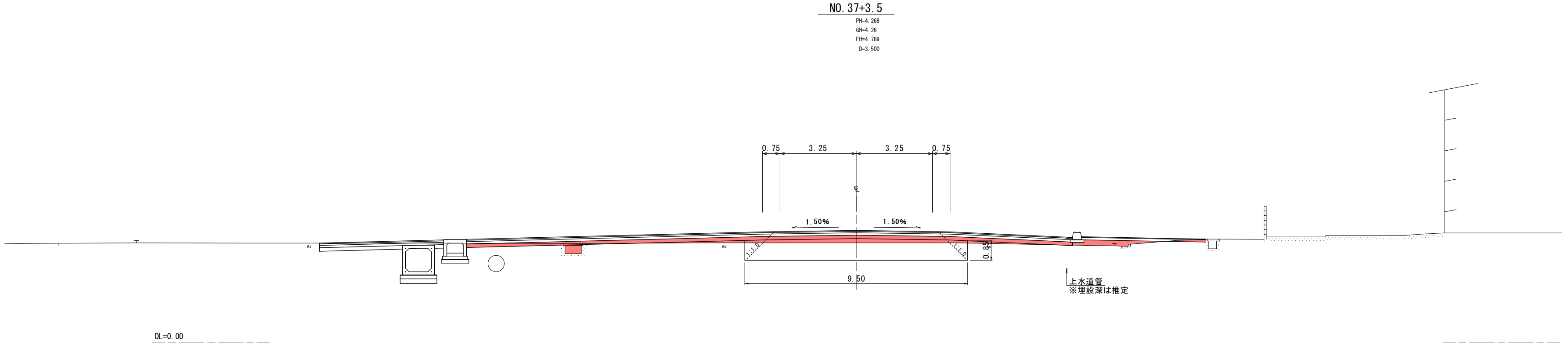


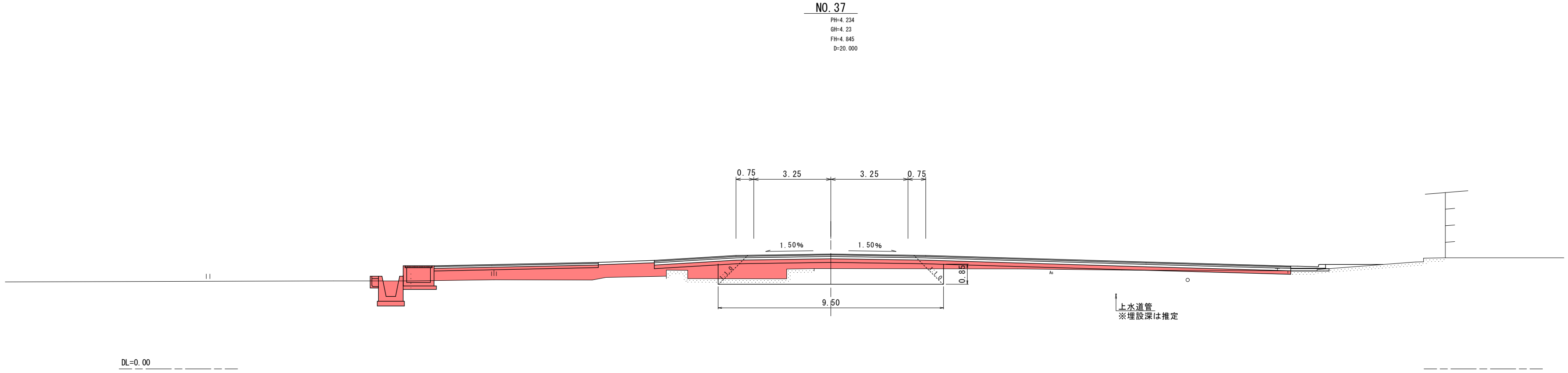
実施 NO.36－NO.37+3.5 第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字　地内
図面名称	横断図 縮尺 1:100
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

79 葉の内 12





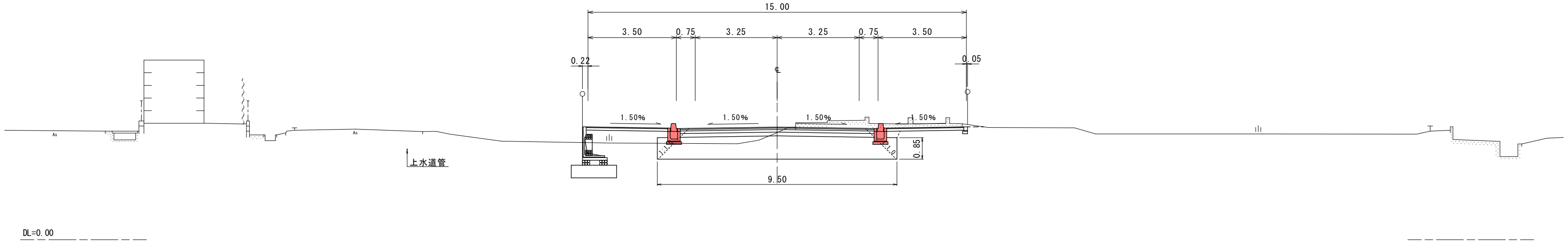


実施　NO.37～NO.38　第20期

年度	平成　30　年度
番号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊉市 高岡/里方 ㊉町/村 大字　地内
図面名称	横断面図 縮尺 1:100
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	
79 葉の内　13	

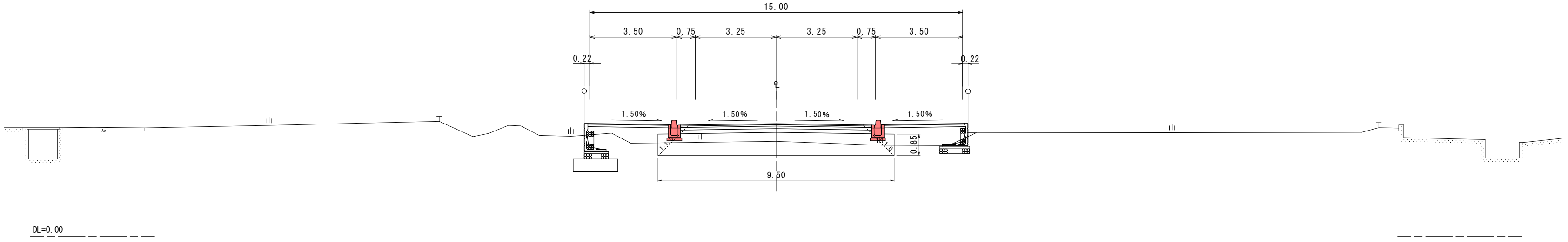
NO. 41

PH=4.353
GH=4.24
FH=4.460
D=20.000



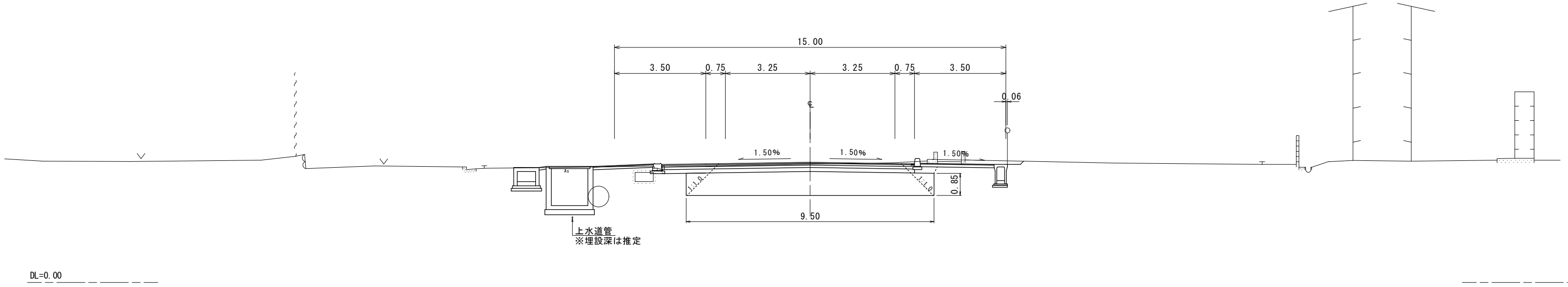
NO. 40

PH=3.901
GH=3.82
FH=4.530
D=20.000



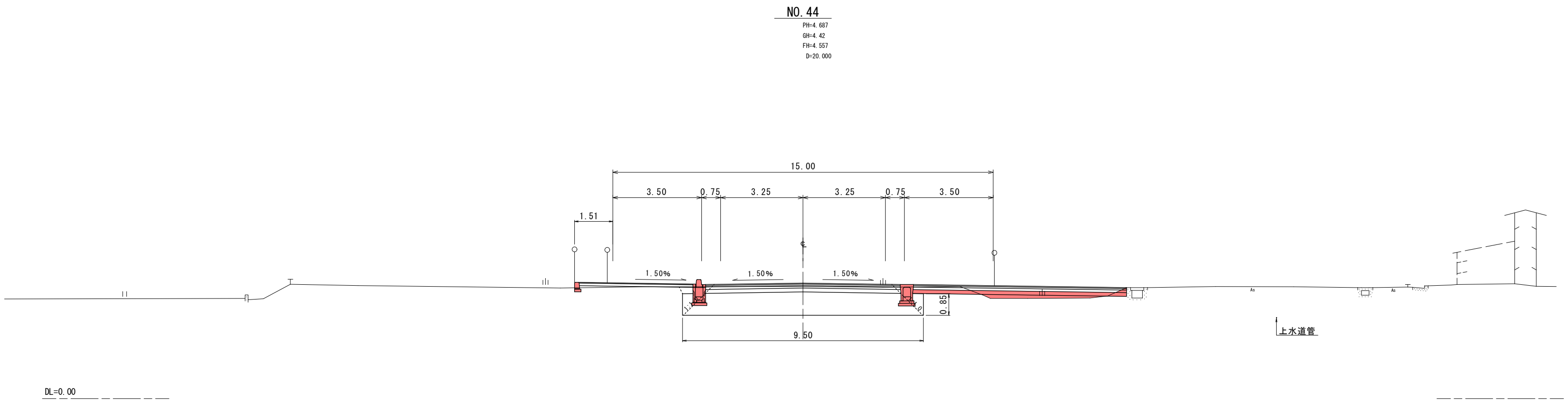
NO. 39

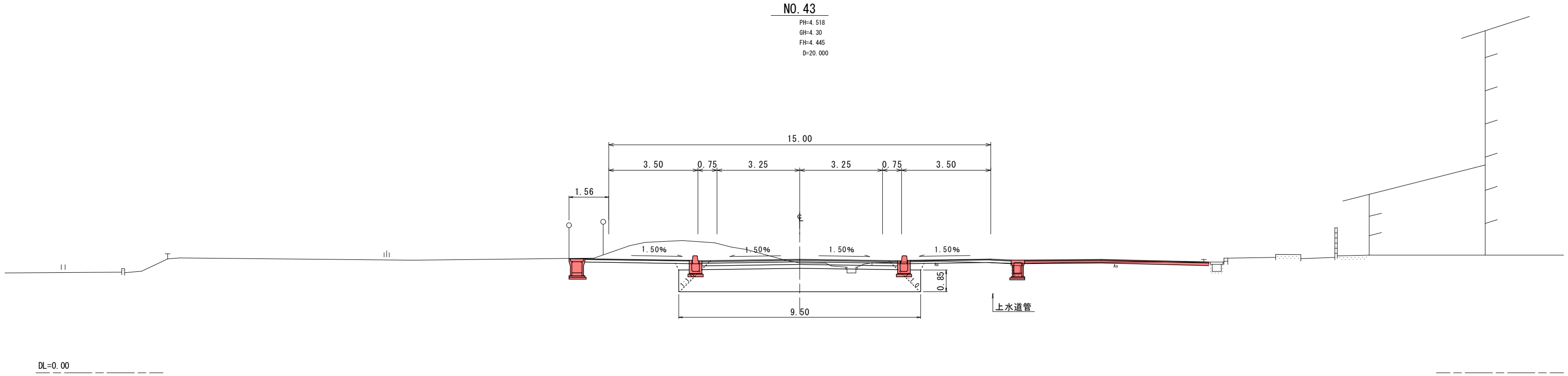
PH=4.536
GH=4.53
FH=4.600
D=20.000

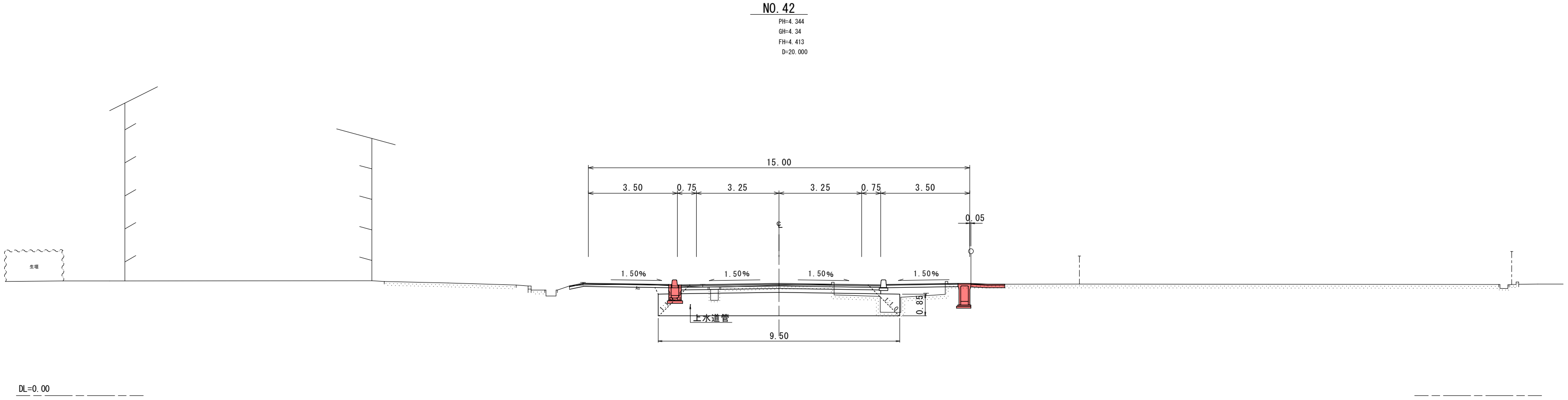


実施　NO. 39～NO. 41　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊞市 高岡/里方 ㊞町/村 大字　地内
図面名称	横断面図 縮尺 1:100
項目＼会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	
79 葉の内 14	





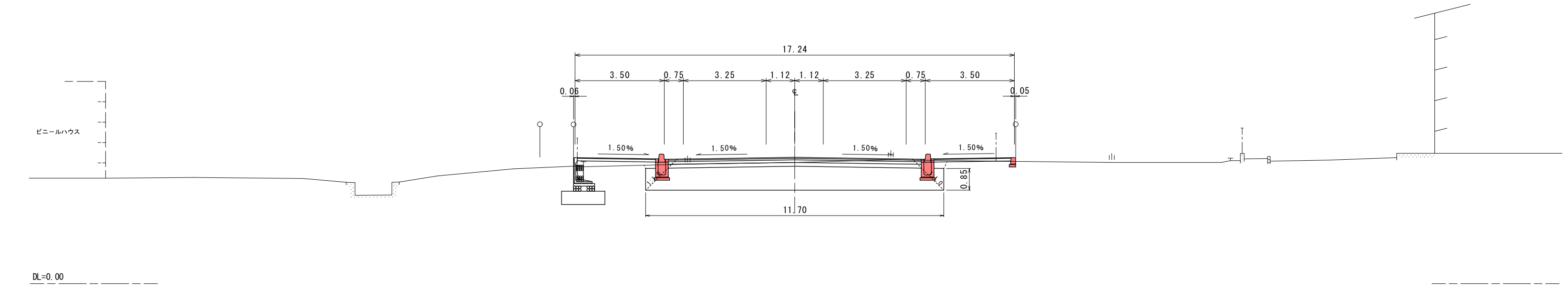


実施 NO.42～NO.44 第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊕ 高岡 里方 ㊂ 村 大字 地内
図面名称	横断面図 縮尺 1:100
項目 \ 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	
79 葉の内 15	

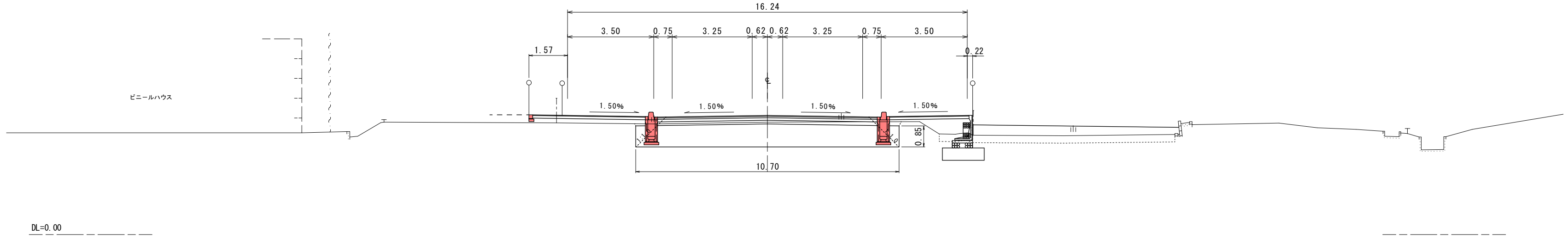
NO. 47

PH=4.982
GH=4.76
FH=4.961
D=20.000



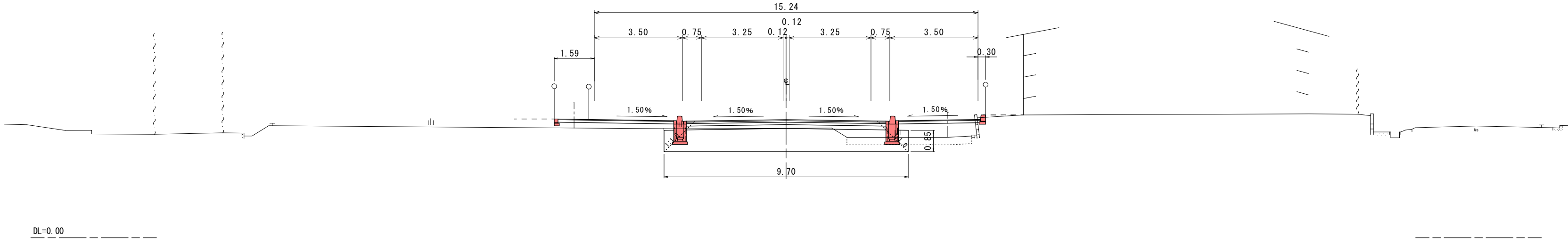
NO. 46

PH=4.798
GH=4.55
FH=4.826
D=20.000



NO. 45

PH=4.580
GH=4.35
FH=4.692
D=20.000



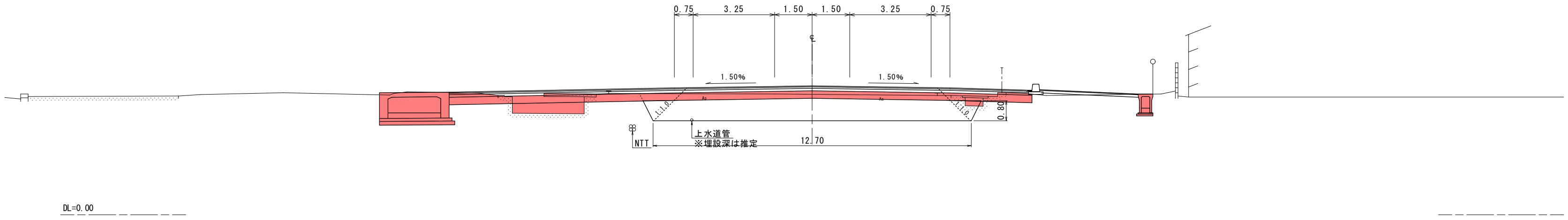
実施　NO.45～NO.47　第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊫ 高岡 里方 ㊪/村 大字 地内
図面名称	横断面図 縮尺 1:100
会社名 / 項目	会社名及び責任者
測量調査	
設計	

79 葉の内 16

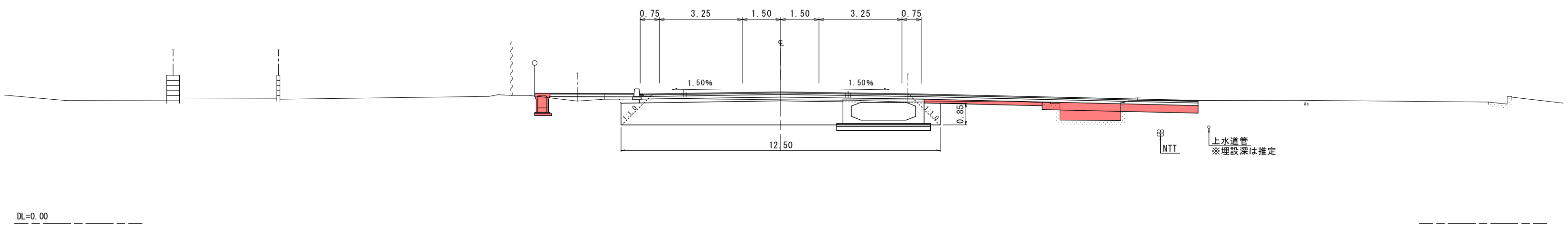
NO.49+9.0

PH=4.827
GH=4.82
FH=5.155
D=9.000



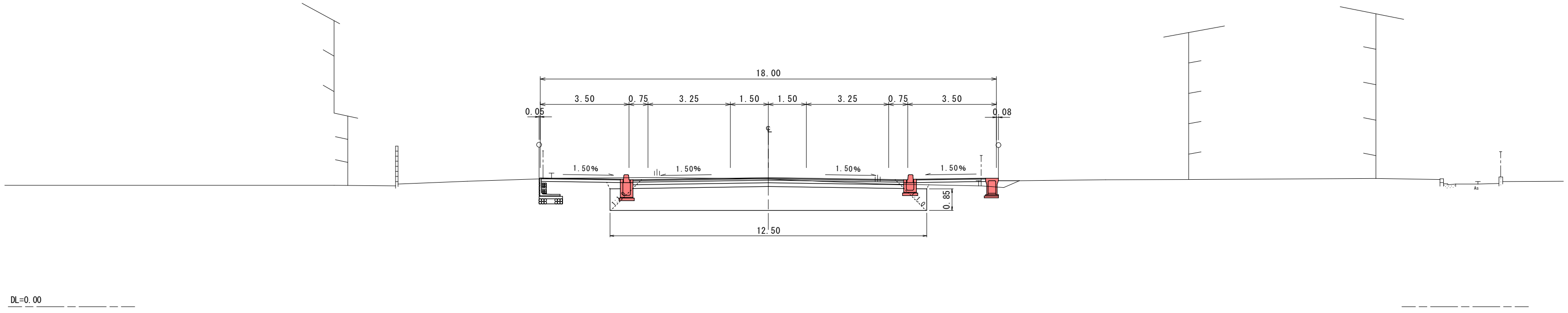
NO.49

PH=5.118
GH=4.85
FH=5.157
D=20.000



NO.48

PH=5.321
GH=5.04
FH=5.092
D=20.000



NO.48～NO.49+9.0

実施

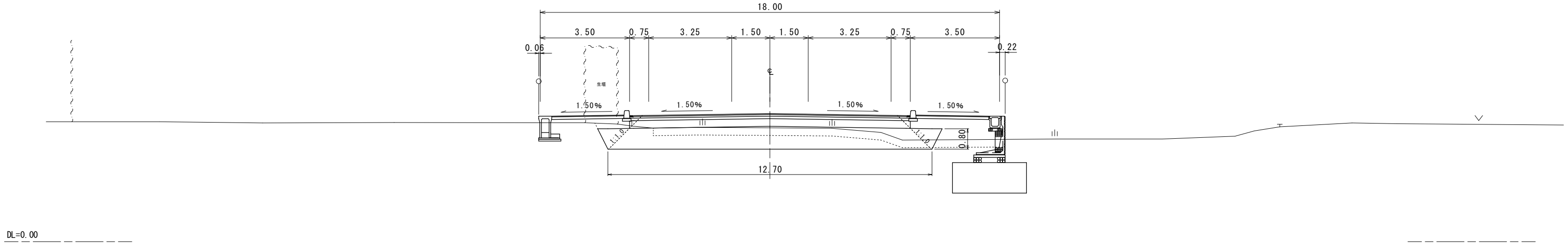
第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊢ 高岡/里方 ㊡/村 大字　地内
図面名称	横断面図 縮尺 1:100
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	

79 葉の内 17

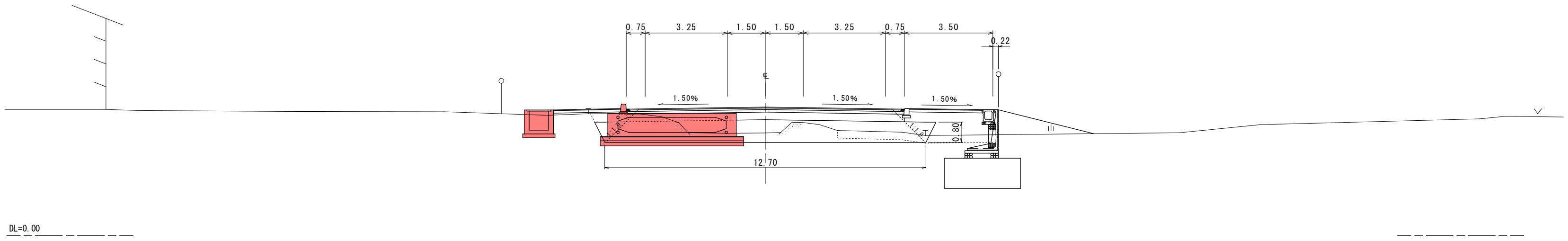
NO.51

PH=4.688
GH=4.47
FH=5.030
D=9.000



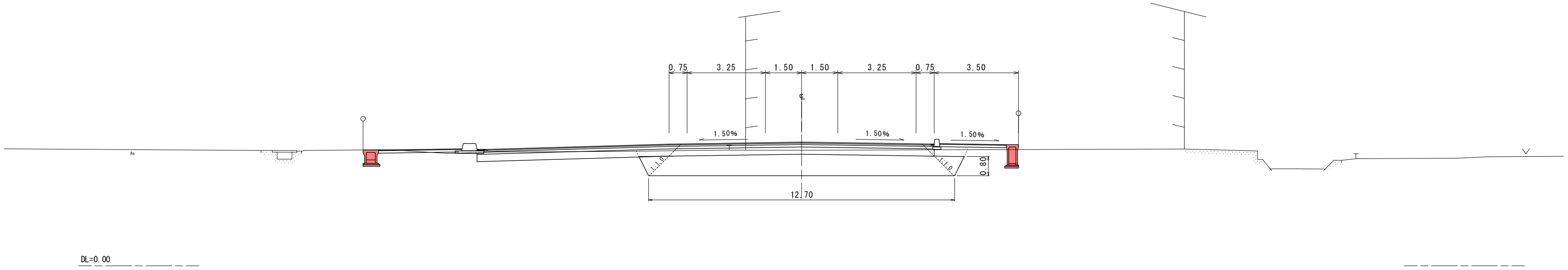
NO.50+11.0

PH=4.274
GH=4.05
FH=5.075
D=11.000



NO.50

PH=
GH=4.79
FH=5.127
D=11.000



実施　NO.50～NO.51　第20期

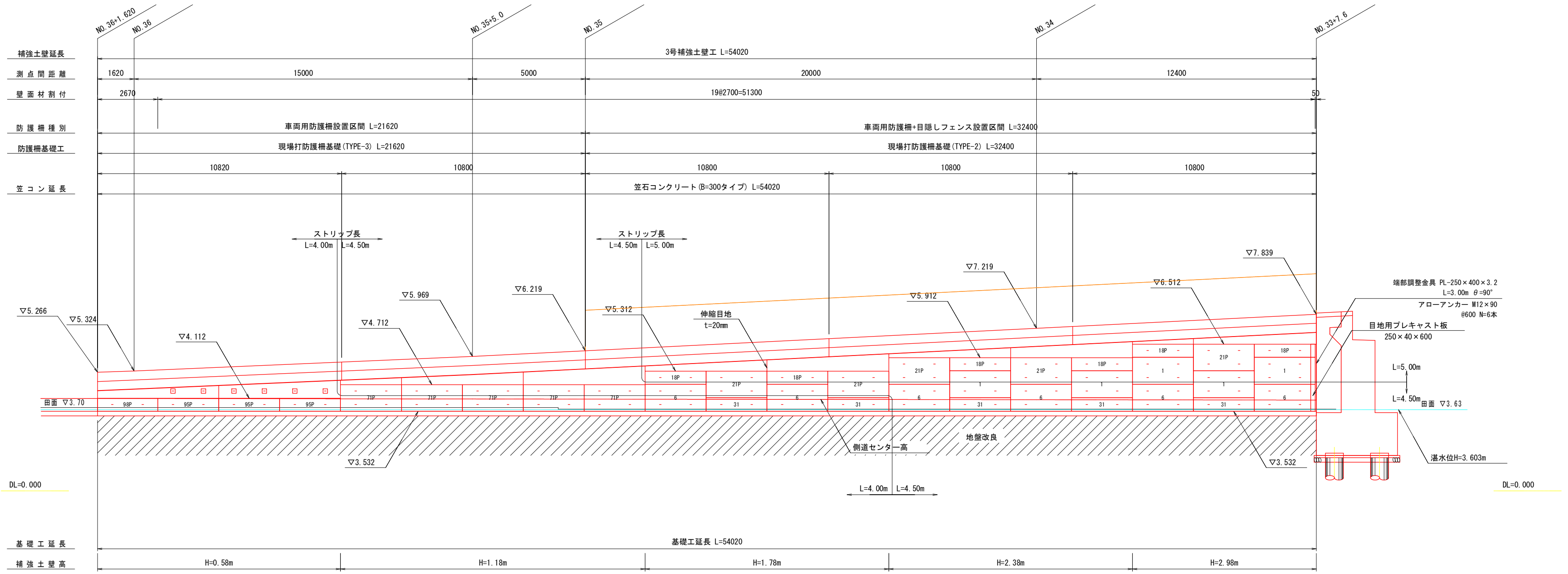
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡㊢ 高岡 里方 ㊞村 大字　地内
図面名称	横断面図 縮尺 1:100
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	
79 葉の内 18	

補強土壁工(テールアルメ)詳細図 (その3)

(終点側)

展 開 図(正面)

S=1:100



補強土壁工構造物 設計条件

補強土壁壁高			Hmax = 2.98 m		Hmin = 0.58 m	
盛土材の土質定数			γ = 19.0 kN/m3		φ = 30 °	
荷 重			活荷重 qL = 10 kN/m2		雪荷重 qsw = - kN/m2	
設計水平震度 :kh=Cz・kho			kh=0.85×0.18=0.15 (レベル1地震動対応Ⅲ種地盤)			
土 圧			主働土圧・静止土圧			
土とストリップの摩擦係数			f* = 1.5 ～ 0.727			
ストリップ区分・腐食代			SS400 t=4mm,b=80mm Cm=1.00mm			
ストリップの引抜けに対する安全率			常 時	2.00	地震時	1.20
許容応力度	ストリップの引張応力度	SS400	常 時	140 N/mm2	地震時	210 N/mm2
	ボルトのせん断応力度		常 時	200 N/mm2	地震時	300 N/mm2
コンクリートパネルの設計基準強度			タイプ種別	大型パネル	f′ck= 35 N/mm2	
転倒(偏心距離)			常 時	|e| ≦ L/6	地震時	|e| ≦ L/3
滑動に対する安全率			常 時	1.50	地震時	1.20
極限支持力に対する安全率			常 時	3.00	地震時	2.00
すべり破壊に対する安全率			常 時	1.20	地震時	1.00

盛 土 材 料

盛土材料は、次に示す(A1)もしくは、(A2)材料を用いることを原則とする。

(A1) 細粒分の含有量が25%以下の土質材料。

(A2) 250mmを越える大粒径のものを含まない硬岩ずりで、75mmふるい通過分中の細粒分の含有量が25%以下、かつ、大小粒が適度に混合して締固めのしやすいもの。

特 記 事 項

- 施工時に支持地盤の調査をおこない、必要支持力が確保されていることを確認すること。
- 図中の地層線は推定線であり、現地確認による原地盤の地層及び土質が設計と相違する場合は外的安定の照査を行うこと。
- 掘削及び整地時に、基礎地盤や切土部から湧水その他流入水が確認される場合、排水計画について再検討を行うこと。
- 現場打防護柵基礎部と踏掛版が干渉する箇所については、踏掛版を切り欠くこと。

基礎地盤必要地耐力

	常 時	地震時
壁面直下における最大地盤反力度(必要許容支持力)	94.332 KN/m2以上	82.680 KN/m2以上

※壁面直下において、上記以上の許容支持力を確認すること。

3号補強土壁工数量表

項 目	番号	規 格	単位	数量	摘 要
標準パネル	1	標準型 4	枚	5	
最上段パネル	18P	1/2型天端 2P	枚	6	
	21P	標準型天端 4P	枚	5	
特殊パネル	95P	1/2型天端下端 2P	枚	3	
	71P	標準型天端下端 4P	枚	5	
	98P	左端1/2型天端下端 2P	枚	1	
最下段パネル	31	1/2型下端 2	枚	5	
	6	標準型下端 4	枚	6	
壁面積			m2	91.2	
リブ付ストリップ SS400	4.0×80 L=4.00m		本	32	
	4.0×80 L=4.50m		本	46	
	4.0×80 L=5.00m		本	42	
ボルトナット	M12×40mm		本	240	
水平目地材	20×85×600		枚	48	
透水防砂材	4×300×L		m	90.0	
端部調整金具(θ=90°)	PL－250×400×3.2		m	3.0	展開図参照
アローアンカー	M12×90		本	6	展開図参照
ジベルピン			本	32	
目地用プレキャスト板	250×40×600		枚	5	展開図参照
ｺﾈｸﾃｨﾌﾞｽﾄﾘｯﾌﾟ	6.0×60×428		本	6	展開図参照

実施　第20期

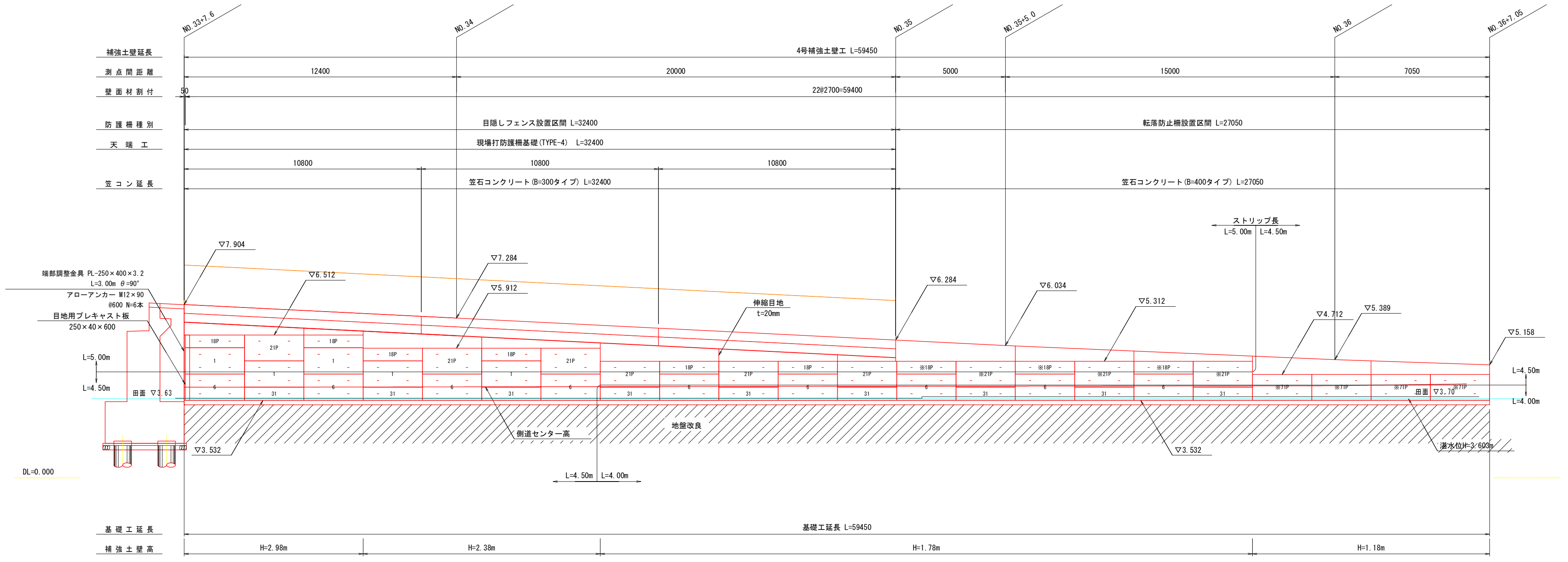
年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊥市 矢尾/里方 ㊥町/村 大字 地内
図面名称	補強土壁工(テールアルメ)詳細図 縮尺 図示
項目＼会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

補強土壁工(テールアルメ)詳細図 (その4)

(終点側)

展 開 図(正面)

S=1:100



補強土壁工構造物 設計条件

補強土壁壁高	Hmax = 2.98 m		Hmin = 1.18 m	
盛土材の土質定数	γ = 19.0 kN/m3		φ = 30 °	
荷 重	活荷重 qL = 3.5,10 kN/m2		雪荷重 qsw = - kN/m2	
設計水平震度 :kh=Cz・kho	kh=0.85×0.18=0.15 (レベル1地震動対応Ⅲ種地盤)			
土 圧	主働土圧・静止土圧			
土とストリップの摩擦係数	f* = 1.5 ～ 0.727			
ストリップ区分・腐食代	SS400 t=4mm,b=80mm Cm=1.00mm			
ストリップの引抜けに対する安全率	常 時	2.00	地震時	1.20
許容応力度 ストリップの引張応力度 SS400	常 時	140 N/mm2	地震時	210 N/mm2
許容応力度 ボルトのせん断応力度	常 時	200 N/mm2	地震時	300 N/mm2
コンクリートパネルの設計基準強度	タイプ種別	大型パネル	f' ck= 35 N/mm2	
転倒(偏心距離)	常 時	|e| ≦ L/6	地震時	|e| ≦ L/3
滑動に対する安全率	常 時	1.50	地震時	1.20
極限支持力に対する安全率	常 時	3.00	地震時	2.00
すべり破壊に対する安全率	常 時	1.20	地震時	1.00

盛 土 材 料

盛土材料は、次に示す(A1)もしくは、(A2)材料を用いることを原則とする。

(A1) 細粒分の含有量が25%以下の土質材料。

(A2) 250mmを越える大粒径のものを含まない硬岩ずりで、75mmふるい通過分中の細粒分の含有量が25%以下、かつ、大小粒が適度に混合して締固めのしやすいもの。

特 記 事 項

- 施工時に支持地盤の調査をおこない、必要支持力が確保されていることを確認すること。
- 図中の地層線は推定線であり、現地確認による原地盤の地層及び土質が設計と相違する場合は外的安定の照査を行うこと。
- 掘削及び整地時に、基礎地盤や切土部から湧水その他流入水が確認される場合、排水計画について再検討を行うこと。
- 現場打防護柵基礎部と踏掛版が干渉する箇所については、踏掛版を切り欠くこと。

基礎地盤必要地耐力

	常 時	地震時
壁面直下における最大地盤反力度(必要許容支持力)	90.253 KN/m2以上	84.088 KN/m2以上

※壁面直下において、上記以上の許容支持力を確認すること。

4号補強土壁工数量表

項 目	番号	規 格	単位	数量	摘 要
標準パネル	1	標準型 4	枚	5	
最上段パネル	18P	1/2型天端 2P	枚	6	アンカー筋B=300タイプ
	※18P	1/2型天端 2P	枚	3	アンカー筋B=400タイプ
	21P	標準型天端 4P	枚	6	アンカー筋B=300タイプ
	※21P	標準型天端 4P	枚	3	アンカー筋B=400タイプ
特殊パネル	※71P	標準型天端下端 4P	枚	4	アンカー筋B=400タイプ
最下段パネル	31	1/2型下端 2	枚	9	
	6	標準型下端 4	枚	9	
壁面積			m2	115.5	
リブ付ストリップ SS400	4.0×80 L=4.00m		本	30	
	4.0×80 L=4.50m		本	58	
	4.0×80 L=5.00m		本	56	
ボルトナット	M12×40mm		本	288	
水平目地材	20×85×600		枚	69	
透水防砂材	4×300×L		m	120.0	
端部調整金具(θ=90°)	PL－250×400×3.2		m	3.0	展開図参照
アローアンカー	M12×90		本	6	展開図参照
ジベルピン			本	46	
目地用プレキャスト板	250×40×600		枚	5	展開図参照

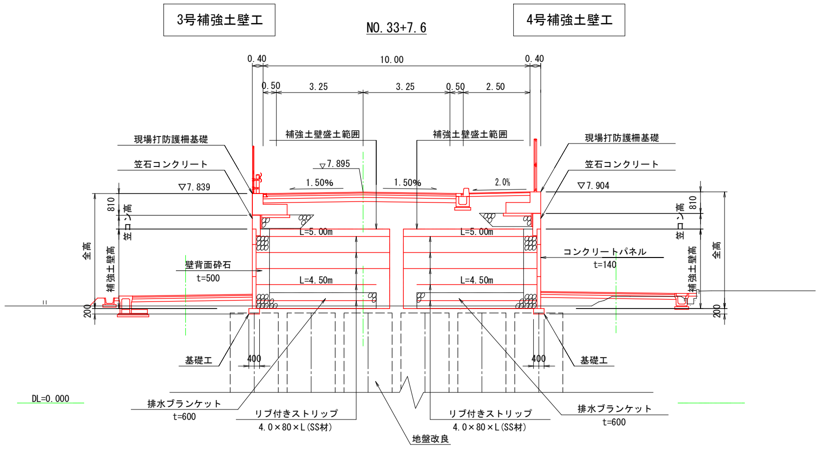
実施　第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊫ 矢尾 里方 ㊭/村 大字 地内
図面名称	補強土壁工(テールアルメ)詳細図 縮尺 図示
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

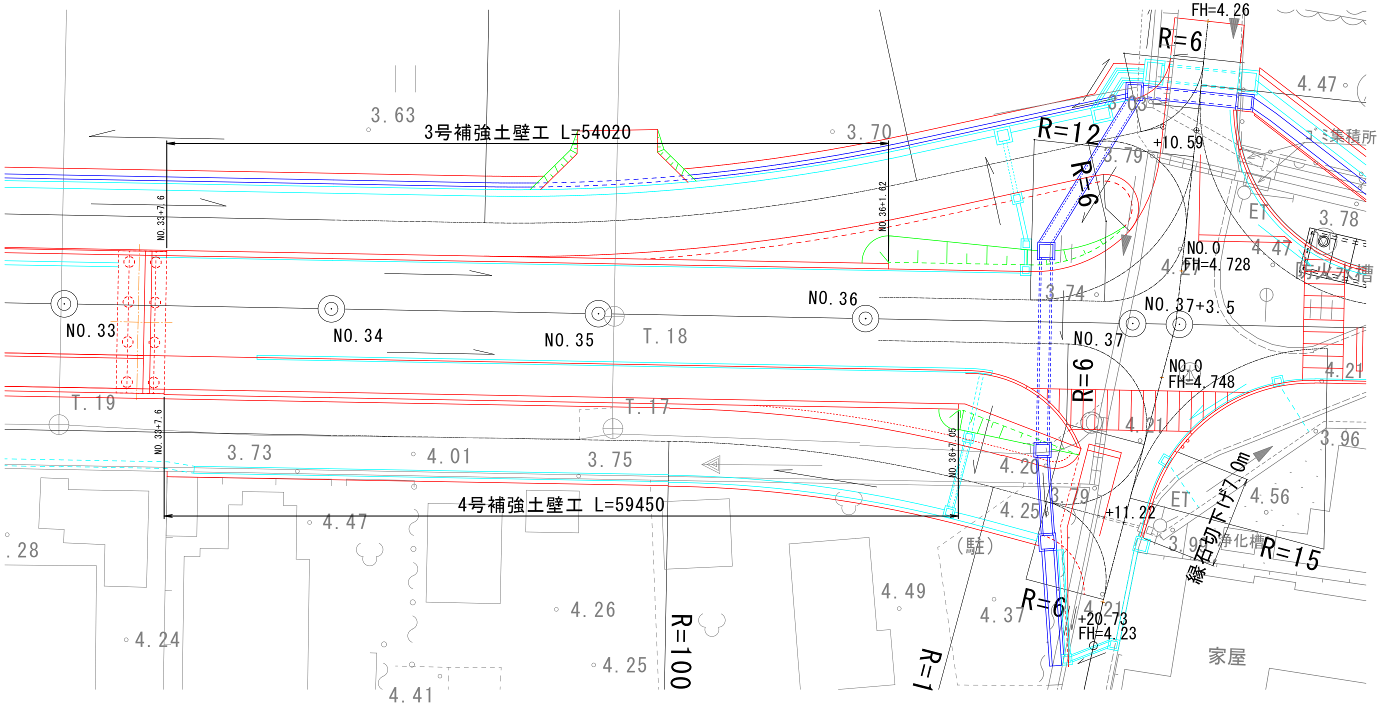
補強土壁工(テールアルメ)詳細図 (その5)

(終点側)

標準断面図 S=1:100



平面位置図 S=1:200



実施	第20期
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊞市 矢尾 里方 ㊞町 村 大字　地内
図面名称	補強土壁工(テールアルメ)詳細図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	
	79葉の内21

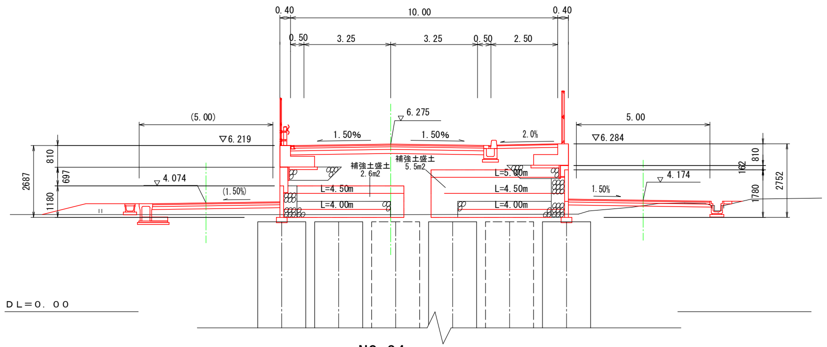
補強土壁工(テールアルメ)詳細図 (その6)

(終点側)

断 面 図 S=1:100

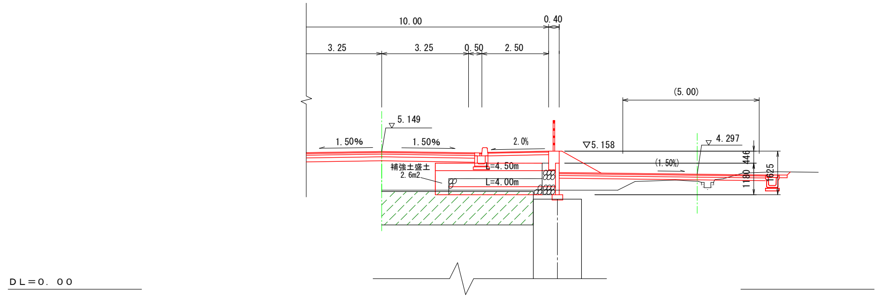
NO. 35

FH= 6. 275



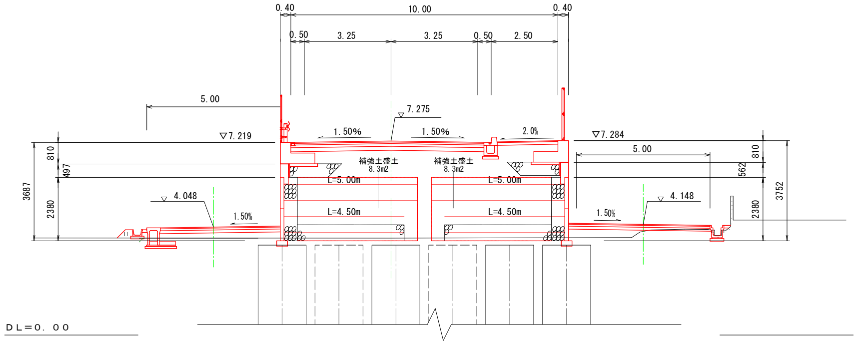
NO. 36+7. 05

FH= 5. 149



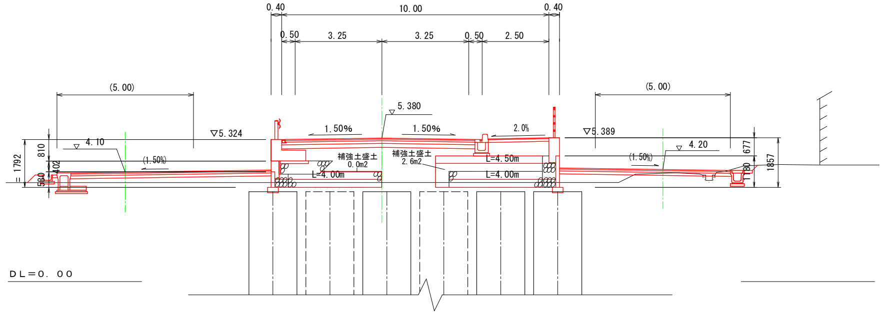
NO. 34

FH= 7. 275



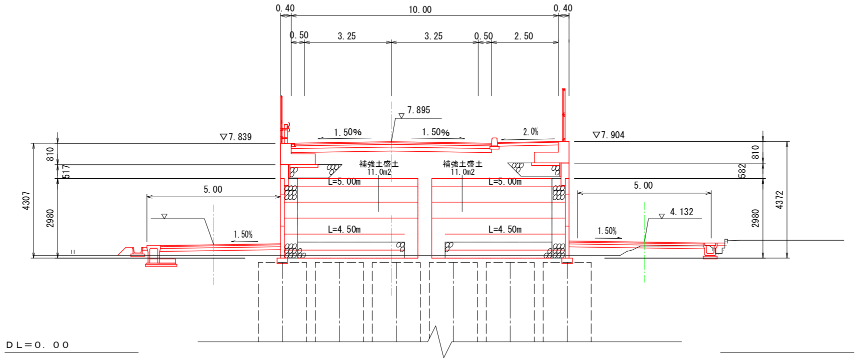
NO. 36

FH= 5. 380



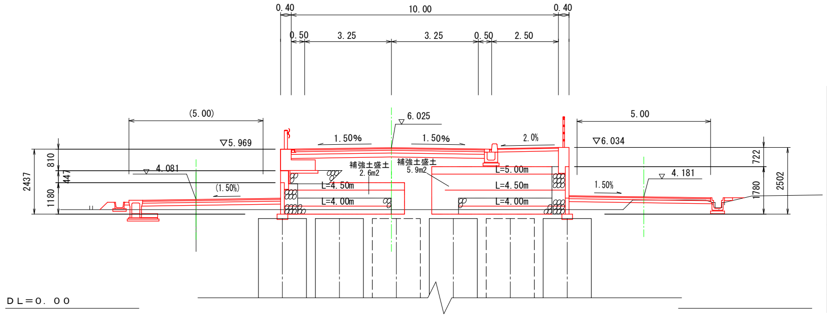
NO. 33+7. 6

FH= 7. 895



NO. 35+5. 0

FH= 6. 025



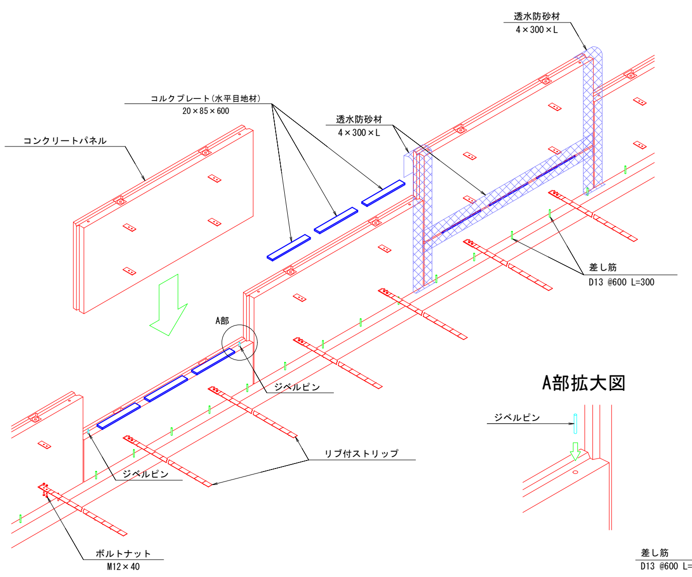
実施 第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊥市 矢尾 里方 ㊥町/村 大字 地内
図面名称	補強土壁工(テールアルメ)詳細図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

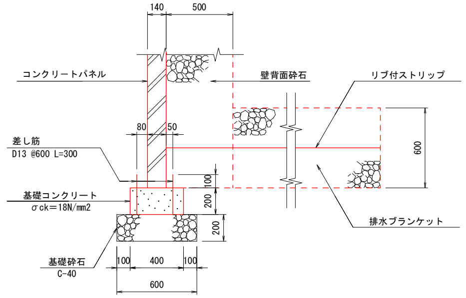
79葉の内22

補強土壁工(テールアルメ)詳細図 (その7)

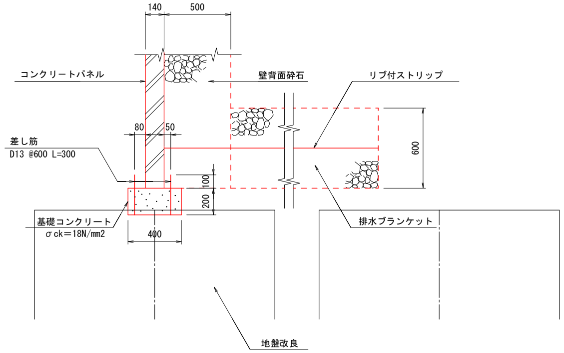
テールアルメ工概要図 S=1:30



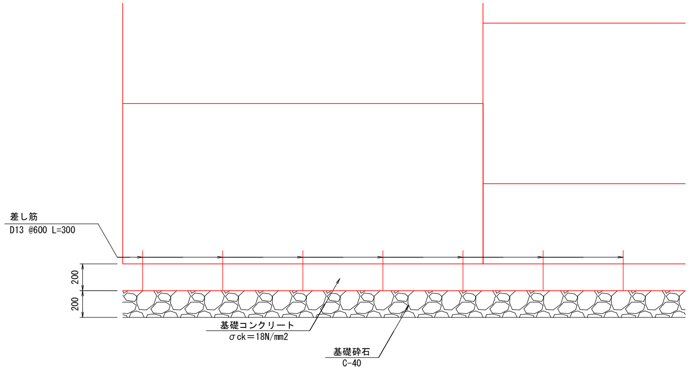
基礎詳細図 S=1:20
(起点部)



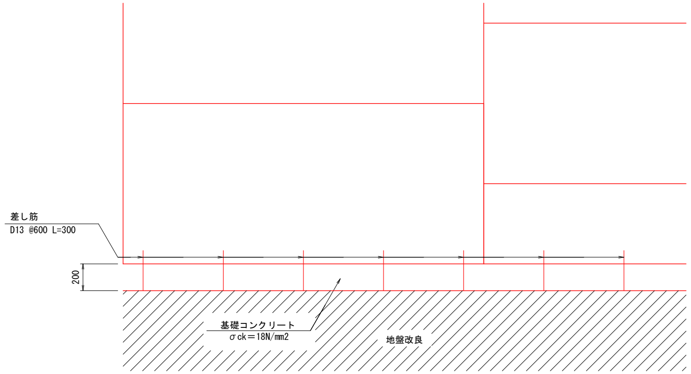
基礎詳細図 S=1:20
(終点部)



基礎工正面図 S=1:20
(起点部)



基礎工正面図 S=1:20
(終点部)

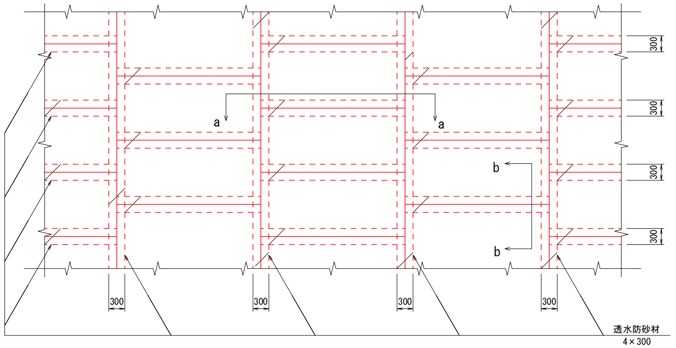


実施　　第20期

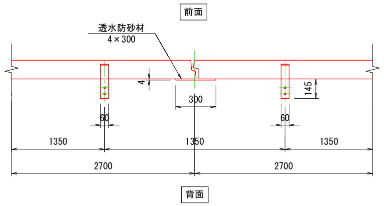
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊢ 矢尾 里方 ㊦ 村 大字　地内
図面名称	補強土壁工(テールアルメ)詳細図 縮尺 図示
会社名 項目	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	

補強土壁工(テールアルメ)詳細図 (その8)

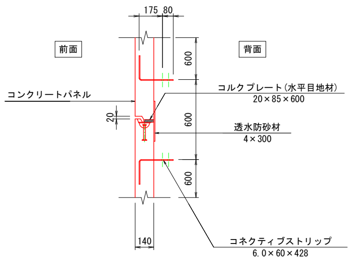
パネル組み合わせ一般図 S=1:50



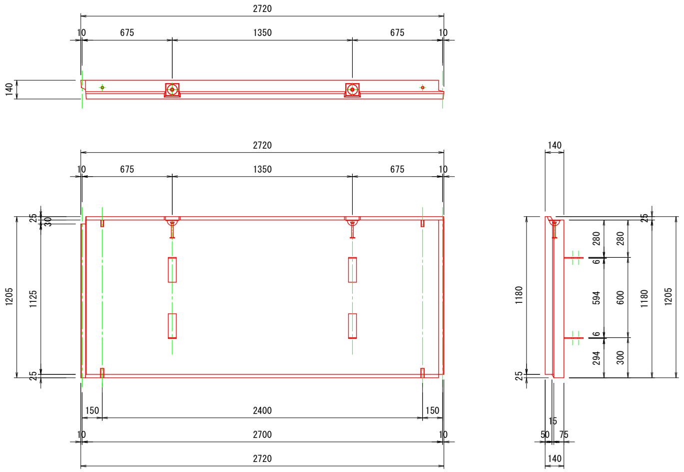
断面a-a S=1:20



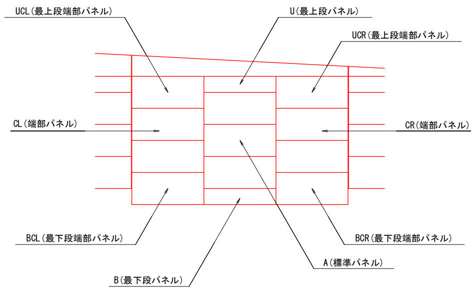
断面b-b S=1:20



形状寸法図 S=1:20

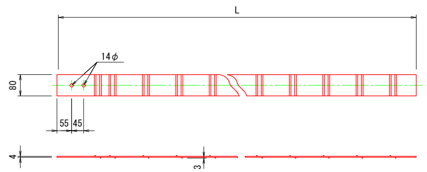


パネル記号説明(正面)



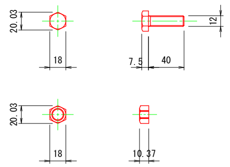
ストリップ(リブ付き) S=1:10

材質SS400



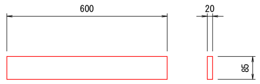
ボルトナット S=1:3

M12×40
ボルト 強度区分8.8
ナット 強度区分 8

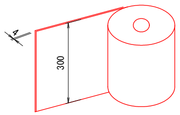


コルクプレート(水平目地材) S=1:10

20×85×600



透水防砂材 S=1:10



実施 第20期

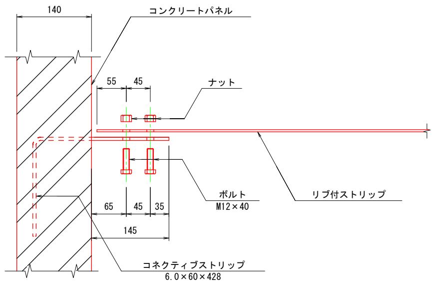
年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊢市 矢尾 里方 ㊞町/村 大字 地内
図面名称	補強土壁工(テールアルメ)詳細図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

79葉の内24

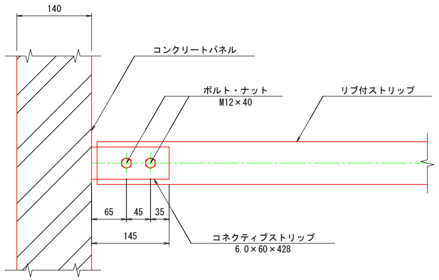
補強土壁工(テールアルメ)詳細図 (その9)

ストリップ取付詳細図 S=1:5

断面図



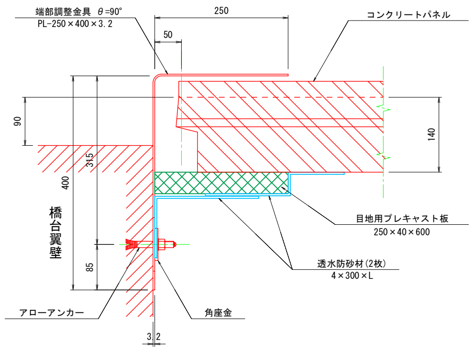
平面図



端部取付詳細図 S=1:5

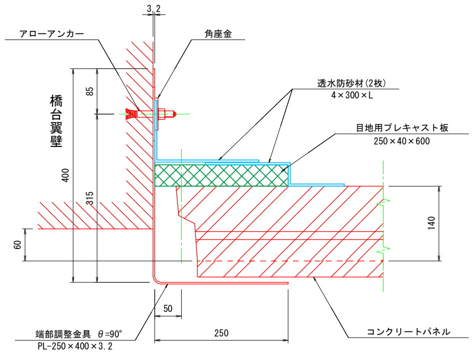
1号・3号補強土壁側

平面図



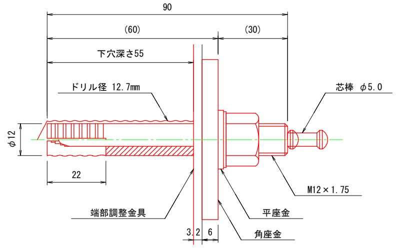
2号・4号補強土壁側

平面図



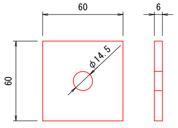
アローアンカーCタイプ S=1:1

(M12-90)



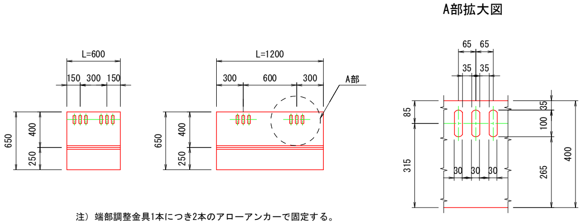
角 座 金 S=1:2

(PL-6×60×60)



端部調整金具 S=1:30 S=1:10

(PL-250×400×3.2)



注) 端部調整金具1本につき2本のアローアンカーで固定する。

実施 第20期

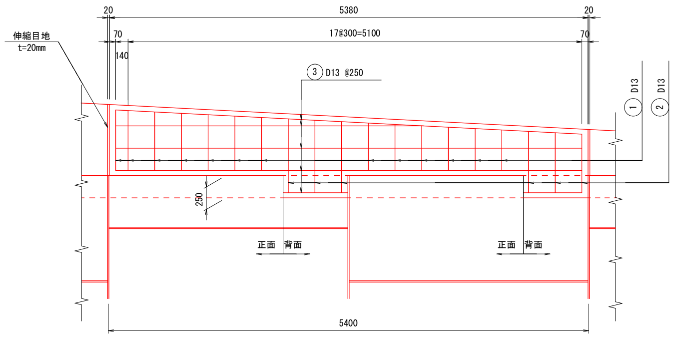
年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字 地内
図面名称	補強土壁工(テールアルメ) 詳細図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

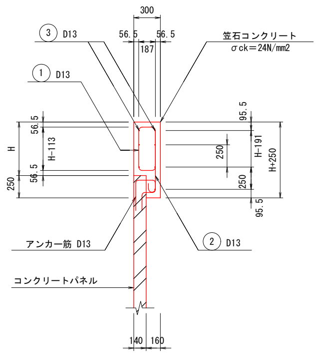
79葉の内25

補強土壁工(テールアルメ)詳細図 (その10)

笠石コンクリート配筋図 S=1:30

B=300タイプ

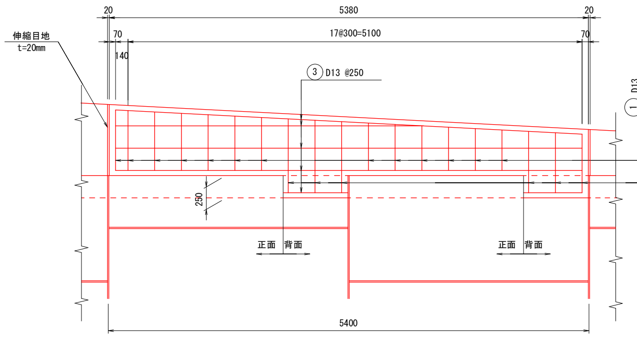


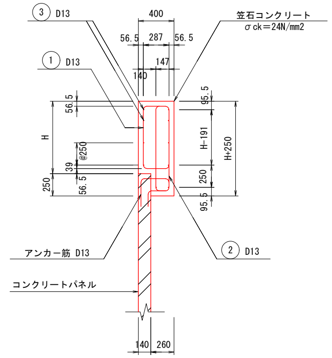


※ 上図は標準の目地間隔での配筋図である。目地間隔が異なるブロックの場合は、上図を参考に適切に配筋すること。
※ H=300以下の部分は無筋構造とする。

笠石コンクリート配筋図 S=1:30

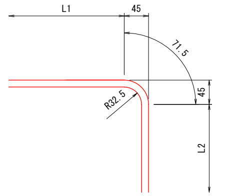
B=400タイプ



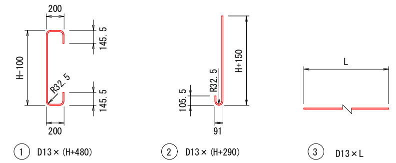


※ 上図は標準の目地間隔での配筋図である。目地間隔が異なるブロックの場合は、上図を参考に適切に配筋すること。
※ H=300以下の部分は無筋構造とする。

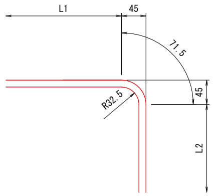
鉄筋曲げ加工図 S=1:5



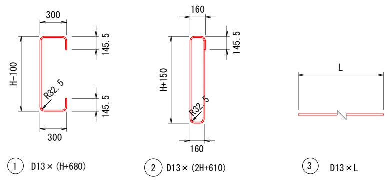
鉄筋加工図 S=1:30



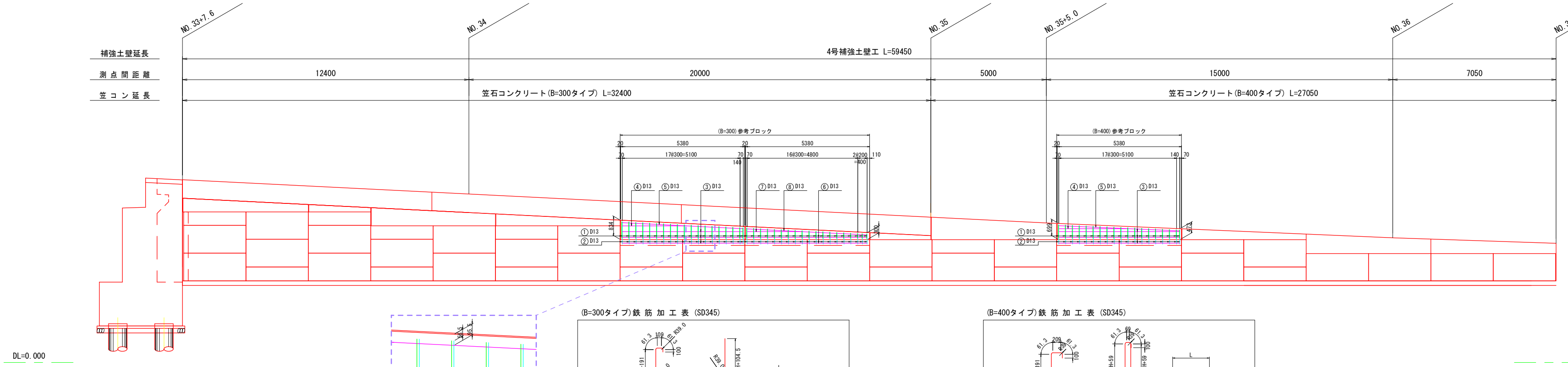
鉄筋曲げ加工図 S=1:5

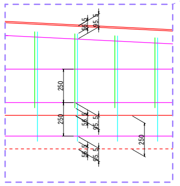


鉄筋加工図 S=1:30

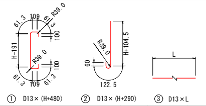


展 開 図(正面) S=1:100



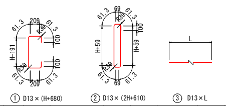


(B=300タイプ)鉄 筋 加 工 表 (SD345)



記号		形状番号	径	本数(本)	H (mm)	長さ (mm)	単位重量 (kg)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
参考ブロック	1	1	D13	38	300 ～ 834	1050	0.995	1.045	40	平均長
	2	2	D13	38	300 ～ 834	860	0.995	0.856	33	平均長
	3	3	D13	5		5240	0.995	5.214	26	
	4	3	D13	2		2780	0.995	2.766	6	
	5	3	D13	2		5250	0.995	5.224	10	
	6	3	D13	3		5200	0.995	5.174	16	
	7	3	D13	2		2380	0.995	2.368	5	
	8	3	D13	2		5210	0.995	5.184	10	
	小計 146 kg									

(B=400タイプ)鉄 筋 加 工 表 (SD345)



記号		形状番号	径	本数(本)	H (mm)	長さ (mm)	単位重量 (kg)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
参考ブロック	1	1	D13	19	473 ～ 699	1270	0.995	1.264	24	平均長
	2	2	D13	19	473 ～ 699	1790	0.995	1.781	34	平均長
	3	3	D13	5		5240	0.995	5.214	26	
	4	3	D13	2		3000	0.995	2.985	6	
	5	3	D13	2		5250	0.995	5.224	10	
	小計 100 kg									

実施　　第20期

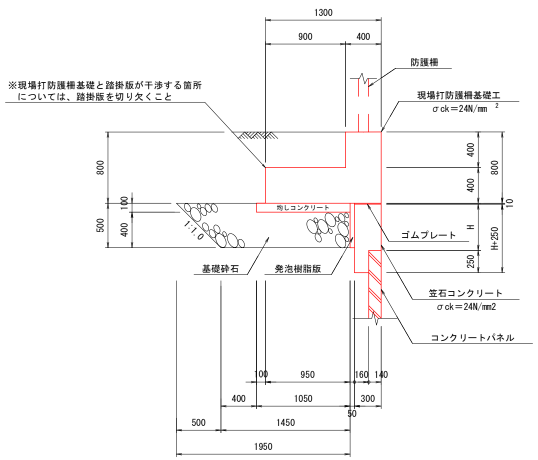
年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字 地内
図面名称	補強土壁工(テールアルメ)詳細図　縮尺 図示
会社名 / 項目	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

補強土壁工(テールアルメ)詳細図 (その12)

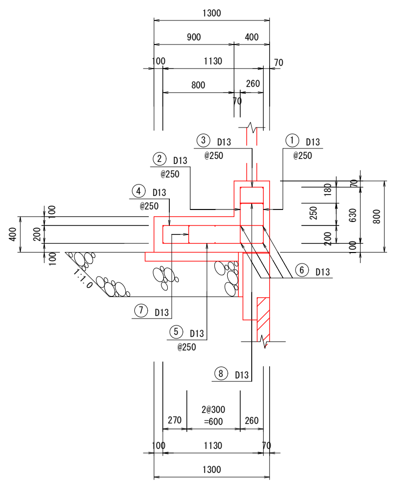
現場打防護柵基礎構造図 (TYPE2～TYPE4)

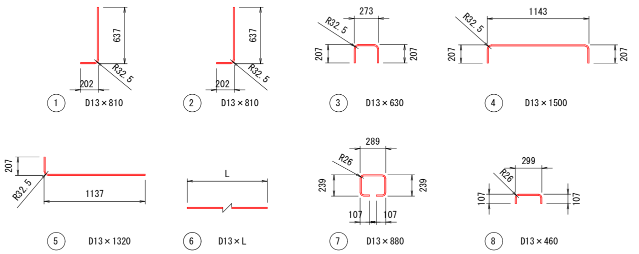
終点側補強土壁工部

路肩部構造図 S=1:30
(BC 種)



現場打防護柵基礎配筋図 S=1:30
(BC 種)



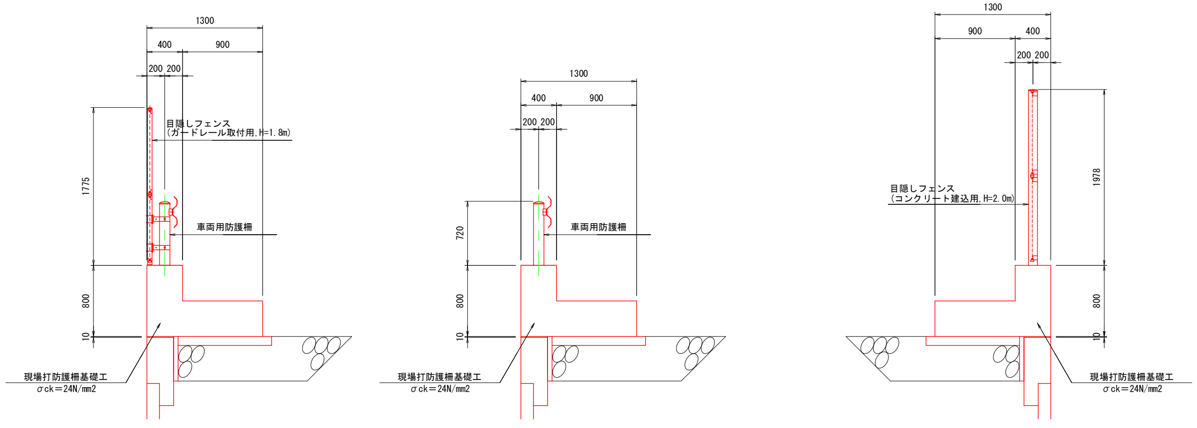


(TYPE2～TYPE4)
鉄 筋 重 量 表 (延長1.0m当り)

記号	径	寸法(mm)	本数	単位質量(kg/m)	1本当質量(kg)	質量(kg)	摘 要
①	D13	810	4	0.995	0.806	3.224	
②	D13	810	4	0.995	0.806	3.224	
③	D13	630	4	0.995	0.627	2.508	
④	D13	1500	4	0.995	1.493	5.972	
⑤	D13	1320	4	0.995	1.313	5.252	
⑥	D13	1000	14	0.995	0.995	13.930	
⑦	D13	880	2	0.995	0.876	1.752	
⑧	D13	460	2	0.995	0.458	0.916	
					D13	36.778	kg

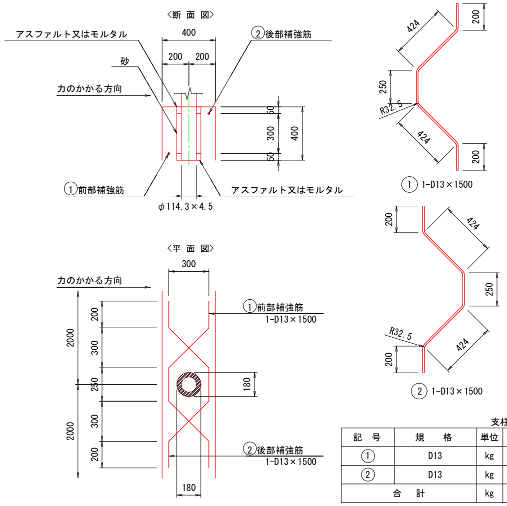
防護柵詳細図 S=1:30

TYPE-2 3号補強土壁
TYPE-3 3号補強土壁
TYPE-4 4号補強土壁



※施工時に目隠しフェンスの製品を決定し、主柱を
所定の方法にて埋め込むこと。

ガードレール補強鉄筋 S=1:20



支柱一箇所当り

記 号	規 格	単位	重 量
①	D13	kg	1.493
②	D13	kg	1.493
合 計		kg	2.986

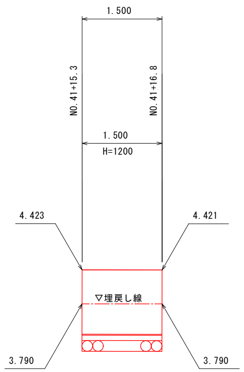
実施 第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 市 矢尾 里方 町 大字 地内
図面名称	補強土壁工(テールアルメ)詳細図 縮尺 図示
会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

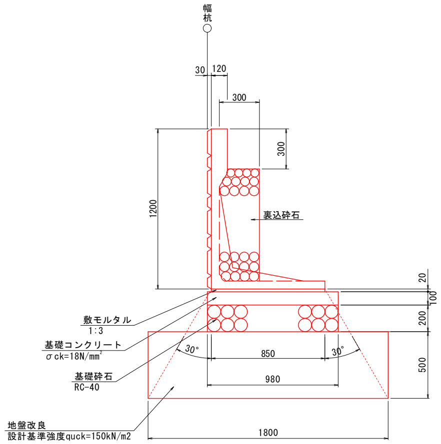
L型擁壁工構造図(3)

4号L型擁壁工
右側

展開図 S=1:50



標準断面図 S=1:20



設計条件

擁壁全高		1.20m
裏込土	単位体積重量γ	19.0kN/m3
	せん断抵抗角φ	30°
載荷重q		3.5kN/m2
滑動摩擦係数μ		0.5
最大鉛直力		22.82kN
最大地盤反力度		47.12kN/m2

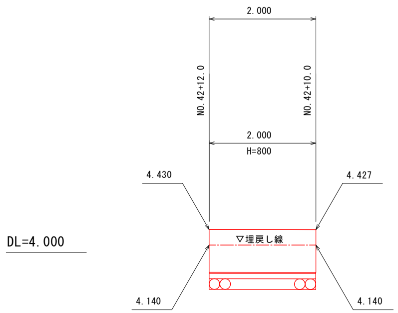
数量表

4号L型擁壁工

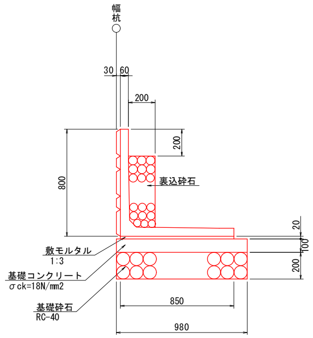
H	製品種別	長さ(m)	数量(本)	参考重量(kg)	備考
1200	異形	1.500	1	637	1種タイプ
敷モルタル量(m^3)		0.026			t= 20mm
基礎コンクリート量(m^3)		0.147			t=100mm
基礎型枠量(m^2)		0.300			
基礎砕石量(m^2)		1.470			t=200mm
裏込砕石量(m^3)		0.341			
地盤改良 (m^2)		2.7			t=0.50m
床掘 (m^3)		2.3			
埋戻 (m^3)		1.5			
基面整正 (m^2)		1.5			

5号L型擁壁工
左側

展開図 S=1:50



標準断面図 S=1:20



設計条件

擁壁全高		0.80m
裏込土	単位体積重量γ	19.0kN/m3
	せん断抵抗角φ	30°
載荷重q		3.5kN/m2
滑動摩擦係数μ		0.5
最大鉛直力		16.25kN
最大地盤反力度		25.87kN/m2

数量表

5号L型擁壁工

H	製品種別	長さ(m)	数量(本)	参考重量(kg)	備考
800	標準型	2.000	1	529	2種タイプ
敷モルタル量(m^3)		0.034			t= 20mm
基礎コンクリート量(m^3)		0.196			t=100mm
基礎型枠量(m^2)		0.400			
基礎砕石量(m^2)		1.960			t=200mm
裏込砕石量(m^3)		0.202			
床掘 (m^3)		2.0			
埋戻 (m^3)		1.2			
基面整正 (m^2)		2.0			

※施工時に、計画床付け面にて現地盤の許容支持力の確認を行うこと。

実施　第20期

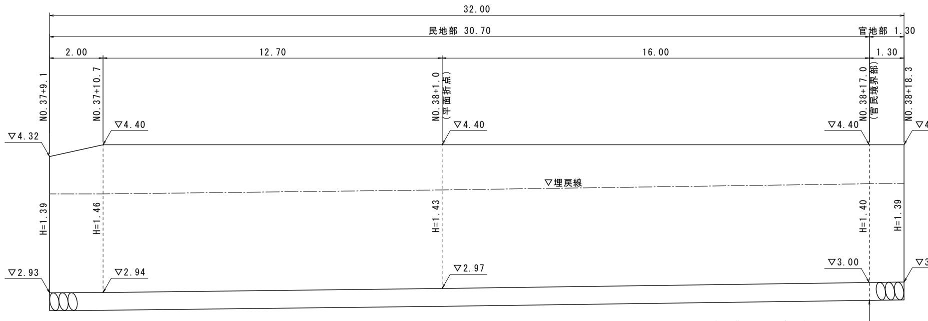
年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊅ 高岡 里方 ㊂ 村 大字 地内
図面名称	L型擁壁工構造図　縮尺 図示
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設計	

79 葉の内 28

重力式擁壁構造図

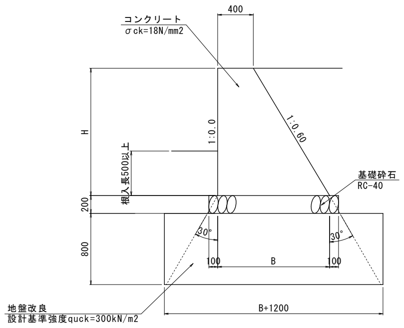
１号重力式擁壁
左側

展開図 SH=1:100 SV=1:20



※官民境界部には境界線なりに目地を設置し、管理境界を明示する。

標準断面図 S=1:30
GW16



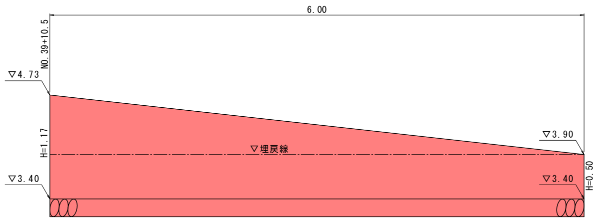
※水抜孔
擁壁には、2.0m²に1箇所の割合で排水孔(硬質塩化ビニールVU管)を設け、孔の大きさは、呼び径50を標準とする。排水孔には吸出防止材を設置する。
※伸縮目地
擁壁には、10m以下毎に伸縮目地を設け、目地材厚はt=10mmを標準とする。

設計条件

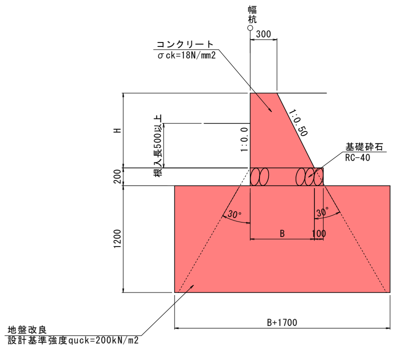
標準設計		GW16(H=2.0m)
コンクリート設計基準強度σck		18N/mm2
裏込土	単位体積重量γ	19.0kN/m3
	せん断抵抗角φ	30°
載荷重q		10.0kN/m2
滑動摩擦係数μ		0.5
鉛直力		74.7kN
最大地盤反力度		82.0kN/m2

２号重力式擁壁
左側

展開図 S=1:30



標準断面図 S=1:30
SGW42



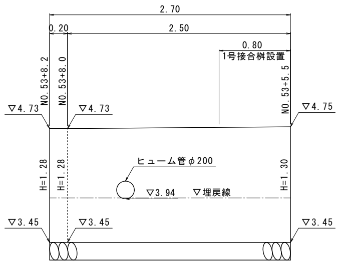
※水抜孔
擁壁には、2.0m²に1箇所の割合で排水孔(硬質塩化ビニールVU管)を設け、孔の大きさは、呼び径50を標準とする。排水孔には吸出防止材を設置する。

設計条件

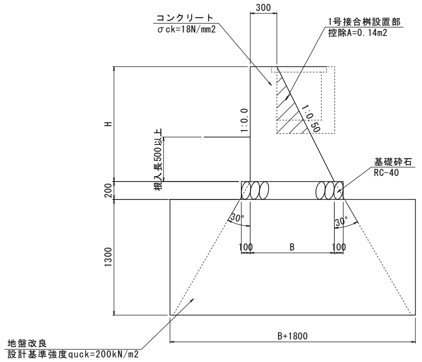
標準設計		SGW42(H=1.5m)
コンクリート設計基準強度σck		18N/mm2
裏込土	単位体積重量γ	19.0kN/m3
	せん断抵抗角φ	30°
載荷重q		3.5kN/m2
滑動摩擦係数μ		0.5
鉛直力		34.2kN
最大地盤反力度		64.0kN/m2

３号重力式擁壁
左側

展開図 S=1:30



標準断面図 S=1:30
SGW42



※水抜孔
擁壁には、2.0m²に1箇所の割合で排水孔(硬質塩化ビニールVU管)を設け、孔の大きさは、呼び径50を標準とする。排水孔には吸出防止材を設置する。

設計条件

標準設計		SGW42(H=1.5m)
コンクリート設計基準強度σck		18N/mm2
裏込土	単位体積重量γ	19.0kN/m3
	せん断抵抗角φ	30°
載荷重q		3.5kN/m2
滑動摩擦係数μ		0.5
鉛直力		34.2kN
最大地盤反力度		64.0kN/m2

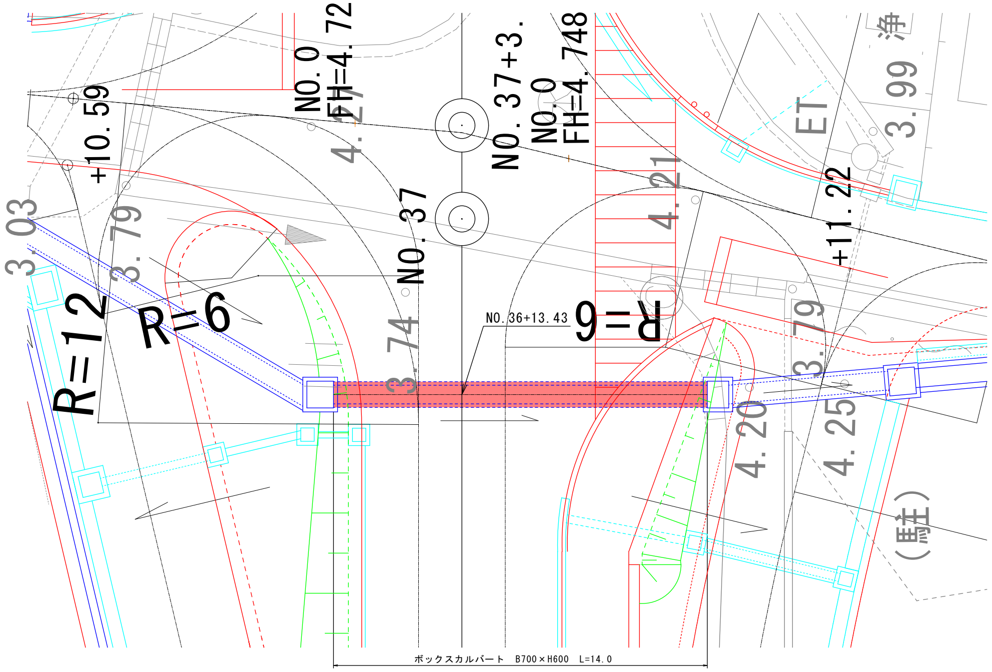
※施工時に、計画床付け面にて現地盤の許容支持力の確認を行うこと。

実施　第20期

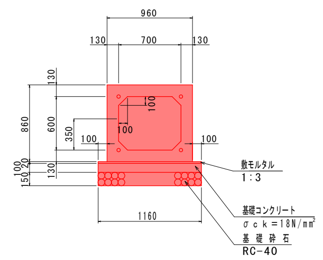
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊚市 高岡 里方 ㊚町/村 大字　地内
図面名称	重力式擁壁構造図　縮尺 図示
項目／会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

ボックスカルバート一般図（2／3）
（B700×H600）

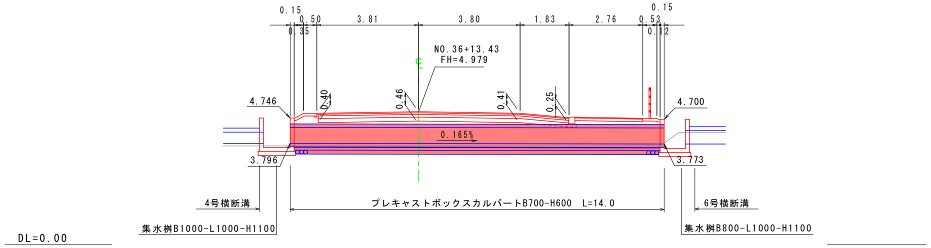
平　面　図　S=1:100



標準断面図　S=1:30



縦　断　図　S=1:100
NO.36+13.43



設計条件

コンクリート	
設計基準強度	σck = 35 N/mm²
許容曲げ圧縮応力度	σca = 11.7 N/mm²
鉄　筋	
許容引張応力度	σsa = 160 N/mm²
活 荷 重	T-25
土 被 り	H = 0.22~0.47 m
鉄筋コンクリートの単位体積重量	γc = 24.5 kN/m³
土の単位体積重量	γt = 19.0 kN/m³
土 圧 係 数	Ko = 0.50
最 大 鉛 直 力	V = 102.2 kN/m
最 大 地 盤 反 力 度	q = 106.427 kN/m2

※施工時に、計画床付け面にて地盤の許容支持力の確認を行うこと。

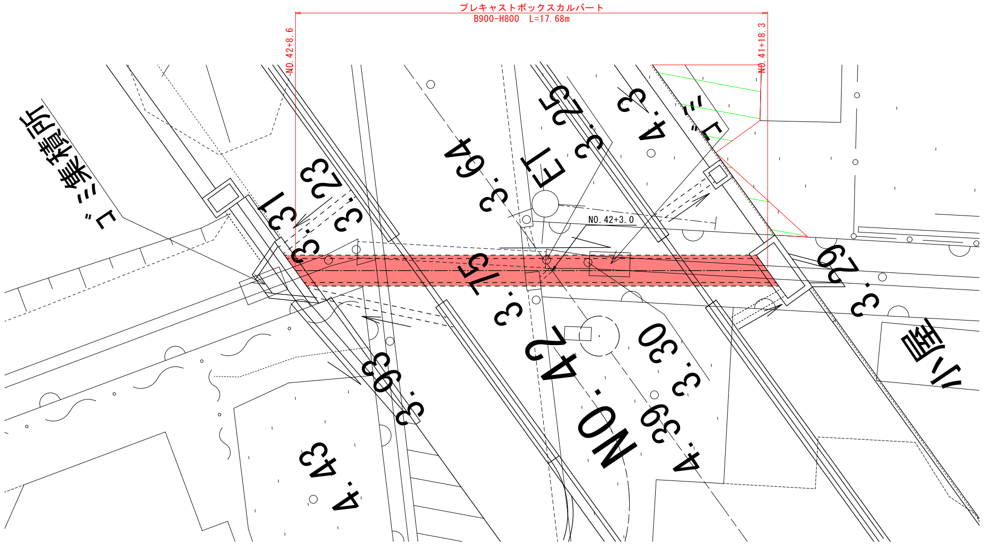
実施　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金（改築）工事
道川港名	（一）矢尾今市線（大塚工区）
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字　地内
図面名称	ボックスカルバート一般図　縮尺 図示
項目／会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設　計	

79 葉の内30

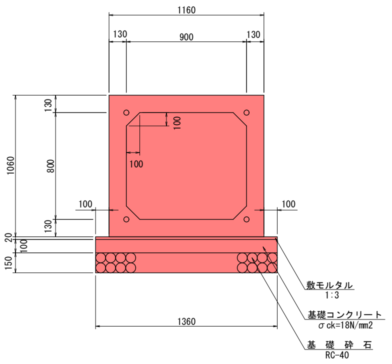
ボックスカルバート一般図(3)
3号ボックスカルバート

平面図　S=1:100

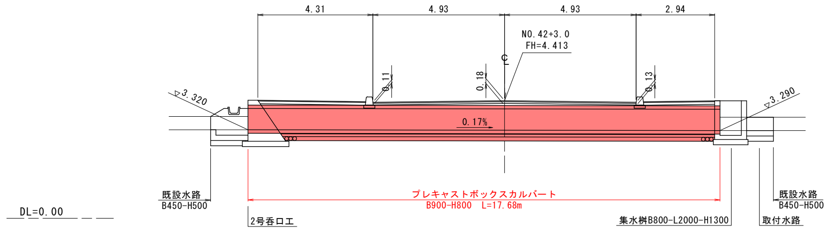


標準断面図　S=1:20

プレキャストボックスカルバート
B900-H800



縦断図　S=1:100
NO.42+8.6～NO.41+18.3



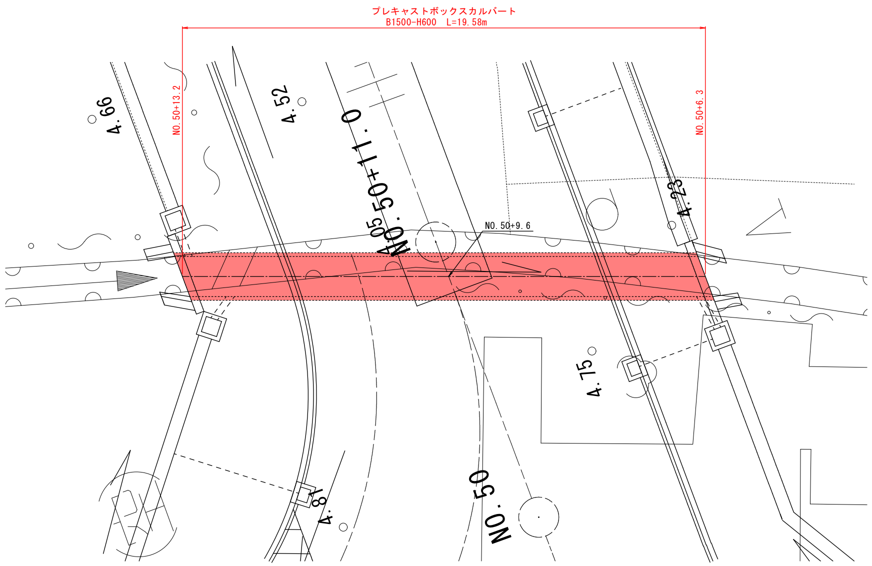
実施　第20期

年度	平成　30　年度
番号	災　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 高岡 里方 町/村 大字　地内
図面名称	ボックスカルバート 一般図　縮尺 図示
項目＼会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

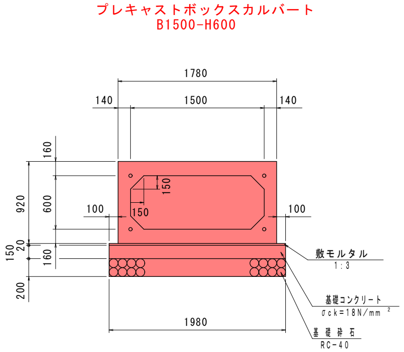
79 葉の内 31

ボックスカルバート一般図(5)
5号ボックスカルバート

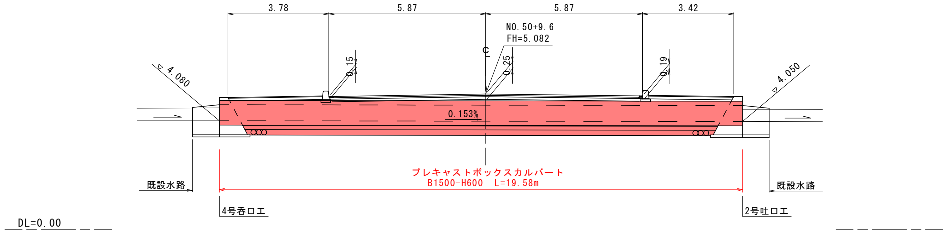
平面図　S=1:100



標準断面図　S=1:30



縦　断　図　S=1:100
NO.50+6.3～NO.50+13.2



実施　第20期

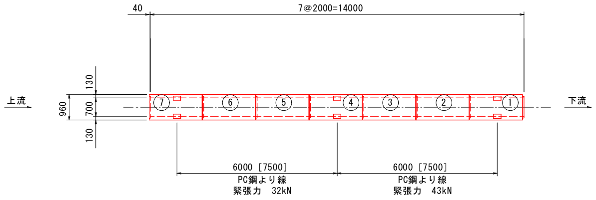
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊞市 高岡/里方 ㊞町/村 大字　地内
図面名称	ボックスカルバート 一般図 縮尺　図示
項目／会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	
	79 葉の内　32

ボックスカルバート割付図（2／3）
（B700×H600×L2000）

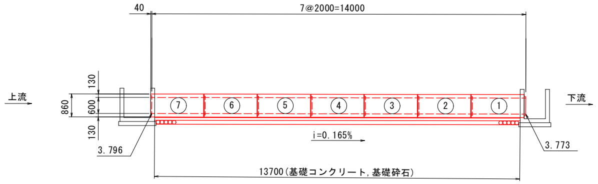
平面図
S=1:100

※ [] は、より線長さとする

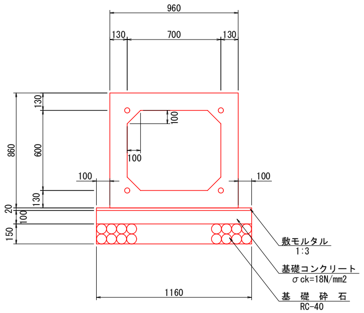
※ 緊張力及びより線長さは、下流から施工の場合とする。



縦断図
S=1:100



標準断面図
S=1:20



材料表
一式当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
基 礎 砕 石	RC-40	m2	15.892	t=150mm
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.589	t=100mm
同 上 型 枠		m2	2.740	
敷モルタル	1:3	m3	0.318	t= 20mm

数量表

番号	種　別	L(m)	個数	重量(kg)
	標準型	2.000	4	2130
	標準型、箱抜	2.000	3	2130

材料表

種　別	数　量
PC鋼より線 SWPR7BL φ12.7mm	7.5m× 8本
アンカープレート	16個
グリップ	16個

設計条件

コンクリート	
設計基準強度	σck = 35 N/mm²
許容曲げ圧縮応力度	σca = 11.7 N/mm²
鉄　筋	
許容引張応力度	σsa = 160 N/mm²
活 荷 重	T-25
土 被 り	H = 0.22～0.47 m
鉄筋コンクリートの単位体積重量	γc = 24.5 kN/m³
土の単位体積重量	γt = 19.0 kN/m³
土 圧 係 数	Ko = 0.50

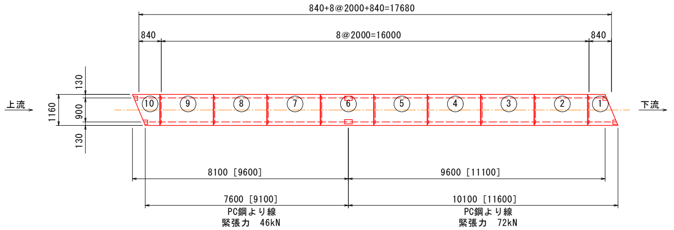
実施　　第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字 地内
図面名称	ボックスカルバート割付図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

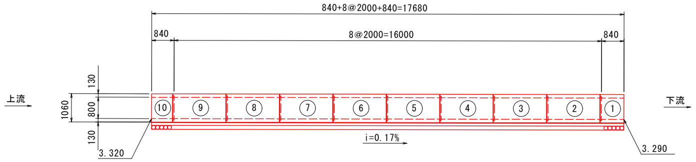
ボックスカルバート割付図(3)
3号ボックスカルバート

平面図　S=1:100

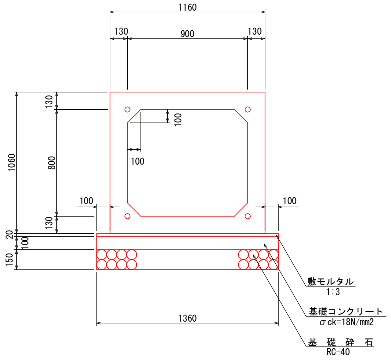
※ [] は、より線長さとする
※ 緊張力及びより線長さは、下流から施工の場合とする。



縦断図　S=1:100



標準断面図　S=1:20



材料表

一式当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
基　礎　砕　石	RC-40	m2	24.045	t=150mm
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	2.404	t=100mm
同　上　型　枠		m2	3.536	
敷モルタル	1:3	m3	0.481	t= 20mm

数量表

番号	種　別	L(m)	個数	重量(kg)
	標準型	2.000	7	2650
	標準型、箱抜	2.000	1	2650
1	斜切、箱抜	0.840	1	1113
10	斜切、箱抜	0.840	1	1113

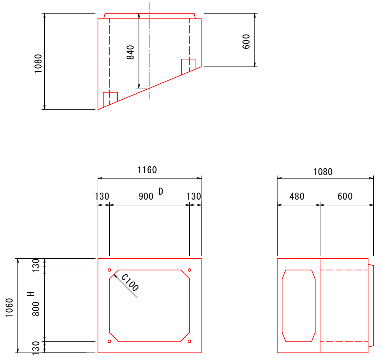
材料表

種　別	数　量
PC鋼より線 SWPR7BL φ12.7mm	9.1m× 2本
	9.6m× 2本
	11.1m× 2本
	11.6m× 2本
アンカープレート	16個
グリップ	16個

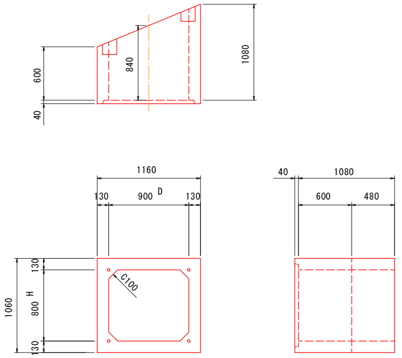
設計条件

コンクリート	
設計基準強度	σck = 35 N/mm²
許容曲げ圧縮応力度	σca = 11.7 N/mm²
鉄　筋	
許容引張応力度	σsa = 160 N/mm²
活　荷　重	T-25
土　被　り	H = 0.10～0.18 m
鉄筋コンクリートの単位体積重量	γc = 24.5 kN/m³
土の単位体積重量	γt = 19.0 kN/m³
土　圧　係　数	Ko = 0.50
最大鉛直力	V = 108.0 kN
最大地盤反力度	q = 93.092 kN/m2

製品番号 10 斜切，箱抜　S=1:30



製品番号 1 斜切，箱抜　S=1:30



※施工時に、計画床付け面にて現地盤の許容支持力の確認を行うこと。

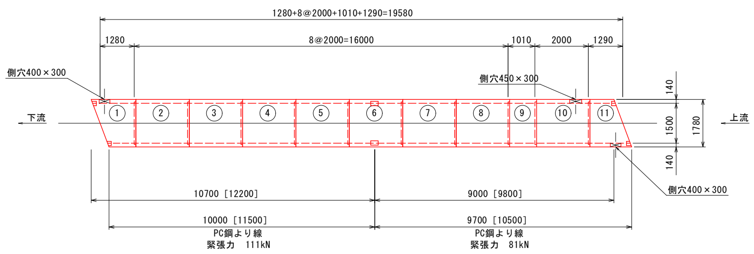
実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊢ 高岡/里方 ㊞/村 大字　地内
図面名称	ボックスカルバート割付図　縮尺 図示
項目／会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設　計	

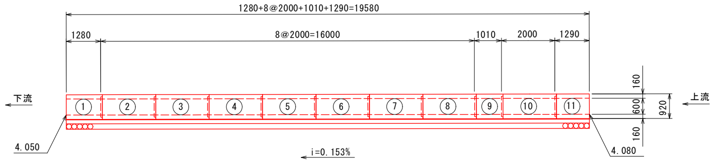
ボックスカルバート割付図(5)
5号ボックスカルバート

平面図 S=1:100

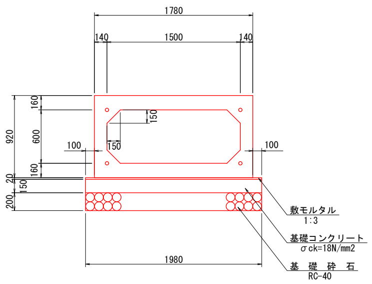
※ [] は、より線長さとする
※ 緊張力及びより線長さは、下流から施工の場合とする。



縦断図 S=1:100



標準断面図 S=1:30



材料表

一式当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
基　礎　砕　石	RC-40	m2	38.768	t=200mm
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	5.815	t=150mm
同　上　型　枠		m2	5.874	
敷モルタル	1:3	m3	0.775	t= 20mm

数量表

番号	種　別	L(m)	個数	重量(kg)
	標準型	2.000	6	3910
	標準型、箱抜	2.000	1	3910
1	斜切、箱抜、側穴 (400×300)	1.280	1	2497
9	異形	1.010	1	1975
10	側穴 (450×300)	2.000	1	3860
11	斜切、箱抜、側穴 (400×300)	1.290	1	2473

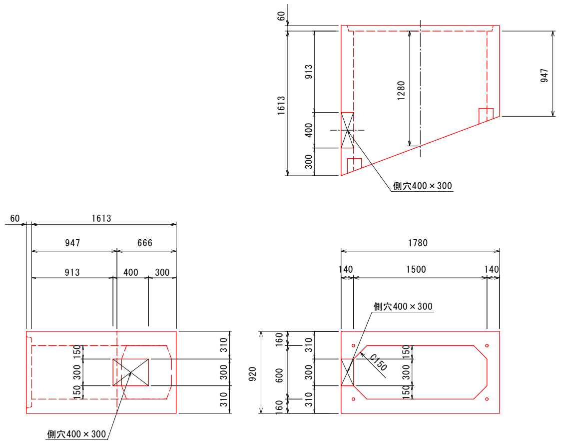
材料表

種　別	数　量
PC鋼より線 SWPR7BL φ15.2mm	9.8m× 2本
	10.5m× 2本
	11.5m× 2本
	12.2m× 2本
アンカープレート	16個
グリップ	16個

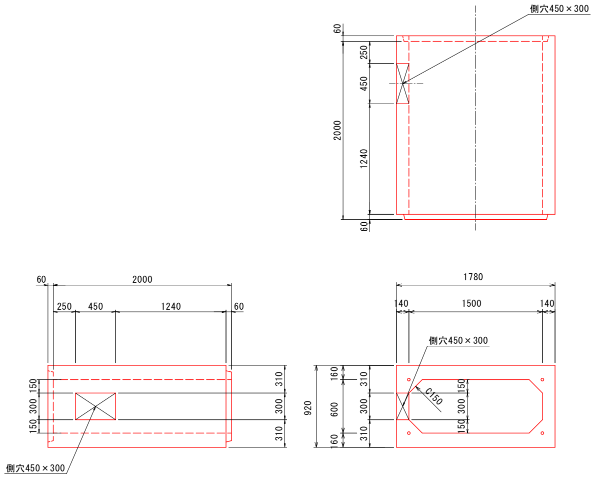
設計条件

コンクリート	
設計基準強度	σck = 35 N/mm²
許容曲げ圧縮応力度	σca = 11.7 N/mm²
鉄　筋	
許容引張応力度	σsa = 160 N/mm²
活　荷　重	T-25
土　被　り	H = 0.15～0.26m
鉄筋コンクリートの単位体積重量	γc = 24.5 kN/m³
土の単位体積重量	γt = 19.0 kN/m³
土　圧　係　数	Ko = 0.50
最大鉛直力	V = 116.4 kN
最大地盤反力度	q = 65.393 kN/m2

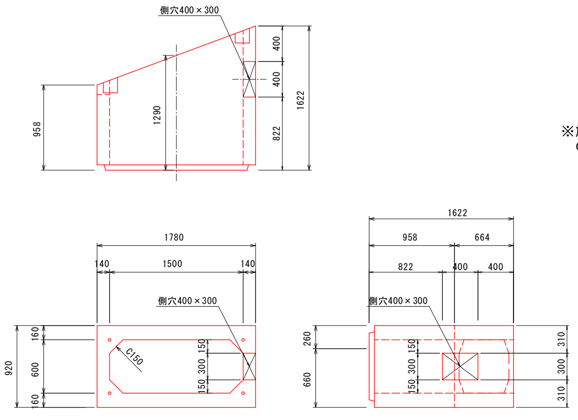
製品番号 1 斜切,箱抜,側穴 S=1:30



製品番号 10 異形 S=1:30



製品番号 11 斜切,箱抜,側穴,側穴 S=1:30



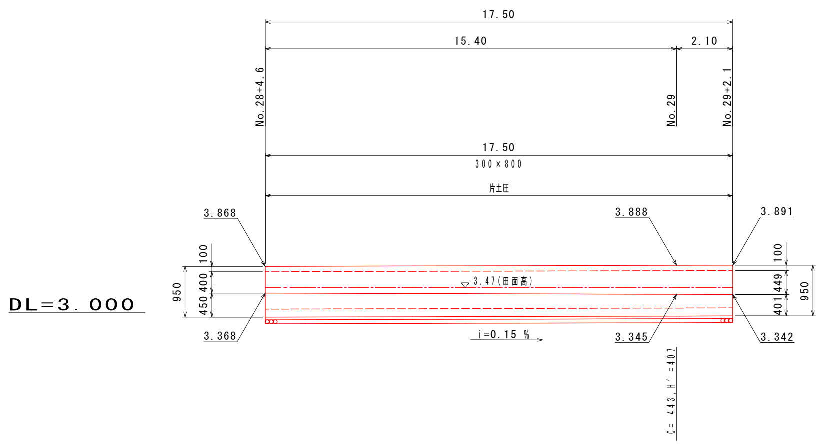
※施工時に、計画床付け面にて現地盤の許容支持力の確認を行うこと。

実施　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊅市 高岡/里方 ㊅町/村 大字　地内
図面名称	ボックスカルバート 割付図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	

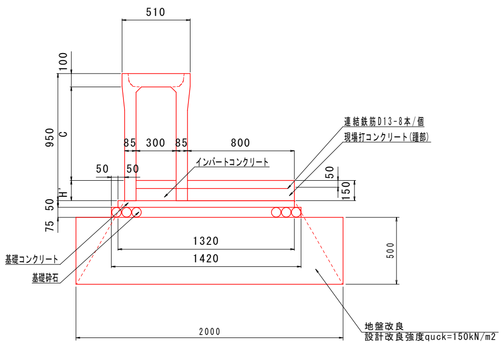
3号可変側溝構造図
左側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	300×800
側　溝　延　長 (m)	17.50
インバートコンクリート量 (m³)	2.235
基 礎 コンクリート 量 (m³)	1.155
基 礎　型 枠　量 (m²)	1.750
基 礎　砕 石　量 (m²)	24.850

土留用 S=1:20



参考重量849kg

数量表　　3号可変側溝

呼び名		側溝延長(m)	備　考
自由勾配側溝	300× 800	17.50	標準品片土圧
コンクリート蓋(車道用 : 300)		13(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用 : 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		2(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		2.235	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		1.155	
基 礎 型 枠 量(m^2)		1.750	
基 礎 砕 石 量(m^2)		24.850	t=75mm
踵 部 コンクリート 量(m^3)		2.100	
踵 部 型 枠 量(m^2)		2.625	
連 結 鉄 筋 量(kg)		79.053	
土工	床 掘(m^3)	24.5	
	埋 戻(m^3)	15.8	
	基面整正(m^2)	24.9	
地 盤 改 良 (m2)		35.0	

※ グレーチング蓋は、普通目とする。

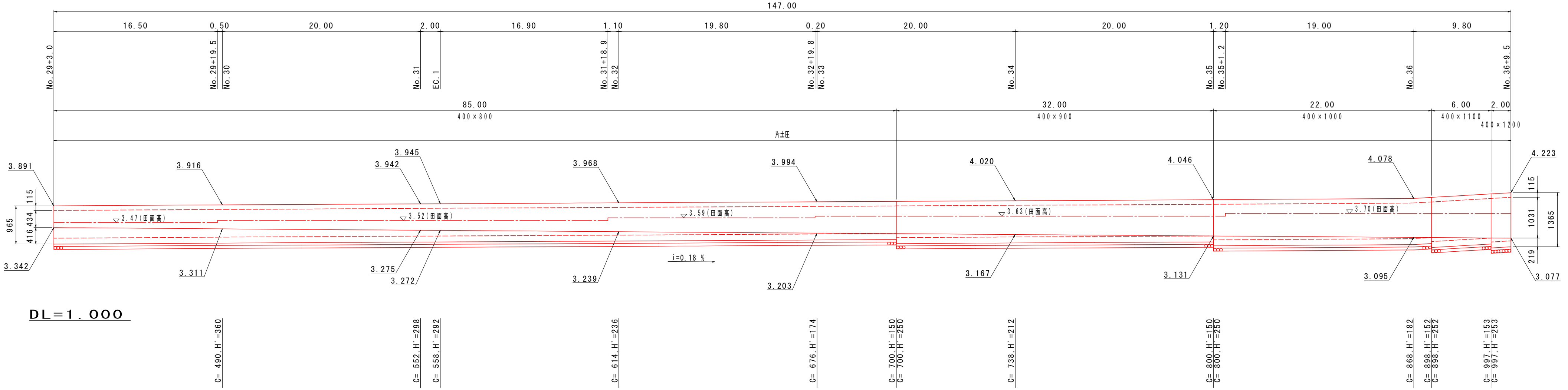
実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線(大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 (市) 矢尾 里方 (町) 村 大字　地内
図面名称	可変側溝構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設　計	

79 葉の内36

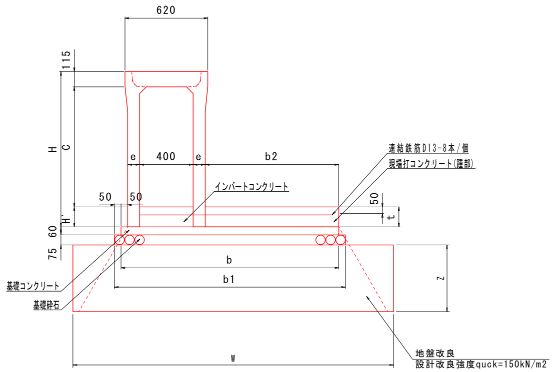
4号可変側溝北構造図
左側

縦断面図 SH=1:200 SV=1:50



呼　び　名	400×800	400×900	400×1000	400×1100	400×1200
側　溝　延　長（m）	85.00	32.00	22.00	6.00	2.00
インバートコンクリート量（m^3）	9.565	2.557	1.865	0.486	0.189
基 礎 コンクリート 量（m^3）	7.599	3.034	2.152	0.587	0.202
基　礎　型　枠　量（m^2）	10.200	3.840	2.640	0.720	0.240
基　礎　砕　石　量（m^2）	135.150	53.760	38.060	10.380	3.560

土留用 S=1:20



寸法表

呼び名	H	e	b	b1	b2	t	W	Z	参考重量(kg)
400× 800	965	70	1490	1590	900	150	2200	500	796
400× 900	1065	90	1580	1680	950	150	2300	500	1032
400×1000	1165	90	1630	1730	1000	150	2700	800	1116
400×1100	1265	90	1630	1730	1000	150	2700	800	1200
400×1200	1365	90	1680	1780	1050	150	2800	800	1285

数量表　　4号可変側溝北

呼び名		側溝延長(m)	備　考
自由勾配側溝	400× 800	85.00	標準品片土圧
	400× 900	32.00	標準品片土圧
	400×1000	22.00	標準品片土圧
	400×1100	6.00	標準品片土圧
	400×1200	2.00	標準品片土圧
コンクリート蓋(車道用 : 400)		116(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用 : 400)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　: 400)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 400)		15(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		14.662	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		13.574	
基 礎 型 枠 量(m^2)		17.640	
基 礎 砕 石 量(m^2)		240.910	t=75mm
踵 部 コンクリート 量(m^3)		20.550	
踵 部 型 枠 量(m^2)		22.050	
連 結 鉄 筋 量(kg)		592.939	
土工	床 掘(m^3)	249.9	
	埋 戻(m^3)	161.7	
	基面整正(m^2)	240.9	
地 盤 改 良 (m2)		341.8	

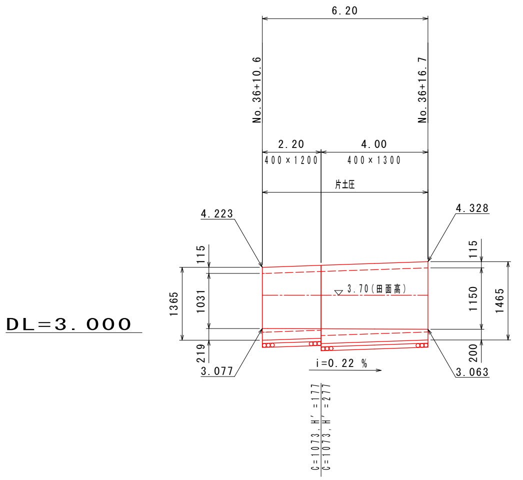
※ グレーチング蓋は、普通目とする。

実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊯ 矢尾 里方 ㊲ 村 大字　地内
図面名称	可変側溝構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	
	79 葉の内37

5号可変側溝北構造図
左側

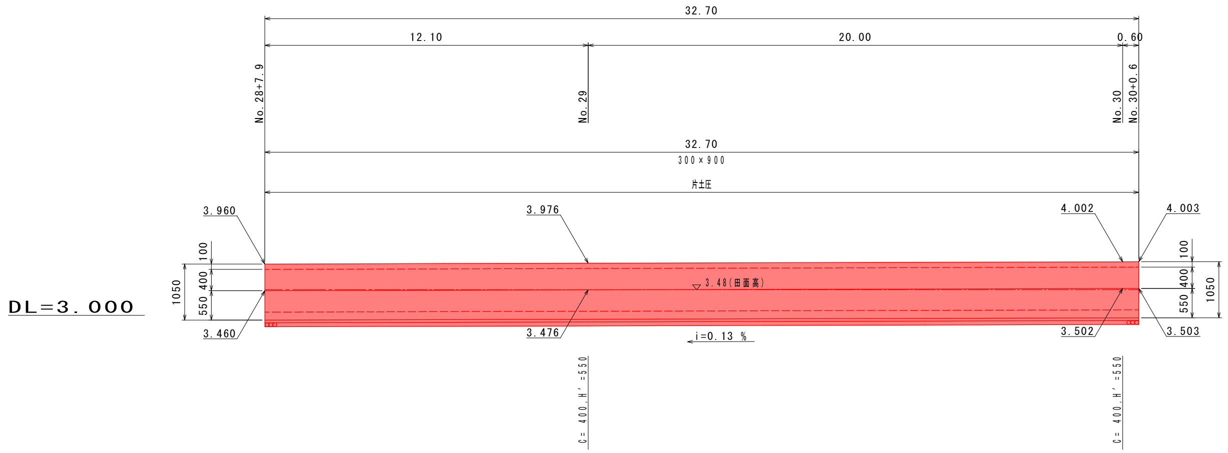
縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼び名	400×1200	400×1300
側溝延長 (m)	2.20	4.00
インバートコンクリート量 (m³)	0.174	0.382
基礎 コンクリート 量 (m³)	0.222	0.415
基礎 型枠 量 (m²)	0.264	0.480
基礎 砕石 量 (m²)	3.916	7.320

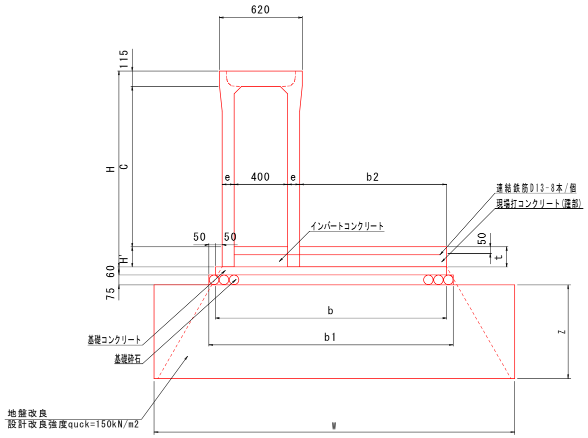
6号可変側溝北構造図
右側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼び名	300×900
側溝延長 (m)	32.70
インバートコンクリート量 (m³)	5.396
基礎 コンクリート 量 (m³)	2.158
基礎 型枠 量 (m²)	3.270
基礎 砕石 量 (m²)	46.434

土留用 S=1:20



寸法表

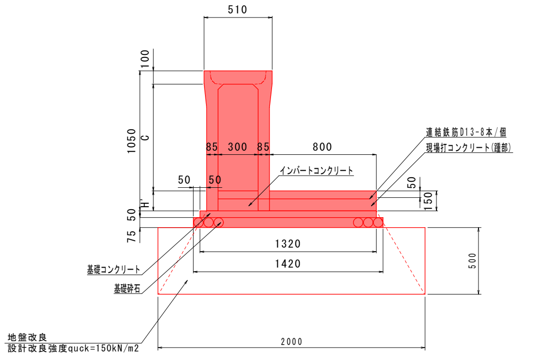
呼び名	H	e	b	b1	b2	t	W	Z	参考重量(kg)
400×1200	1365	90	1680	1780	1050	150	2800	800	1285
400×1300	1465	90	1730	1830	1100	150	2700	700	1369

数量表　5号可変側溝北

呼び名		側溝延長(m)	備考
自由勾配側溝	400×1200	2.20	標準品片土圧
	400×1300	4.00	標準品片土圧
コンクリート蓋(車道用 : 400)		6(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用 : 400)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 400)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 400)		(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m³)		0.556	
基礎 コンクリート 量(m³)		0.637	
基礎 型枠 量(m²)		0.744	
基礎 砕石 量(m²)		11.236	t=75mm
踵部 コンクリート 量(m³)		1.007	
踵部 型枠 量(m²)		0.930	
連結 鉄筋 量(kg)		37.563	
土工	床掘(m³)	19.2	
	埋戻(m³)	13.6	
	基面整正(m²)	11.2	
地盤改良 (m2)		17.0	

※ グレーチング蓋は、普通目とする。

土留用 S=1:20



参考重量929kg

数量表　6号可変側溝北

呼び名		側溝延長(m)	備考
自由勾配側溝	300× 900	32.70	標準品片土圧
コンクリート蓋(車道用 : 300)		26(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用 : 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		3(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m³)		5.396	
基礎 コンクリート 量(m³)		2.158	
基礎 型枠 量(m²)		3.270	
基礎 砕石 量(m²)		46.434	t=75mm
踵部 コンクリート 量(m³)		3.924	
踵部 型枠 量(m²)		4.905	
連結 鉄筋 量(kg)		147.716	
土工	床掘(m³)	62.1	
	埋戻(m³)	42.5	
	基面整正(m²)	46.4	
地盤改良 (m2)		65.4	

※ グレーチング蓋は、普通目とする。

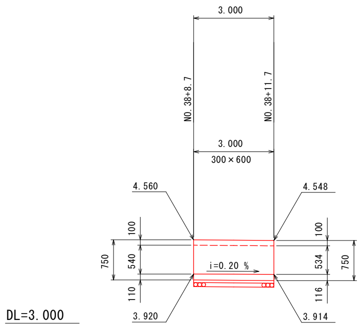
実施　　第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊫ 矢尾 里方 ㊮ 村 大字 地内
図面名称	可変側溝構造図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

可変側溝構造図(1)

1号可変側溝
右側

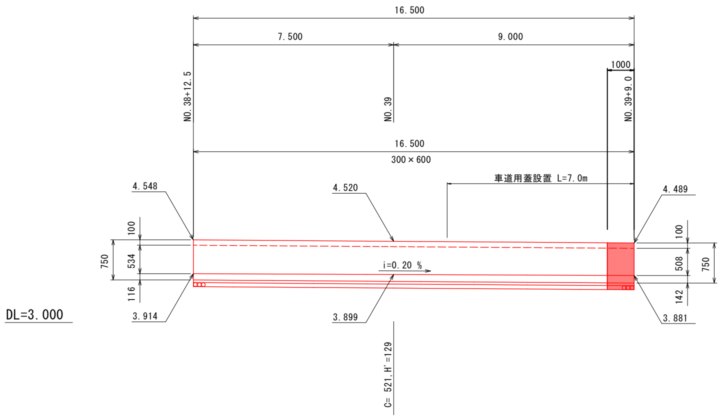
縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	300×600
側　溝　延　長 (m)	3.000
インバートコンクリート量 (m^3)	0.102
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.080
基 礎　型 枠　量 (m^2)	0.300
基 礎　砕 石　量 (m^2)	1.890

2号可変側溝
右側

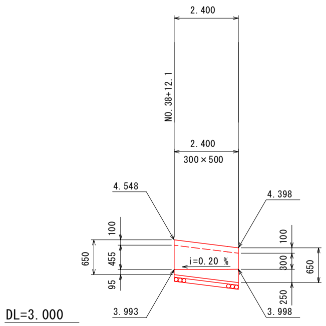
縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	300×600
側　溝　延　長 (m)	16.500
インバートコンクリート量 (m^3)	0.642
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.437
基 礎　型 枠　量 (m^2)	1.650
基 礎　砕 石　量 (m^2)	10.395

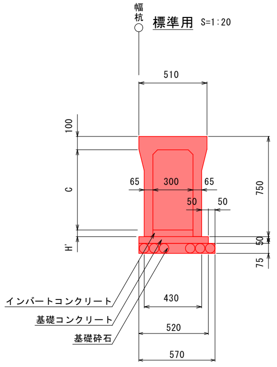
3号可変側溝
右側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	300×500
側　溝　延　長 (m)	2.400
インバートコンクリート量 (m^3)	0.124
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.061
基 礎　型 枠　量 (m^2)	0.240
基 礎　砕 石　量 (m^2)	1.464

標準用 S=1:20



参考重量576kg

数量表　1号可変側溝

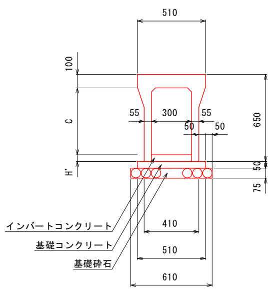
呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 600	3.000	標準品
コンクリート蓋(車道用:300)		2(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　: 300)		(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.102	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		0.078	
基 礎 型 枠 量(m^2)		0.300	
基 礎 砕 石 量(m^2)		1.710	t=75mm
土工	床 掘(m^3)	2.7	
	埋 戻(m^3)	1.5	
	基面整正(m^2)	1.7	

数量表　2号可変側溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 600	16.500	標準品
コンクリート蓋(車道用:300)		5(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		6(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-2 : 300)		2(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.642	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		0.429	
基 礎 型 枠 量(m^2)		1.650	
基 礎 砕 石 量(m^2)		9.405	t=75mm
土工	床 掘(m^3)	14.9	
	埋 戻(m^3)	8.3	
	基面整正(m^2)	9.4	

※10m毎に、グレーチング蓋(T-2:細目)設置とする。

標準用 S=1:20



参考重量466kg

数量表　3号可変側溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 500	2.400	標準品
コンクリート蓋(車道用:300)		2(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　: 300)		(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.124	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		0.061	
基 礎 型 枠 量(m^2)		0.240	
基 礎 砕 石 量(m^2)		1.464	t=75mm
土工	床 堀(m^3)	1.9	
	埋 戻(m^3)	1.2	
	基面整正(m^2)	1.5	

実施　　第20期

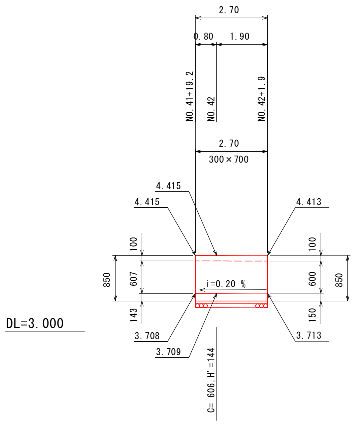
年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡(市) 高岡 里方 (町)村 大字 地内
図面名称	可変側溝構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

79 葉の内 39

可変側溝構造図(2)

4号可変側溝 右側

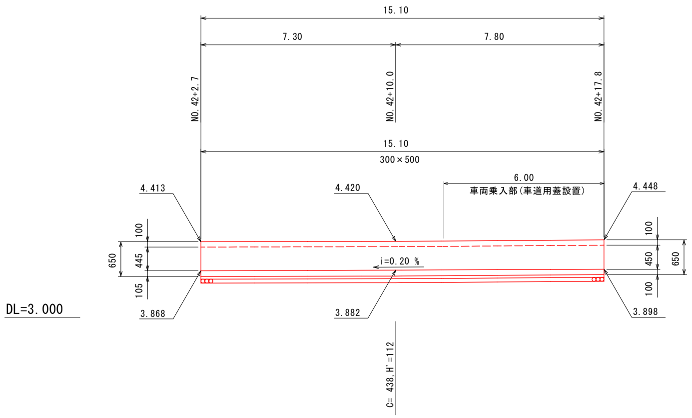
縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	300×700
側　溝　延　長 (m)	2.70
インバートコンクリート量 (m^3)	0.118
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.070
基　礎　型 枠　量 (m^2)	0.270
基　礎　砕 石　量 (m^2)	1.539

5号可変側溝 右側

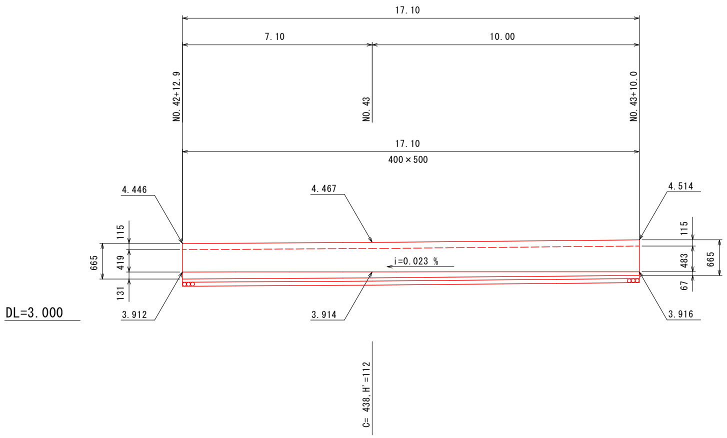
縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	300×500
側　溝　延　長 (m)	15.10
インバートコンクリート量 (m^3)	0.486
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.385
基　礎　型 枠　量 (m^2)	1.510
基　礎　砕 石　量 (m^2)	8.456

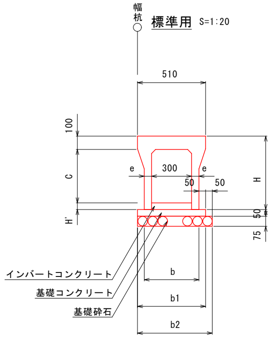
6号可変側溝 左側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	400×500
側　溝　延　長 (m)	17.10
インバートコンクリート量 (m^3)	0.703
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.636
基　礎　型 枠　量 (m^2)	2.052
基　礎　砕 石　量 (m^2)	11.457

標準用 S=1:20



寸法表

呼び名	H	e	b	b1	b2	参考重量(kg)
300× 500	650	55	410	510	560	466
300× 700	850	65	430	520	570	636

数量表　4号可変側溝

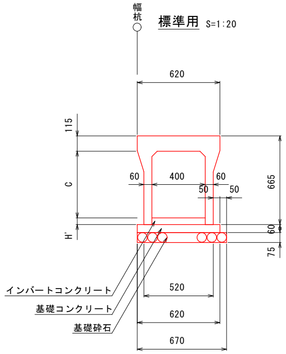
呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 700	2.70	標準品
コンクリート蓋(車道用:300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		2(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　: 300)		(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.118	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		0.070	
基 礎 型 枠 量(m^2)		0.270	
基 礎 砕 石 量(m^2)		1.539	t=75mm
土工	床 掘(m^3)	2.4	
	埋 戻(m^3)	1.4	
	基面整正(m^2)	1.5	

数量表　5号可変側溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 500	15.10	標準品
コンクリート蓋(車道用:300)		6(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		6(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T- 2: 300)		1(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.486	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		0.385	
基 礎 型 枠 量(m^2)		1.510	
基 礎 砕 石 量(m^2)		8.456	t=75mm
土工	床 掘(m^3)	10.6	
	埋 戻(m^3)	6.0	
	基面整正(m^2)	8.5	

※10m毎に、グレーチング蓋(T-2:細目)設置とする。

標準用 S=1:20



参考重量550kg

数量表　6号可変側溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	400× 500	17.10	標準品
コンクリート蓋(車道用:400)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:400)		8(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T- 2: 400)		8(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　: 400)		(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.703	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		0.636	
基 礎 型 枠 量(m^2)		2.052	
基 礎 砕 石 量(m^2)		11.457	t=75mm
土工	床 掘(m^3)	15.4	
	埋 戻(m^3)	8.6	
	基面整正(m^2)	11.5	

※グレーチング蓋は、細目タイプとする。
※蓋版は、側溝1製品(L=2m)につきコンクリート蓋と
グレーチング蓋を1枚ずつ設置するものとする。

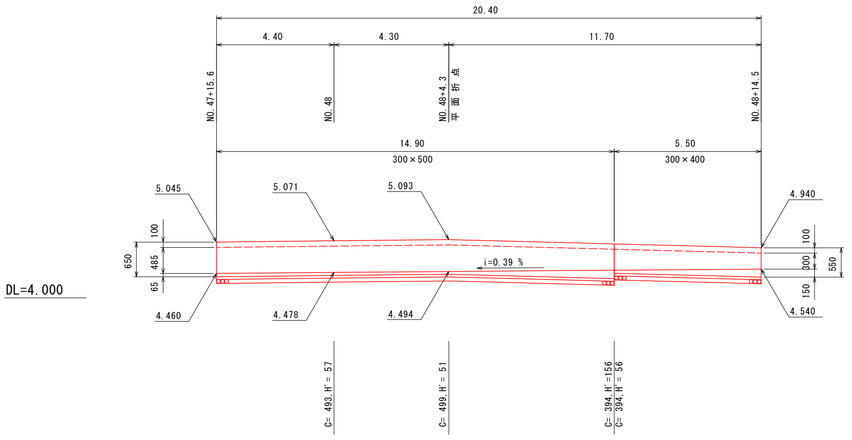
実施　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡(市) 高岡 里方 (町)村 大字　地内
図面名称	可変側溝構造図　縮尺　図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

可変側溝構造図(3)

7号可変側溝 右側

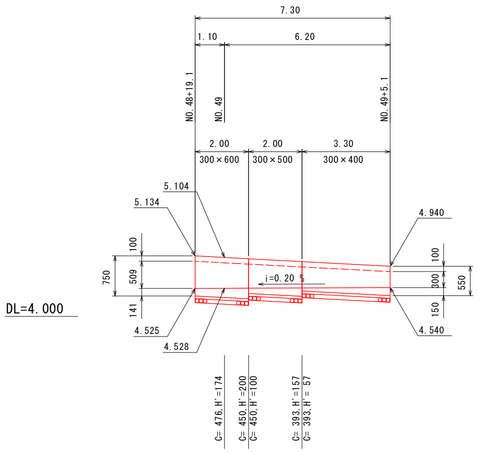
縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼び名	300×500	300×400
側溝延長(m)	14.90	5.50
インバートコンクリート量(m^3)	0.344	0.170
基礎コンクリート量(m^3)	0.380	0.140
基礎型枠量(m^2)	1.490	0.550
基礎砕石量(m^2)	8.344	3.080

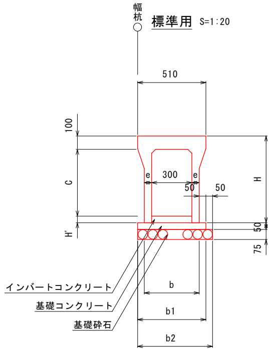
8号可変側溝 左側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼び名	300×600	300×500	300×400
側溝延長(m)	2.00	2.00	3.30
インバートコンクリート量(m^3)	0.102	0.077	0.102
基礎コンクリート量(m^3)	0.051	0.051	0.084
基礎型枠量(m^2)	0.200	0.200	0.330
基礎砕石量(m^2)	1.120	1.120	1.848

標準用 S=1:20



寸法表

呼び名	H	e	b	b1	b2	参考重量(kg)
300× 400	550	55	410	510	560	414
300× 500	650	55	410	510	560	466

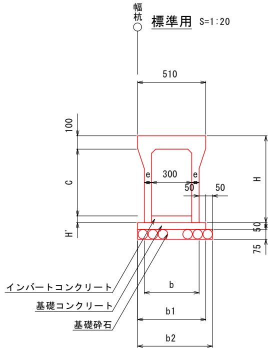
数量表

7号可変側溝

呼び名		側溝延長(m)	備考
自由勾配側溝	300× 400	5.50	標準品
	300× 500	14.90	標準品
コンクリート蓋(車道用:300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		15(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T- 2: 300)		2(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.514	
基礎コンクリート量(m^3)		0.520	
基礎型枠量(m^2)		2.040	
基礎砕石量(m^2)		11.424	t=75mm
土工	床掘(m^3)	10.2	
	埋戻(m^3)	6.1	
	基面整正(m^2)	11.4	

※グレーチング蓋は、細目タイプとする。

標準用 S=1:20



寸法表

呼び名	H	e	b	b1	b2	参考重量(kg)
300× 400	550	55	410	510	560	414
300× 500	650	55	410	510	560	466
300× 600	750	65	430	510	560	576

数量表

8号可変側溝

呼び名		側溝延長(m)	備考
自由勾配側溝	300× 400	3.30	標準品
	300× 500	2.00	標準品
	300× 600	2.00	標準品
コンクリート蓋(車道用:300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		4(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T- 2: 300)		1(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.281	
基礎コンクリート量(m^3)		0.186	
基礎型枠量(m^2)		0.730	
基礎砕石量(m^2)		4.088	t=75mm
土工	床掘(m^3)	5.8	
	埋戻(m^3)	3.7	
	基面整正(m^2)	4.1	

※グレーチング蓋は、細目タイプとする。

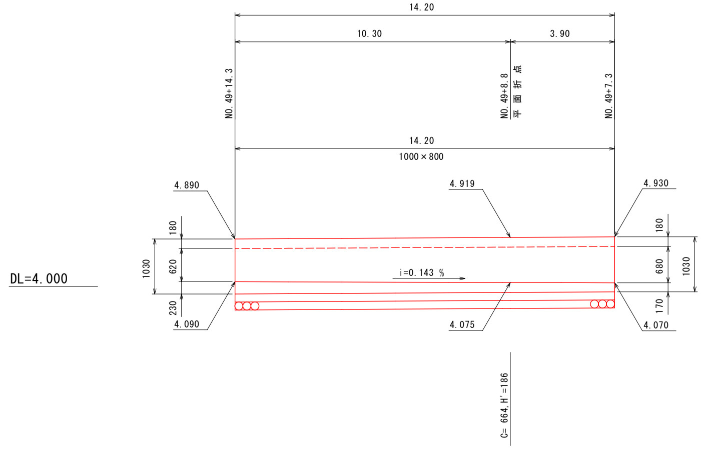
実施　第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 高岡/里方 町/村 大字 地内
図面名称	可変側溝構造図　縮尺 図示
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	
	79 葉の内 41

可変側溝構造図(4)

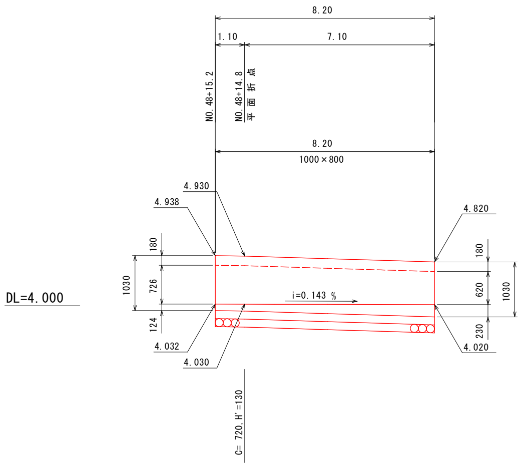
9号可変側溝 左側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



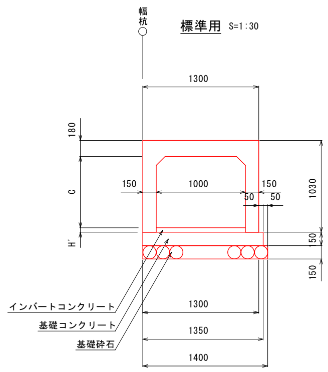
呼 び 名	1000×800
側 溝 延 長 (m)	14.20
インバートコンクリート量 (m^3)	2.836
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	2.876
基 礎 型 枠 量 (m^2)	4.260
基 礎 砕 石 量 (m^2)	19.880

10号可変側溝 右側



呼 び 名	1000×800
側 溝 延 長 (m)	8.20
インバートコンクリート量 (m^3)	1.418
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	1.661
基 礎 型 枠 量 (m^2)	2.460
基 礎 砕 石 量 (m^2)	11.480

標準用 S=1:30



参考重量1530kg

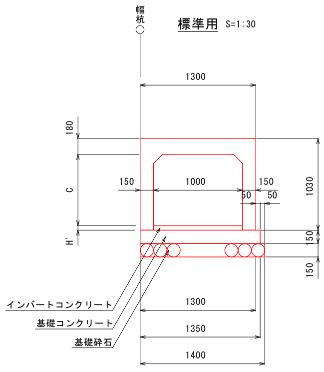
数量表

9号可変側溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	1000× 800	14.20	標準品
コンクリート蓋(車道用:1000)		10(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:1000)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(:1000)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25:1000)		1(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		2.836	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		2.876	
基 礎 型 枠 量(m^2)		4.260	
基 礎 砕 石 量(m^2)		19.880	t=150mm
土工	床 掘(m^3)	36.9	
	埋 戻(m^3)	21.3	
	基面整正(m^2)	19.9	

※グレーチング蓋は、細目タイプとする。

標準用 S=1:30



参考重量1530kg

数量表

10号可変側溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	1000× 800	8.20	標準品
コンクリート蓋(車道用:1000)		4(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:1000)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(:1000)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25:1000)		1(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		1.418	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		1.661	
基 礎 型 枠 量(m^2)		2.460	
基 礎 砕 石 量(m^2)		11.480	t=150mm
土工	床 掘(m^3)	21.3	
	埋 戻(m^3)	12.3	
	基面整正(m^2)	11.5	

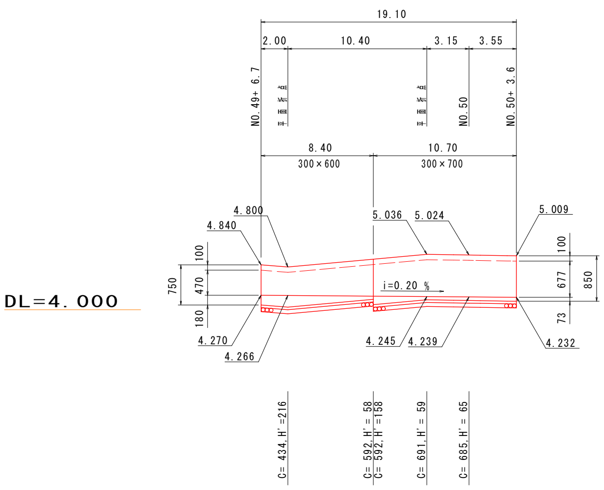
※グレーチング蓋は、細目タイプとする。

実施　第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊥ 高岡 里方 ㊦ 村 大字 地内
図面名称	可変側溝構造図 縮尺 図示
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	
	79 葉の内 42

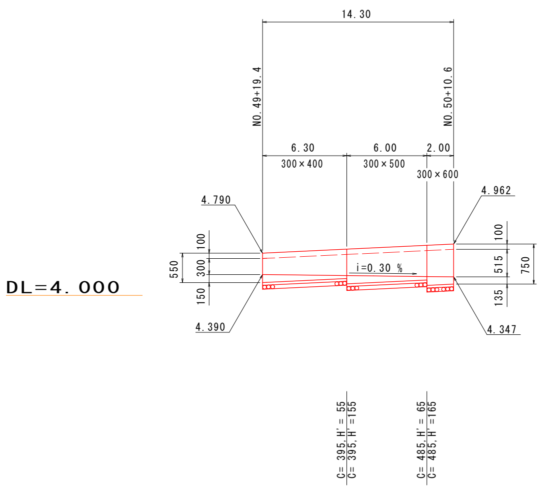
可変側溝構造図(5)

11号可変側溝
右側



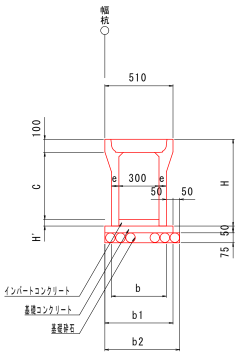
呼 び 名	300×600	300×700
側 溝 延 長 (m)	8.40	10.70
インバートコンクリート量 (m 3)	0.382	0.351
基 礎 コンクリート 量 (m 3)	0.223	0.284
基 礎 型 枠 量 (m 2)	0.840	1.070
基 礎 砕 石 量 (m 2)	5.292	6.741

12号可変側溝
左側



呼 び 名	300×400	300×500	300×600
側 溝 延 長 (m)	6.30	6.00	2.00
インバートコンクリート量 (m 3)	0.194	0.198	0.090
基 礎 コンクリート 量 (m 3)	0.161	0.153	0.053
基 礎 型 枠 量 (m 2)	0.630	0.600	0.200
基 礎 砕 石 量 (m 2)	3.843	3.660	1.260

標準タイプ S=1:20



寸法表

呼び名	H	e	b	b1	b2	参考重量(kg)
300× 400	550	55	410	510	560	414
300× 500	650	55	410	510	560	466
300× 600	750	65	430	520	570	576
300× 700	850	65	430	520	570	636

数量表
11号可変側溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 600	8.40	標準タイプ
	300× 700	10.70	標準タイプ
コンクリート蓋(車道用 : 300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用 : 300)		14(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-2 : 300)		2(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m 3)		0.733	
基 礎 コンクリート 量(m 3)		0.496	
基 礎 型 枠 量(m 2)		1.910	
基 礎 砕 石 量(m 2)		10.887	t=75mm
土工	床 掘(m^3)	19.1	
	埋 戻(m^3)	11.5	
	基面整正(m^2)	10.9	

数量表
12号可変側溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 400	6.30	標準タイプ
	300× 500	6.00	標準タイプ
	300× 600	2.00	標準タイプ
コンクリート蓋(車道用 : 300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用 : 300)		10(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-2 : 300)		2(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m 3)		0.482	
基 礎 コンクリート 量(m 3)		0.366	
基 礎 型 枠 量(m 2)		1.430	
基 礎 砕 石 量(m 2)		8.028	t=75mm
土工	床 掘(m^3)	11.4	
	埋 戻(m^3)	7.2	
	基面整正(m^2)	8.0	

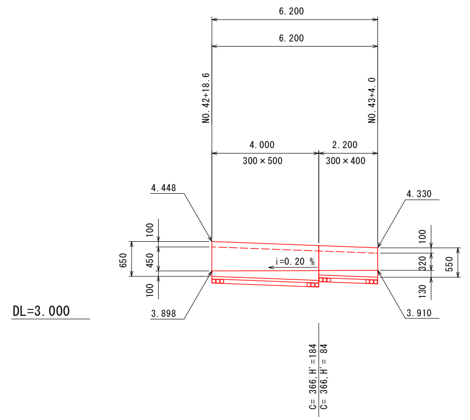
実施　第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊞市 高岡 里方 ㊞町/村 大字 地内
図面名称	可変側溝構造図 縮尺 図示
項目 \ 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設 計	

可変側溝構造図(7)

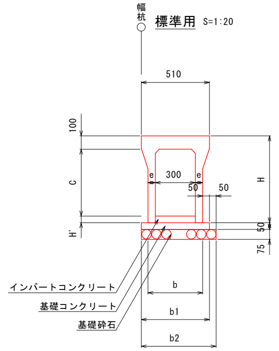
15号可変側溝
右側

縦断面図
SH=1:100
SV=1:50



呼　び　名	300×500	300×400
側　溝　延　長 (m)	4.000	2.200
インバートコンクリート量 (m^3)	0.170	0.071
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.102	0.056
基 礎　型 枠　量 (m^2)	0.400	0.220
基 礎　砕 石　量 (m^2)	2.240	1.232

標準用 S=1:20



寸法表

呼び名	H	e	b	b1	b2	参考重量(kg)
300× 400	550	55	410	510	560	414
300× 500	650	55	410	510	560	466

数量表
15号可変側溝

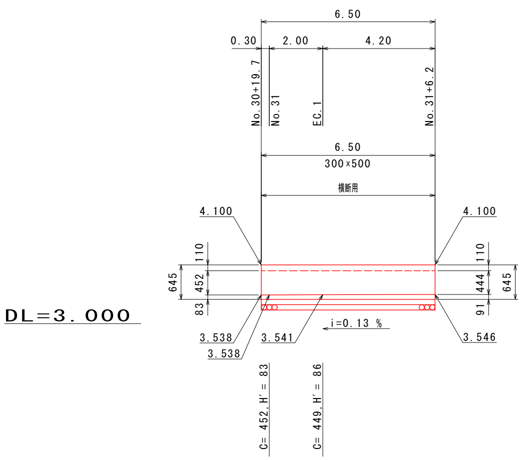
呼び名		側溝延長(m)	備　考
自由勾配側溝	300× 400	2.200	標準品
	300× 500	4.000	標準品
コンクリート蓋(車道用:300)		6(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　:　300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　:　300)		(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.241	
基　礎　コンクリート　量(m^3)		0.158	
基　礎　型　枠　量(m^2)		0.620	
基　礎　砕　石　量(m^2)		3.472	t=75mm
土工	床　掘(m^3)	4.3	
	埋　戻(m^3)	2.5	
	基面整正(m^2)	3.5	

実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 高岡 里方 町/村 大字　地内
図面名称	可変側溝構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

３号横断溝北構造図
右側

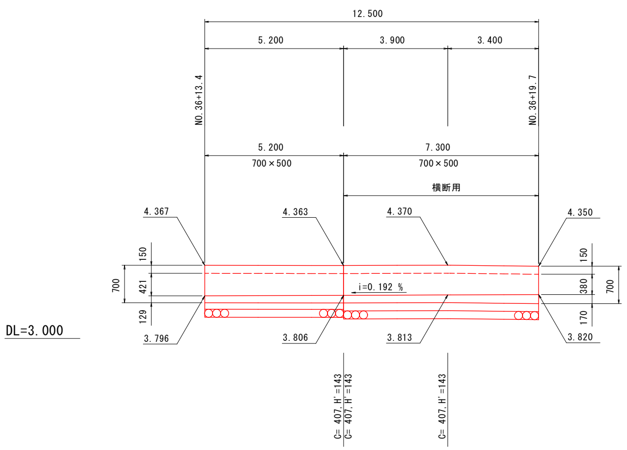
縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	300×500
側　溝　延　長 (m)	6.50
インバートコンクリート量 (m^3)	0.170
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.364
基 礎　型 枠　量 (m^2)	1.300
基 礎　砕 石　量 (m^2)	4.290

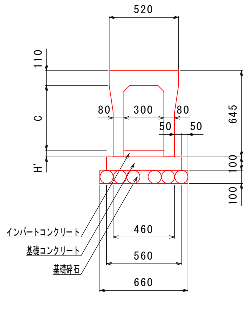
４号横断溝北構造図
左側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	700×500	700×500
側　溝　延　長 (m)	5.20	7.30
インバートコンクリート量 (m^3)	0.495	0.762
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.668	1.172
基　礎　型 枠　量 (m^2)	1.248	2.190
基　礎　砕 石　量 (m^2)	6.084	8.541

横断用 S=1:20



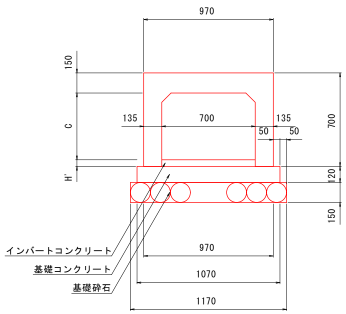
参考重量648kg

数量表　　3号横断溝北

呼び名		側溝延長(m)	備　考
自由勾配側溝	300× 500	6.50	横断品
コンクリート蓋(車道用 ： 300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用 ： 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T−25： 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T−25： 300)		3(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.170	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		0.364	
基 礎 型 枠 量(m^2)		1.300	
基 礎 砕 石 量(m^2)		4.290	t=100mm
土工	床　掘(m^3)	5.2	
	埋　戻(m^3)	2.6	
	基面整正(m^2)	4.3	

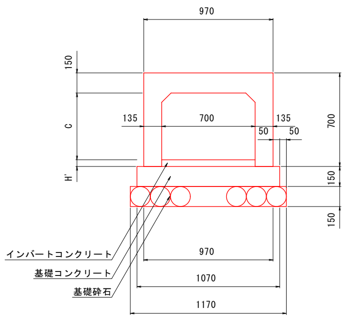
※グレーチング蓋は、普通目とする。

標準用 S=1:20



参考重量:935kg

横断用 S=1:20



参考重量:935kg

数量表　　4号横断溝北

呼び名		側溝延長(m)	備　考
自由勾配側溝	700× 500	5.200	標準品
	700× 500	7.300	横断品
コンクリート蓋(車道用:700)		4(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:700)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(　　: 700)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 700)		3(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		1.257	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		1.840	
基 礎 型 枠 量(m^2)		3.438	
基 礎 砕 石 量(m^2)		14.625	t=150mm
土工	床　掘(m^3)	6.3	
	埋　戻(m^3)	2.5	
	基面整正(m^2)	14.6	

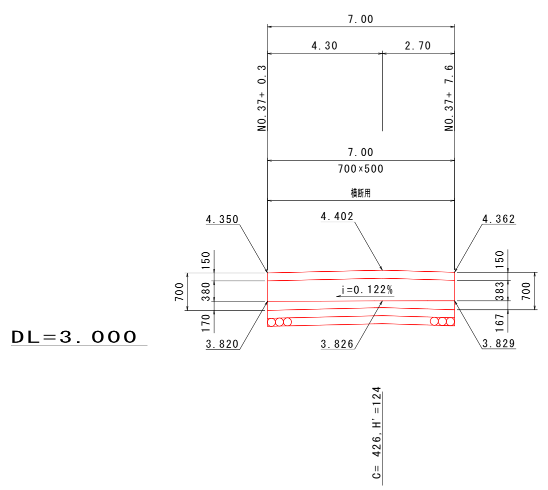
※グレーチング蓋は、普通目とする。

実施　　第20期

年　度	平成 30 年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字　地内
図面名称	横断溝構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設　計	
79 葉の内 45	

5号横断溝構造図 左側

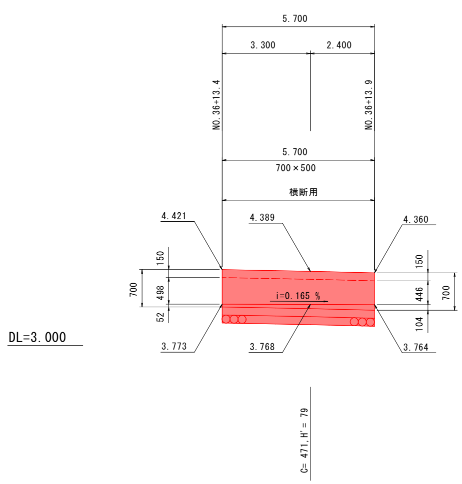
縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼び名	700×500
側溝延長 (m)	7.00
インバートコンクリート量 (㎥)	0.717
基礎コンクリート量 (㎥)	1.124
基礎型枠量 (㎡)	2.100
基礎砕石量 (㎡)	8.190

６号横断溝構造図 右側

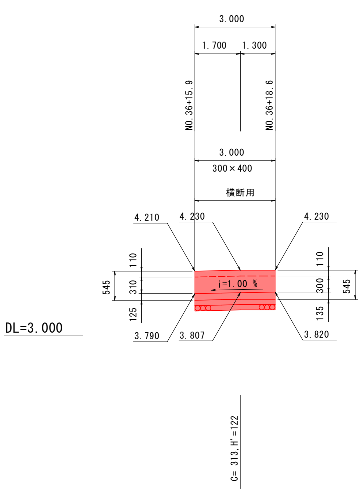
縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼び名	700×500
側溝延長 (m)	5.700
インバートコンクリート量 (m^3)	0.305
基礎コンクリート量 (m^3)	0.915
基礎型枠量 (m^2)	1.710
基礎砕石量 (m^2)	6.669

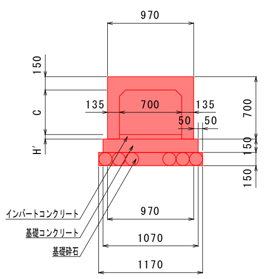
7号横断溝構造図 右側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼び名	300×400
側溝延長 (m)	3.000
インバートコンクリート量 (m^3)	0.113
基礎コンクリート量 (m^3)	0.168
基礎型枠量 (m^2)	0.600
基礎砕石量 (m^2)	1.980

横断用 S=1:30



参考重量935kg

数量表 5号横断溝

呼び名		側溝延長(m)	備考
自由勾配側溝	700× 500	7.00	横断品
コンクリート蓋(車道用 : 700)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用 : 700)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 700)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 700)		3(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.717	
基礎コンクリート量(m^3)		1.124	
基礎型枠量(m^2)		2.100	
基礎砕石量(m^2)		8.190	t=150mm
土工	床掘(m	8.4	
	埋戻(m	2.8	
	基面整正(m	8.2	

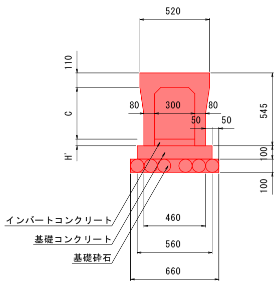
※グレーチング蓋は、普通目とする。

数量表 6号横断溝

呼び名		側溝延長(m)	備考
自由勾配側溝	700× 500	5.700	横断品
コンクリート蓋(車道用:700)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:700)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 700)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 700)		2(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.305	
基礎コンクリート量(m^3)		0.915	
基礎型枠量(m^2)		1.710	
基礎砕石量(m^2)		6.669	t=150mm
土工	床掘(m^3)	6.8	
	埋戻(m^3)	2.3	
	基面整正(m^2)	6.7	

※グレーチング蓋は、普通目とする。

横断用 S=1:20



参考重量:574kg

数量表 7号横断溝

呼び名		側溝延長(m)	備考
自由勾配側溝	300× 400	3.000	横断品
コンクリート蓋(車道用:300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		1(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		1(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.113	
基礎コンクリート量(m^3)		0.168	
基礎型枠量(m^2)		0.600	
基礎砕石量(m^2)		1.980	t=100mm
土工	床掘(m^3)	1.8	
	埋戻(m^3)	0.9	
	基面整正(m^2)	2.0	

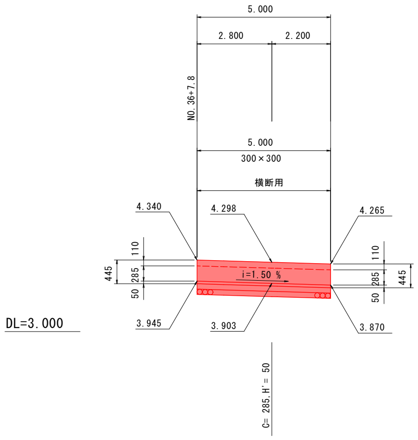
※グレーチング蓋は、普通目とする。

実施 第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡市 矢尾里方 町村 大字 地内
図面名称	横断溝構造図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設計	

８号横断溝構造図
右側

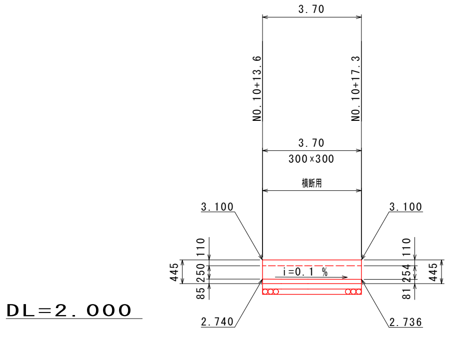
縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	300×300
側　溝　延　長 (m)	5.000
インバートコンクリート量 (m³)	0.075
基 礎 コンクリート 量 (m³)	0.280
基 礎　型 枠　量 (m²)	1.000
基 礎　砕 石　量 (m²)	3.300

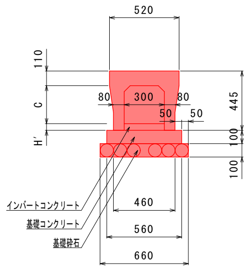
９号横断溝構造図
右側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	300×300
側　溝　延　長 (m)	3.70
インバートコンクリート量 (m³)	0.092
基 礎 コンクリート 量 (m³)	0.207
基 礎　型 枠　量 (m²)	0.740
基 礎　砕 石　量 (m²)	2.442

横断用 S=1:20



参考重量499kg

数量表　8号横断溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 300	5.000	横断品
コンクリート蓋(車道用:300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		1(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		2(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m³)		0.075	
基 礎 コンクリート 量(m³)		0.280	
基 礎 型 枠 量(m²)		1.000	
基 礎 砕 石 量(m²)		3.300	t=100mm
土工	床 掘(m³)	2.5	
	埋 戻(m³)	1.0	
	基面整正(m²)	3.3	

※グレーチング蓋は、普通目とする。

数量表　9号横断溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 300	3.70	横断品
コンクリート蓋(車道用 : 300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用 : 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		1(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		1(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m³)		0.092	
基 礎 コンクリート 量(m³)		0.207	
基 礎 型 枠 量(m²)		0.740	
基 礎 砕 石 量(m²)		2.442	t=100mm
土工	床 掘(m³)	0.7	
	埋 戻(m³)	0.4	
	基面整正(m²)	2.4	

※グレーチング蓋は、普通目とする。

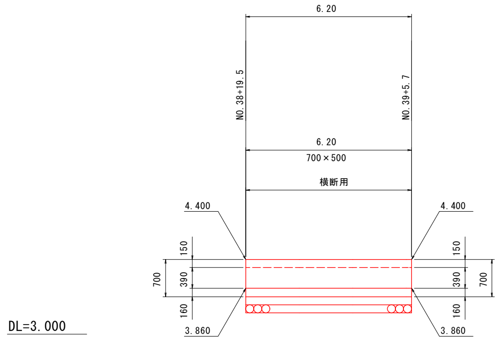
実施　第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字 地内
図面名称	横断溝構造図　縮尺 図示
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

横断溝構造図(1)

1号横断溝 左側

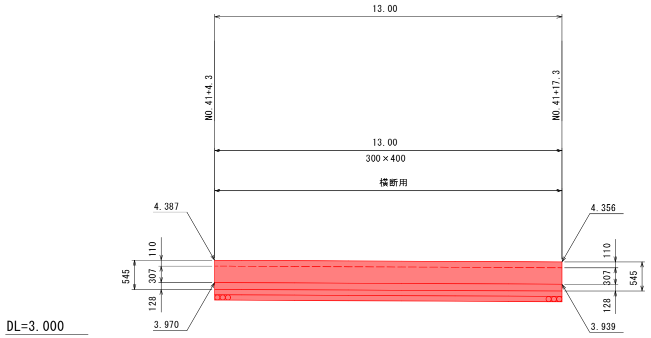
縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼 び 名	700×500
側 溝 延 長 (m)	6.20
インバートコンクリート量 (m^3)	0.694
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.995
基 礎 型 枠 量 (m^2)	1.860
基 礎 砕 石 量 (m^2)	7.254

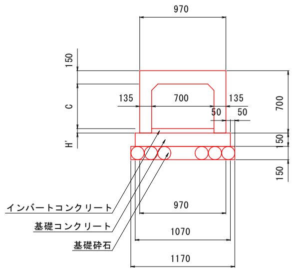
2号横断溝 左側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼 び 名	300×400
側 溝 延 長 (m)	13.00
インバートコンクリート量 (m^3)	0.499
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.728
基 礎 型 枠 量 (m^2)	2.600
基 礎 砕 石 量 (m^2)	8.580

横断用 S=1:30



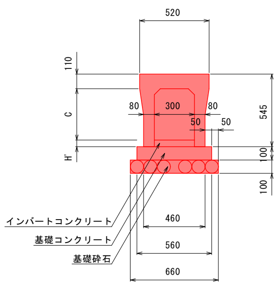
参考重量935kg

数量表 1号横断溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	700× 500	6.20	横断品
コンクリート蓋(車道用:700)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:700)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 700)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 700)		3(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.694	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		0.995	
基 礎 型 枠 量(m^2)		1.860	
基 礎 砕 石 量(m^2)		7.254	t=150mm
土工	床 掘(m^3)	6.8	
	埋 戻(m^3)	2.5	
	基面整正(m^2)	7.3	

※グレーチング蓋は、普通目タイプとする。

横断用 S=1:20



参考重量574kg

数量表 2号横断溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 400	13.00	横断品
コンクリート蓋(車道用:300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		1(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		6(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.499	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		0.728	
基 礎 型 枠 量(m^2)		2.600	
基 礎 砕 石 量(m^2)		8.580	t=100mm
土工	床 掘(m^3)	5.2	
	埋 戻(m^3)	2.6	
	基面整正(m^2)	8.6	

※グレーチング蓋は、細目タイプとする。

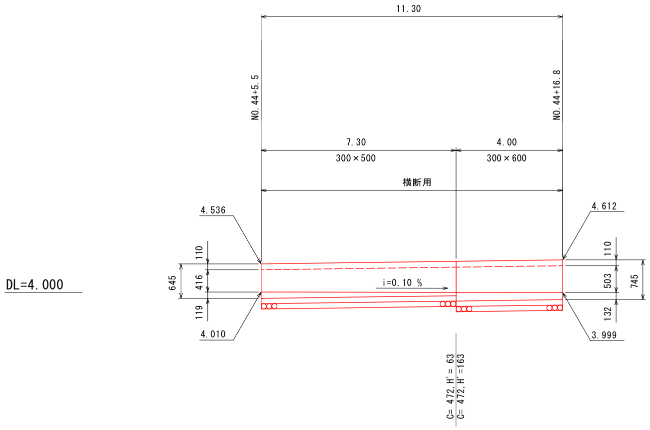
実施 第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊉市 高岡 里方 ㊊町/村 大字 地内
図面名称	横断溝構造図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

横断溝構造図(2)

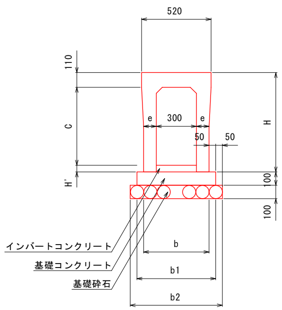
3号横断溝
左側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	300×500	300×600
側　溝　延　長 (m)	7.30	4.00
インバートコンクリート量 (m^3)	0.199	0.177
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.409	0.236
基 礎　型 枠　量 (m^2)	1.460	0.800
基 礎　砕 石　量 (m^2)	4.818	2.760

横断用 S=1:20



寸法表

呼び名	H	e	b	b1	b2	参考重量(kg)
300× 500	645	80	460	560	660	648
300× 600	745	95	490	590	690	804

数量表

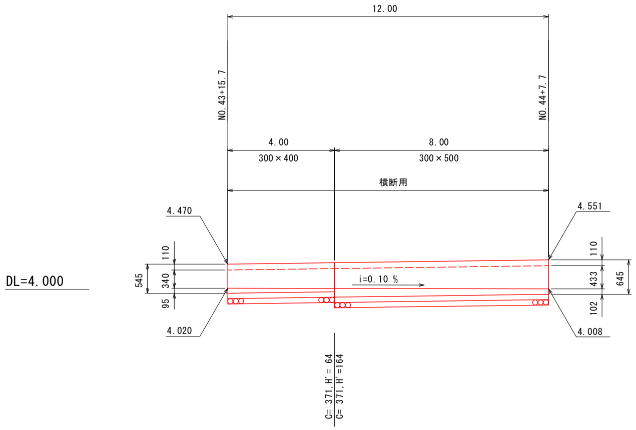
3号横断溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 500	7.30	横断品
	300× 600	4.00	横断品
コンクリート蓋(車道用:300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		1(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		5(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.376	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		0.645	
基 礎 型 枠 量(m^2)		2.260	
基 礎 砕 石 量(m^2)		7.578	t=100mm
土工	床 掘(m^3)	6.8	
	埋 戻(m^3)	3.4	
	基面整正(m^2)	7.6	

※グレーチング蓋は、細目タイプとする。

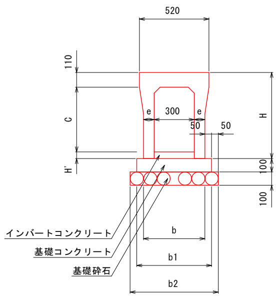
4号横断溝
右側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50



呼　び　名	300×400	300×500
側　溝　延　長 (m)	4.00	8.00
インバートコンクリート量 (m^3)	0.095	0.319
基 礎 コンクリート 量 (m^3)	0.224	0.448
基 礎　型 枠　量 (m^2)	0.800	1.600
基 礎　砕 石　量 (m^2)	2.640	5.280

横断用 S=1:20



寸法表

呼び名	H	e	b	b1	b2	参考重量(kg)
300× 400	545	80	460	560	660	574
300× 500	645	80	460	560	660	648

数量表

4号横断溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
自由勾配側溝	300× 400	4.00	横断品
	300× 500	8.00	横断品
コンクリート蓋(車道用:300)		(枚)	L=0.5m
コンクリート蓋(歩道用:300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(: 300)		(枚)	L=0.5m
グレーチング蓋(T-25: 300)		6(枚)	L=1.0m
インバートコンクリート量(m^3)		0.414	
基 礎 コンクリート 量(m^3)		0.672	
基 礎 型 枠 量(m^2)		2.400	
基 礎 砕 石 量(m^2)		7.920	t=100mm
土工	床 掘(m^3)	7.2	
	埋 戻(m^3)	3.6	
	基面整正(m^2)	7.9	

※グレーチング蓋は、細目タイプとする。

実施　　第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊅市 高岡/里方 ㊅町/村 大字 地内
図面名称	横断溝構造図 縮尺 図示
項目 \ 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

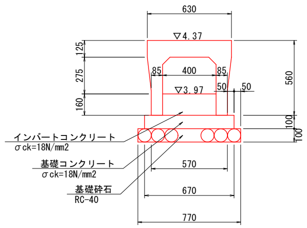
79 葉の内 49

横断溝構造図(3)

5号横断溝
右側

NO.43+16.5～NO.43+17.8

断面図 S=1:20



数　量　表　　1式(1.5m)当り

名　称	規　格	単位	数　量
自由勾配側溝	400×400横断用	m	1.5
グレーチング蓋	T-25:400	枚	1.0
インバートコンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.096
基礎コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.101
同上型枠		m²	0.300
基礎砕石	RC-40 t=100mm	m²	1.155

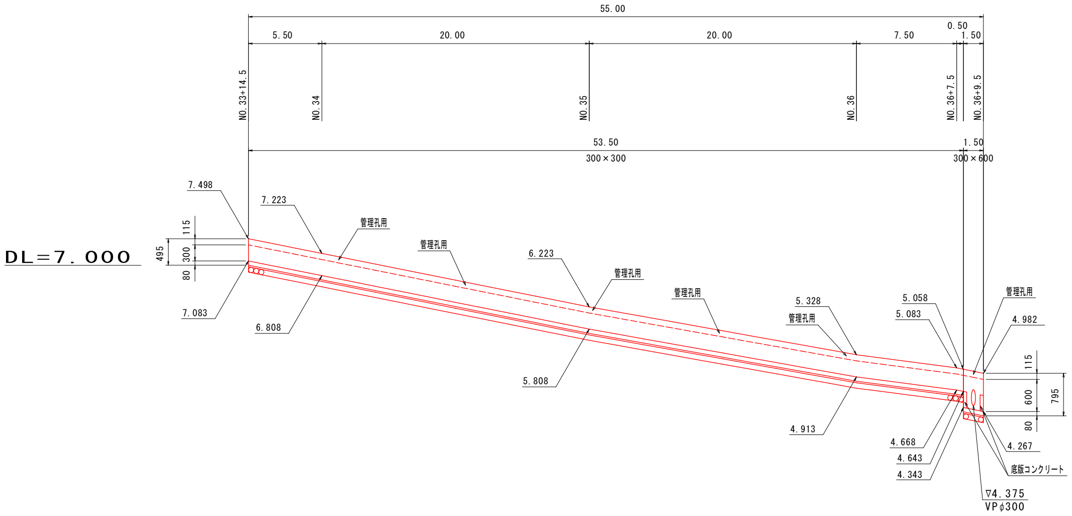
実施　　第20期

年度	平成　30　年度
番号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡(市) 高岡 里方 (町)村 大字　地内
図面名称	横断溝構造図　縮尺 図示
項目＼会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

79 葉の内 50

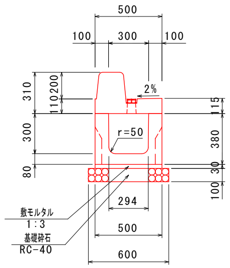
２号函渠型側溝北構造図
右側

縦断面図 SH=1:200 SV=1:50

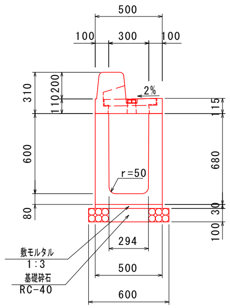


呼　び　名	300×300	300×600
側　溝　延　長 (m)	53.50	1.50
敷 モ ル タ ル 量 (m³)	0.803	0.023
基 礎 砕 石 量 (m³)	32.100	0.900

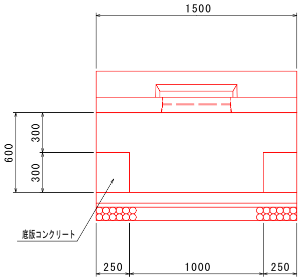
標準断面図 S=1:20
300×300 B型



標準断面図 S=1:20
300×600 B型



管理孔部 S=1:20



数量表　2号函渠型側溝北

呼び名		側溝延長(m)	備　考
側　溝	300× 300	53.50	B型
	300× 600	1.50	B型
蓋　版	縁石一体(H=200) グレーチングタイプ	46.0 m	標準部用
		9.0 m	管理孔用
敷 モ ル タ ル 量 (m³)		0.826	
基 礎 砕 石 量(m²)		33.000	t=100mm
底 版コンクリート 量 (m³)		0.045	
同 上 型 枠 量 (m²)		0.360	
土工	床　堀(m³)		
	埋　戻(m³)		
	基面整正(m²)		

実施　第20期

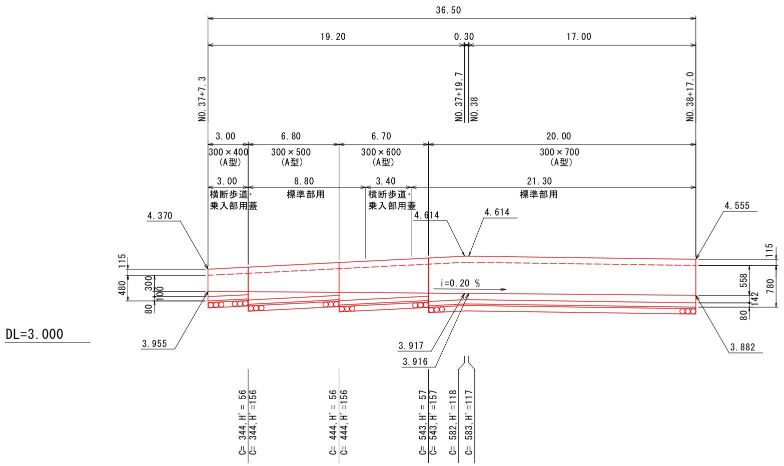
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字　地内
図面名称	函渠型側溝構造図　縮尺 図示
項目／会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	

79葉の内51

函渠型側溝構造図(1)

1号函渠型側溝 左側

縦断面図 SH=1:200 SV=1:50

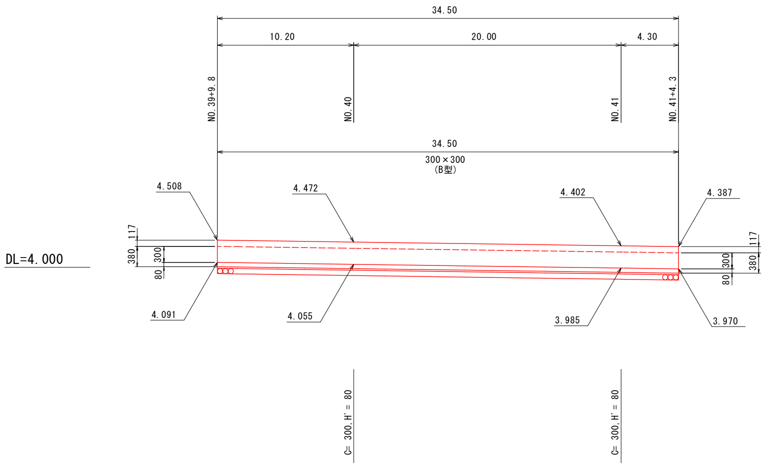


呼　び　名	300×400	300×500	300×600	300×700
側　溝　延　長 (m)	3.00	6.80	6.70	20.00
インバートコンクリート量 (m^3)	0.066	0.205	0.203	0.747
敷 モ ル タ ル 量 (m^3)	0.045	0.102	0.101	0.300
基 礎　砕 石　量 (m^2)	1.800	4.080	4.020	12.000

※上記インバートコンクリート量は、底版より上部とする。(開口部のインバートコンクリート量は、別途計上とする。)

2号函渠型側溝 左側

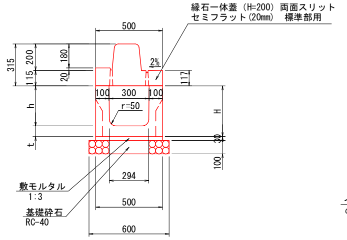
縦断面図 SH=1:200 SV=1:50



呼　び　名	300×300
側　溝　延　長 (m)	34.50
インバートコンクリート量 (m^3)	——
敷 モ ル タ ル 量 (m^3)	0.518
基 礎　砕 石　量 (m^2)	20.700

※上記インバートコンクリート量は、底版より上部とする。(開口部のインバートコンクリート量は、別途計上とする。)

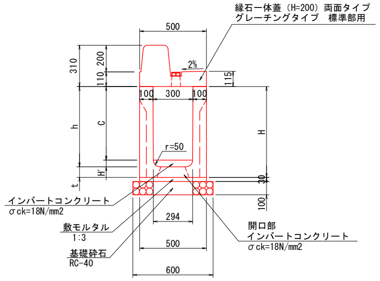
標準断面図 S=1:20 B 型



寸法表

呼び名	H	h	t	参考重量(kg)
300× 300	380	300	80	397

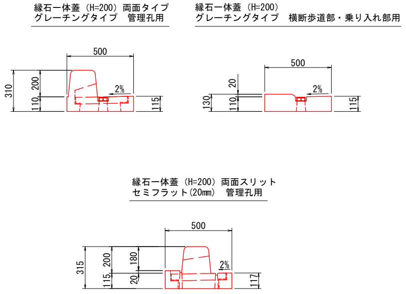
標準断面図 S=1:20 A 型



寸法表

呼び名	H	h	t	参考重量(kg)
300× 400	480	400	80	424
300× 500	580	500	80	478
300× 600	680	600	80	533
300× 700	780	700	80	588

蓋版断面図 S=1:20



数量表 1号函渠型側溝

	呼び名	側溝延長(m)	備　考
側溝	300× 400	3.00	A 型
	300× 500	6.80	A 型
	300× 600	6.70	A 型
	300× 700	20.00	A 型
		蓋延長(m)	
蓋版	縁石一体蓋(H=200) 両面タイプ グレーチングタイプ	24.10	標準部用
		6.00	管理孔用
		6.40	横断歩道・乗入部用
インバートコンクリート量(m^3)		1.221	底版より上部
インバートコンクリート量(m^3)		0.202	底版開口部
敷 モ ル タ ル 量(m^3)		0.548	
基 礎 砕 石 量(m^2)		21.900	t=100mm
土工	床　掘(m^3)	29.2	
	埋　戻(m^3)	18.3	
	基面整正(m^2)	21.9	

数量表 2号函渠型側溝

	呼び名	側溝延長(m)	備　考
側溝	300× 300	34.50	B 型
		蓋延長(m)	
蓋版	縁石一体蓋(H=200) 両面スリットタイプ セミフラット(20mm)	28.50	標準部用
		6.00	管理孔用
インバートコンクリート量(m^3)		-	底版より上部
インバートコンクリート量(m^3)		-	底版開口部
敷 モ ル タ ル 量(m^3)		0.518	
基 礎 砕 石 量(m^2)		20.700	t=100mm
土工	床　掘(m^3)		
	埋　戻(m^3)		
	基面整正(m^2)		

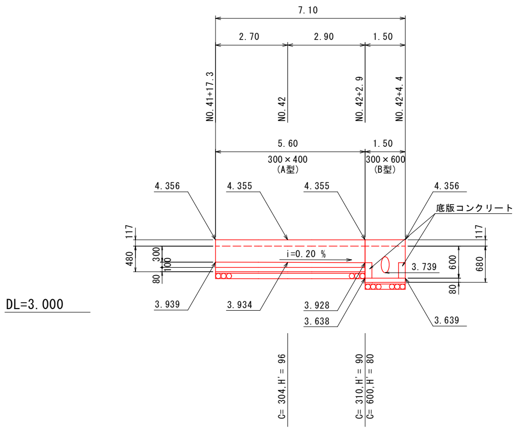
実施　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡(市) 高岡 里方 (町)村 大字　地内
図面名称	函渠型側溝構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

函渠型側溝構造図(2)

3号函渠型側溝
左側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50

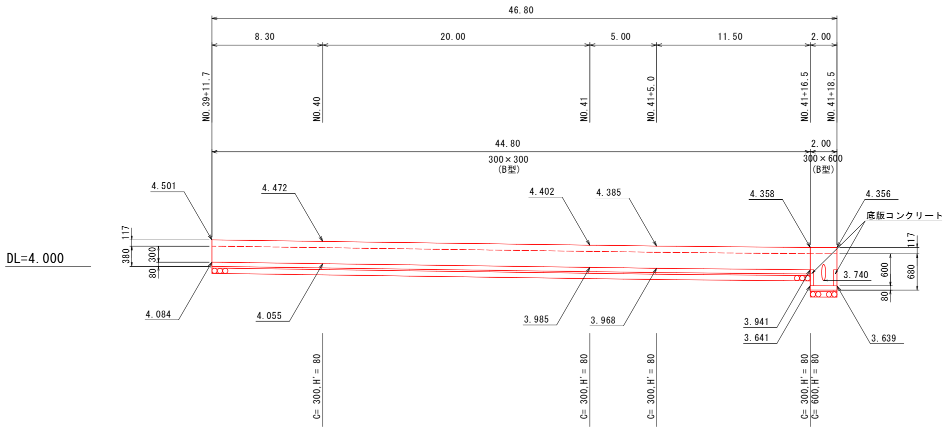


呼 び 名	300×400	300×600
側 溝 延 長 (m)	5.60	1.50
インバートコンクリート量 (m^3)	0.151	——
敷 モ ル タ ル 量 (m^3)	0.084	0.023
基 礎 砕 石 量 (m^2)	3.360	0.090

※上記インバートコンクリート量は、底版より上部とする。
（開口部のインバートコンクリート量は、別途計上とする。）

4号函渠型側溝
右側

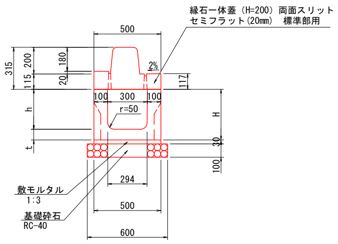
縦断面図 SH=1:200 SV=1:50



呼 び 名	300×300	300×600
側 溝 延 長 (m)	44.80	2.00
インバートコンクリート量 (m^3)	——	——
敷 モ ル タ ル 量 (m^3)	0.672	0.030
基 礎 砕 石 量 (m^2)	26.880	1.200

※上記インバートコンクリート量は、底版より上部とする。（開口部のインバートコンクリート量は、別途計上とする。）

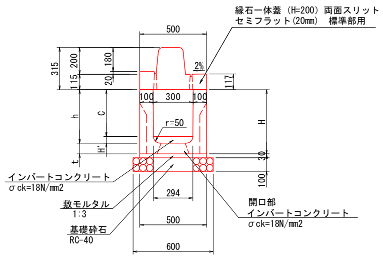
標準断面図 S=1:20
B 型



寸法表

呼び名	H	h	t	参考重量(kg)
300× 300	380	300	80	397
300× 600	680	600	80	561

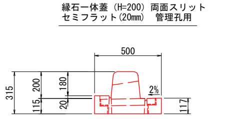
標準断面図 S=1:20
A 型



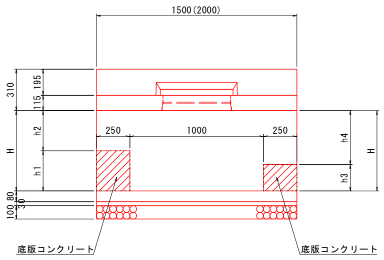
寸法表

呼び名	H	h	t	参考重量(kg)
300× 400	480	400	80	424

蓋版断面図 S=1:20



管理桝部詳細図 S=1:20



管理桝落差寸法表

呼び名	H	h1	h2	h3	h4
300× 600	600	290	310	289	311
300× 600	600	300	300	302	298

数量表

3号函渠型側溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
側溝	300× 400	5.60	A 型
	300× 600	1.50	B 型
蓋延長(m)			
蓋版	縁石一体蓋(H=200) 両面スリットタイプ セミフラット(20mm)	7.10	標準部用
インバートコンクリート量(m^3)		0.151	底版より上部
インバートコンクリート量(m^3)		0.031	底版開口部
敷 モ ル タ ル 量(m^3)		0.107	
基 礎 砕 石 量(m^2)		4.260	t=100mm
底 版 コンクリート量 (m^3)		0.042	
底 版コンクリート型枠量(m^2)		0.338	
土工	床 掘(m^3)	3.6	
	埋 戻(m^3)	2.1	
	基面整正(m^2)	4.3	

数量表

4号函渠型側溝

呼び名		側溝延長(m)	備 考
側溝	300× 300	44.80	B 型
	300× 600	2.00	B 型
蓋延長(m)			
蓋版	縁石一体蓋(H=200) 両面スリットタイプ セミフラット(20mm)	38.80	標準部用
		8.00	管理孔用
インバートコンクリート量(m^3)		-	底版より上部
インバートコンクリート量(m^3)		-	底版開口部
敷 モ ル タ ル 量(m^3)		0.702	
基 礎 砕 石 量(m^2)		28.080	t=100mm
底 版 コンクリート量 (m^3)		0.044	
底 版コンクリート型枠量(m^2)		0.351	
土工	床 掘(m^3)	14.0	
	埋 戻(m^3)	9.4	
	基面整正(m^2)	28.1	

実施 第20期

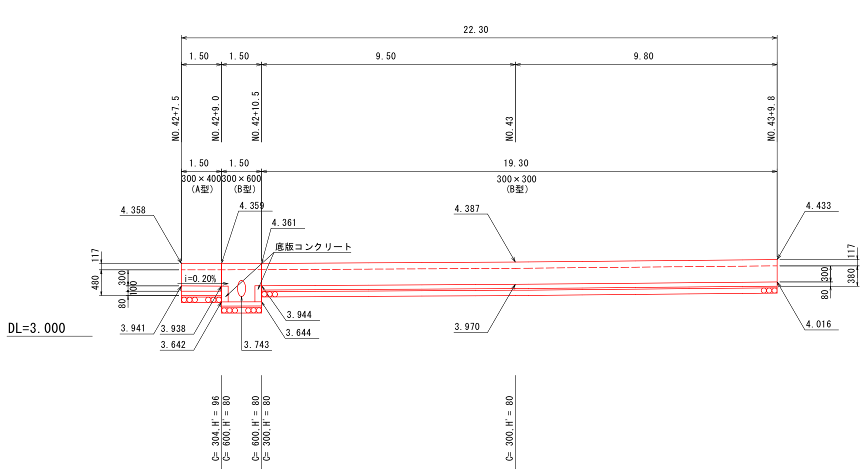
年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊢ 高岡 里方 ㊦/村 大字 地内
図面名称	函渠型側溝構造図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

函渠型側溝構造図(3)

5号函渠型側溝 左側

縦断面図

SH=1:100
SV=1:50



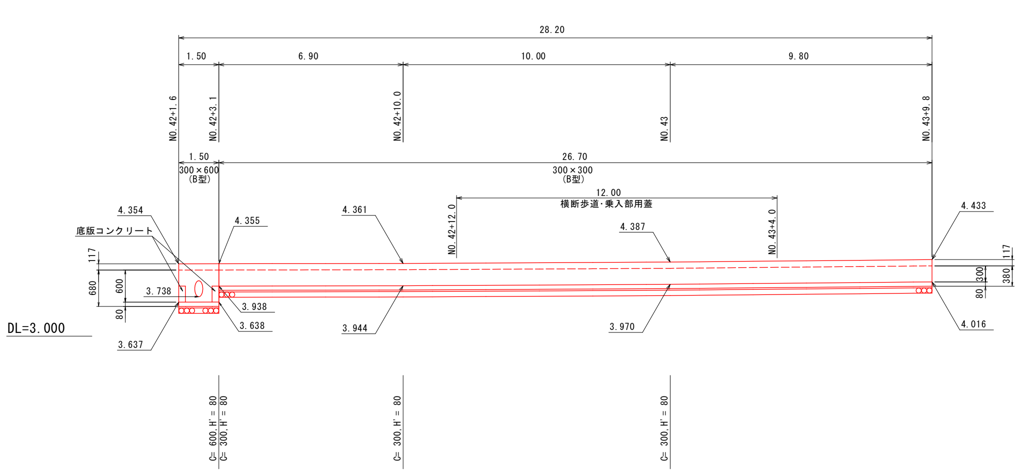
呼　び　名	300×400	300×600	300×300
側　溝　延　長 (m)	1.50	1.50	19.30
インバートコンクリート量 (m^3)	0.042	――	――
敷 モ ル タ ル 量 (m^3)	0.023	0.023	0.290
基 礎　砕 石　量 (m^2)	0.900	0.900	11.580

※上記インバートコンクリート量は、底版より上部とする。(開口部のインバートコンクリート量は、別途計上とする。)

6号函渠型側溝 右側

縦断面図

SH=1:100
SV=1:50

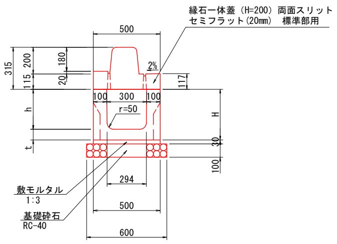


呼　び　名	300×600	300×300
側　溝　延　長 (m)	1.50	26.70
インバートコンクリート量 (m^3)	――	――
敷 モ ル タ ル 量 (m^3)	0.023	0.401
基 礎　砕 石　量 (m^2)	0.900	16.020

※上記インバートコンクリート量は、底版より上部とする。(開口部のインバートコンクリート量は、別途計上とする。)

標準断面図 B 型

S=1:20

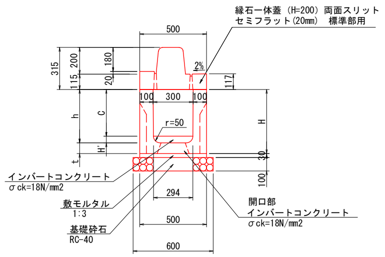


寸法表

呼び名	H	h	t	参考重量(kg)
300× 300	380	300	80	397
300× 600	680	600	80	561

標準断面図 A 型

S=1:20

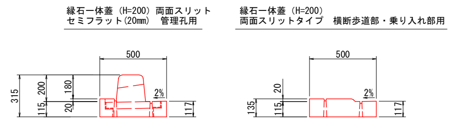


寸法表

呼び名	H	h	t	参考重量(kg)
300× 400	480	400	80	424

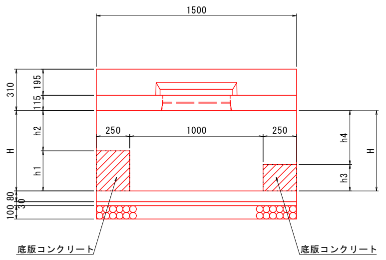
蓋版断面図

S=1:20



管理桝部詳細図

S=1:20



管理桝落差寸法表

呼び名	H	h1	h2	h3	h4
300× 600	600	296	304	300	300
300× 600	600	301	299	300	300

数量表

5号函渠型側溝

	呼び名	側溝延長(m)	備 考
側溝	300× 400	1.50	A 型
	300× 300	19.30	B 型
	300× 600	1.50	B 型
		蓋延長(m)	
蓋版	縁石一体蓋(H=200) 両面スリットタイプ セミフラット(20mm)	18.80	標準部用
		3.50	管理孔用
インバートコンクリート量(m^3)		0.042	底版より上部
インバートコンクリート量(m^3)		0.008	底版開口部
敷 モ ル タ ル 量(m^3)		0.336	
基 礎 砕 石 量(m^2)		13.380	t=100mm
底 版 コンクリート量 (m^3)		0.044	
底 版コンクリート型枠量(m^2)		0.348	
土工	床 掘(m^3)	8.9	
	埋 戻(m^3)	4.5	
	基面整正(m^2)	13.4	

数量表

6号函渠型側溝

	呼び名	側溝延長(m)	備 考
側溝	300× 300	26.70	B 型
	300× 600	1.50	B 型
		蓋延長(m)	
蓋版	縁石一体蓋(H=200) 両面スリットタイプ セミフラット(20mm)	12.70	標準部用
		3.50	管理孔用
		12.00	横断歩道・乗入部用
インバートコンクリート量(m^3)		-	底版より上部
インバートコンクリート量(m^3)		-	底版開口部
敷 モ ル タ ル 量(m^3)		0.424	
基 礎 砕 石 量(m^2)		16.920	t=100mm
底 版 コンクリート量 (m^3)		0.044	
底 版コンクリート型枠量(m^2)		0.351	
土工	床 掘(m^3)	11.3	
	埋 戻(m^3)	5.6	
	基面整正(m^2)	16.9	

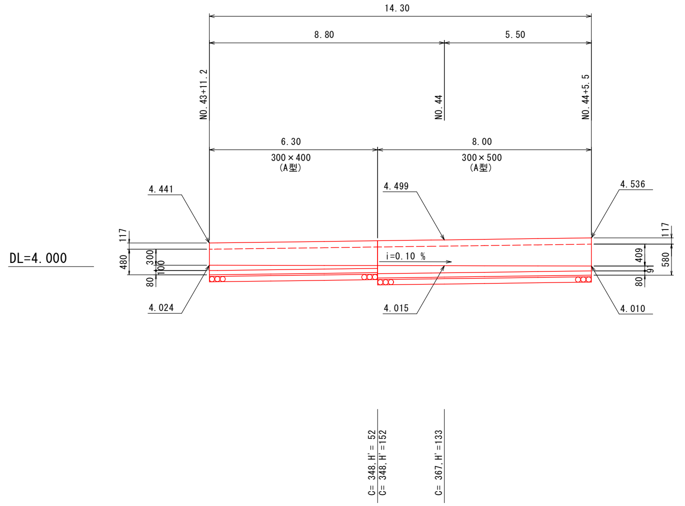
実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊕市 高岡/里方 ㊖町/村 大字　地内
図面名称	函渠型側溝構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

函渠型側溝構造図(4)

7号函渠型側溝 左側

縦断面図 SH=1:100 SV=1:50

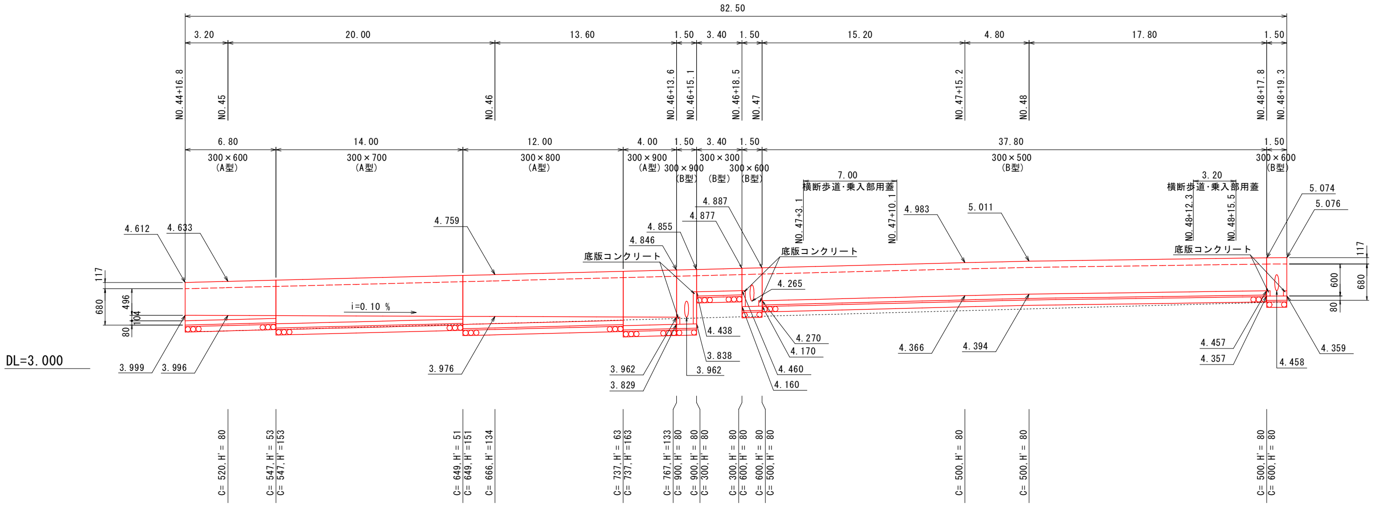


呼　び　名	300×400	300×500
側　溝　延　長 (m)	6.30	8.00
インバートコンクリート量 (m^3)	0.134	0.278
敷 モ ル タ ル 量 (m^3)	0.095	0.120
基 礎　砕 石　量 (m^2)	3.780	4.800

※上記インバートコンクリート量は、底版より上部とする。(開口部のインバートコンクリート量は、別途計上とする。)

8号函渠型側溝 左側

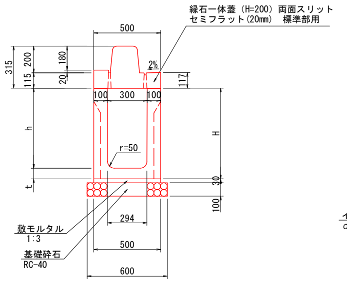
縦断面図 SH=1:200 SV=1:50



呼　び　名	300×600	300×700	300×800	300×900	300×900	300×300	300×600	300×500	300×600
側　溝　延　長 (m)	6.80	14.00	12.00	4.00	1.50	3.40	1.50	37.80	1.50
インバートコンクリート量 (m^3)	0.150	0.406	0.366	0.170	——	——	——	——	——
敷 モ ル タ ル 量 (m^3)	0.102	0.210	0.180	0.060	0.023	0.051	0.023	0.567	0.023
基 礎　砕 石　量 (m^2)	4.080	8.400	7.200	2.400	0.900	2.040	0.900	22.680	0.090

※上記インバートコンクリート量は、底版より上部とする。(開口部のインバートコンクリート量は、別途計上とする。)

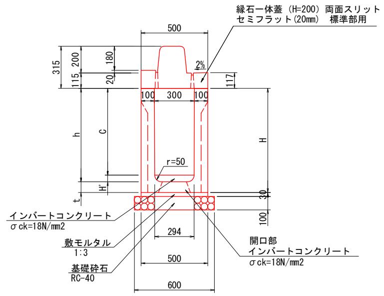
標準断面図 S=1:20
B 型



寸法表

呼び名	H	h	t	参考重量(kg)
300× 300	380	300	80	397
300× 500	580	500	80	506
300× 600	680	600	80	561
300× 900	980	900	80	855

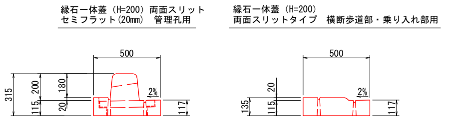
標準断面図 S=1:20
A 型



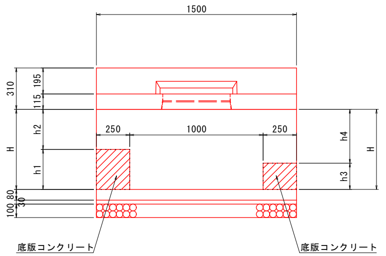
寸法表

呼び名	H	h	t	参考重量(kg)
300× 400	480	400	80	424
300× 500	580	500	80	478
300× 600	680	600	80	533
300× 700	780	700	80	588
300× 800	880	800	80	643
300× 900	980	900	80	827

蓋版断面図 S=1:20



管理桝部詳細図 S=1:20



管理桝落差寸法表

呼び名	H	h1	h2	h3	h4
300× 600	600	100	500	98	502
300× 600	600	300	300	100	500
300× 900	900	133	767	600	300

数量表　7号函渠型側溝

呼び名		側溝延長(m)	備　考
側溝	300× 400	6.30	A 型
	300× 500	8.00	A 型
		蓋延長(m)	
蓋版	縁石一体蓋(H=200) 両面スリットタイプ セミフラット(20mm)	12.30	標準部用
		2.00	管理孔用
インバートコンクリート量(m^3)		0.412	底版より上部
インバートコンクリート量(m^3)		0.079	底版開口部
敷 モ ル タ ル　量(m^3)		0.215	
基 礎　砕　石　量(m^2)		8.580	t=100mm
土工	床　掘(m^3)	8.6	
	埋　戻(m^3)	4.3	
	基面整正(m^2)	8.6	

数量表　8号函渠型側溝

呼び名		側溝延長(m)	備　考
側溝	300× 600	6.80	A 型
	300× 700	14.00	A 型
	300× 800	12.00	A 型
	300× 900	4.00	A 型
	300× 300	3.40	B 型
	300× 500	37.80	B 型
	300× 600	3.00	B 型
	300× 900	1.50	B 型
		蓋延長(m)	
蓋版	縁石一体蓋(H=200) 両面スリットタイプ セミフラット(20mm)	57.80	標準部用
		14.50	管理孔用
		10.20	横断歩道・乗入部用
インバートコンクリート量(m^3)		1.092	底版より上部
インバートコンクリート量(m^3)		0.203	底版開口部
敷 モ ル タ ル　量(m^3)		1.239	
基 礎　砕　石　量(m^2)		49.500	t=100mm
底　版　コンクリート量　(m^3)		0.097	
底　版コンクリート型枠量(m^2)		0.774	
土工	床　掘(m^3)	57.8	
	埋　戻(m^3)	33.0	
	基面整正(m^2)	49.5	

実施　第20期

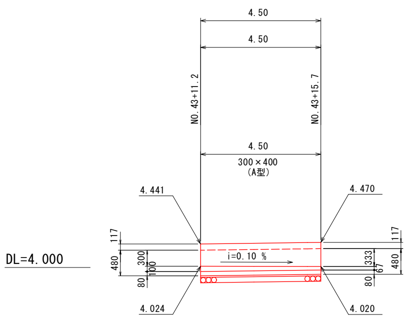
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊕市 高岡/里方 ㊖町/村 大字　地内
図面名称	函渠型側溝構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

函渠型側溝構造図(5)

9号函渠型側溝 右側

縦断面図

SH=1:100
SV=1:50



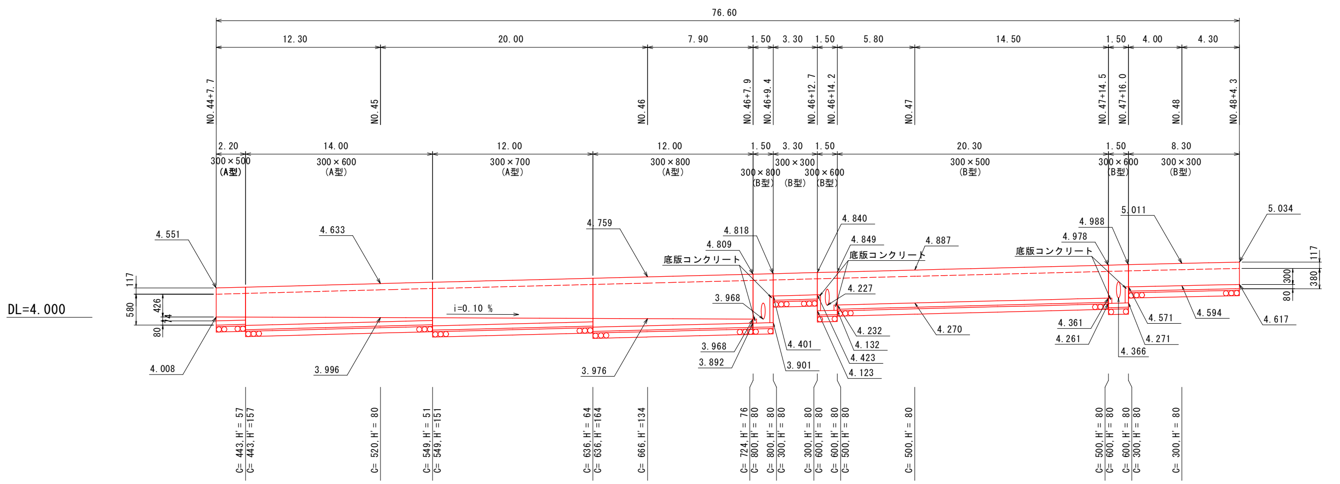
呼　び　名	300×400
側　溝　延　長 (m)	4.50
インバートコンクリート量 (m³)	0.106
敷 モ ル タ ル 量 (m³)	0.068
基 礎　碎 石　量 (m²)	2.700

※上記インバートコンクリート量は、底版より上部とする。
（開口部のインバートコンクリート量は、別途計上とする。）

10号函渠型側溝 右側

縦断面図

SH=1:200
SV=1:50

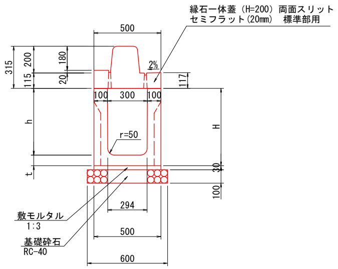


呼　び　名	300×500	300×600	300×700	300×800	300×800	300×300	300×600	300×500	300×600	300×300
側　溝　延　長 (m)	2.20	14.00	12.00	12.00	1.50	3.30	1.50	20.30	1.50	8.30
インバートコンクリート量 (m³)	0.040	0.413	0.367	0.412	——	——	——	——	——	——
敷 モ ル タ ル 量 (m³)	0.033	0.210	0.180	0.180	0.023	0.050	0.023	0.305	0.023	0.125
基 礎　碎 石　量 (m²)	1.320	8.400	7.200	7.200	0.090	0.198	0.090	12.180	0.090	4.980

※上記インバートコンクリート量は、底版より上部とする。（開口部のインバートコンクリート量は、別途計上とする。）

標準断面図 S=1:20

B 型

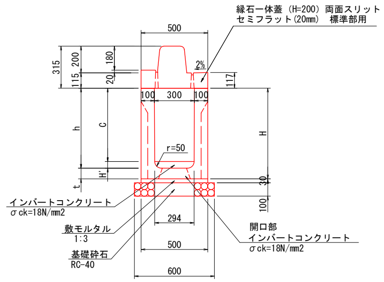


寸法表

呼び名	H	h	t	参考重量(kg)
300× 300	380	300	80	397
300× 500	580	500	80	506
300× 600	680	600	80	561
300× 800	880	800	80	671

標準断面図 S=1:20

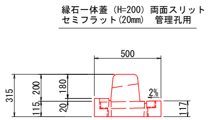
A 型



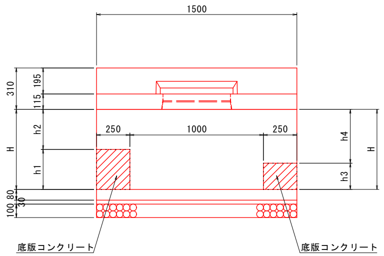
寸法表

呼び名	H	h	t	参考重量(kg)
300× 400	480	400	80	424
300× 500	580	500	80	478
300× 600	680	600	80	533
300× 700	780	700	80	588
300× 800	880	800	80	643

蓋版断面図 S=1:20



管理桝部詳細図 S=1:20



管理桝落差寸法表

呼び名	H	h1	h2	h3	h4
300× 600	600	100	500	300	300
300× 600	600	300	300	100	500
300× 900	900	76	724	500	300

数量表

9号函渠型側溝

呼び名		側溝延長(m)	備　考
側溝	300× 400	4.50	A 型
蓋延長(m)			
蓋版	縁石一体蓋(H=200) 両面スリットタイプ セミフラット(20mm)	4.50	標準部用
インバートコンクリート量(m³)		0.106	底版より上部
インバートコンクリート量(m³)		0.025	底版開口部
敷 モ ル タ ル 量(m³)		0.068	
基 礎 砕 石 量(m²)		2.700	t=100mm
土工	床　掘(m³)	2.3	
	埋　戻(m³)	1.4	
	基面整正(m²)	2.7	

数量表

10号函渠型側溝

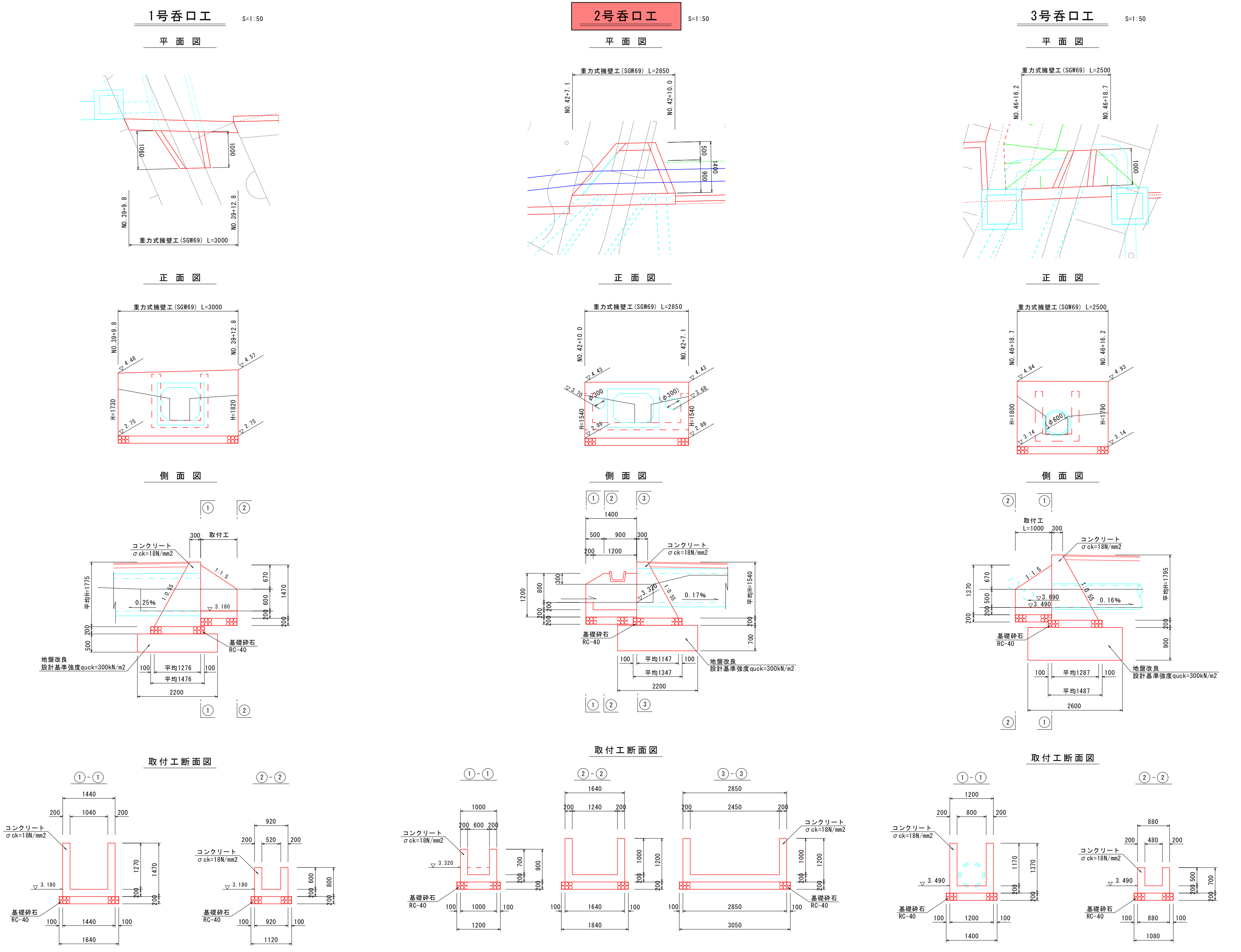
呼び名		側溝延長(m)	備　考
側溝	300× 500	2.20	A 型
	300× 600	14.00	A 型
	300× 700	12.00	A 型
	300× 800	12.00	A 型
	300× 300	11.60	B 型
	300× 500	20.30	B 型
	300× 600	3.00	B 型
	300× 800	1.50	B 型
蓋延長(m)			
蓋版	縁石一体蓋(H=200) 両面スリットタイプ セミフラット(20mm)	64.10	標準部用
		12.50	管理孔用
インバートコンクリート量(m³)		1.232	底版より上部
インバートコンクリート量(m³)		0.221	底版開口部
敷 モ ル タ ル 量(m³)		1.152	
基 礎 砕 石 量(m²)		45.960	t=100mm
底 版 コンクリート量 (m³)		0.100	
底 版コンクリート型枠量(m²)		0.801	
土工	床　掘(m³)	53.6	
	埋　戻(m³)	30.6	
	基面整正(m²)	46.0	

実施

第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市(市) 高岡 里方 町(町)/村 大字　地内
図面名称	函渠型側溝構造図　縮尺 図示
項目/会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

呑口工・吐口工構造図(1)



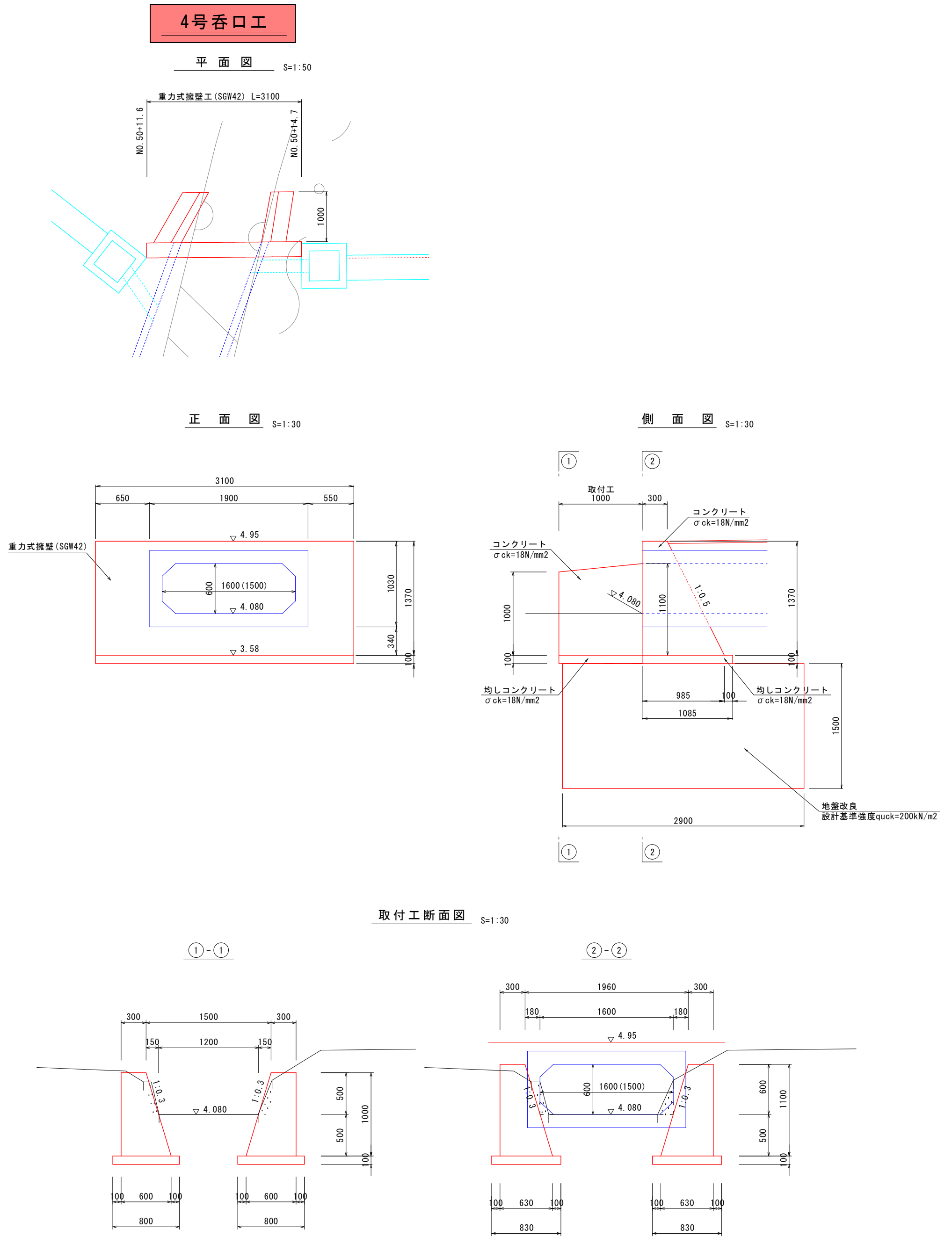
実施　　第20期

年度	平成　30　年度
番号	災　　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一)矢尾今市線(大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊢市 高岡/里方 ㊥町/村 大字　　地内
図面名称	呑口工・吐口工構造図　縮尺 図示
項目＼会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設計	

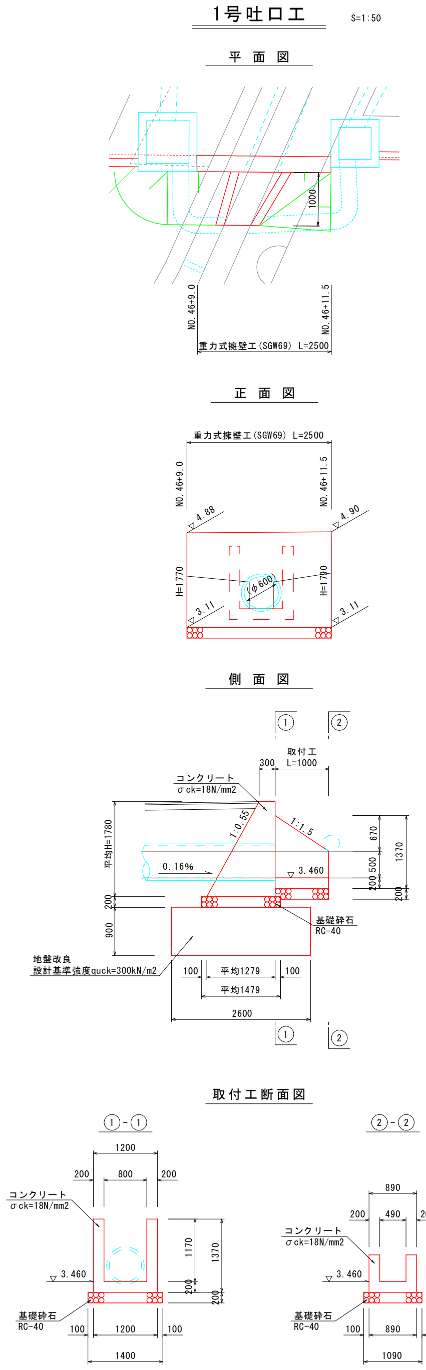
79 葉の内 57

呑口工・吐口工構造図(2)

4号呑口工



1号吐口工 S=1:50



実施　第20期

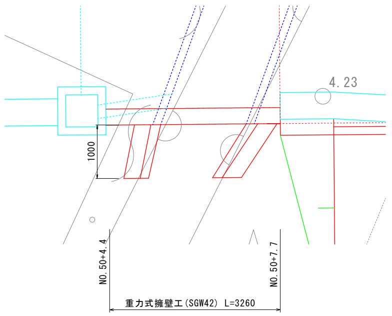
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊢ 高岡 里方 ㊦/村 大字　地内
図面名称	呑口工・吐口工構造図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	

79 葉の内 58

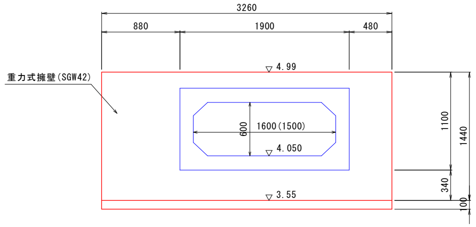
呑口工・吐口工構造図(3)

2号吐口工

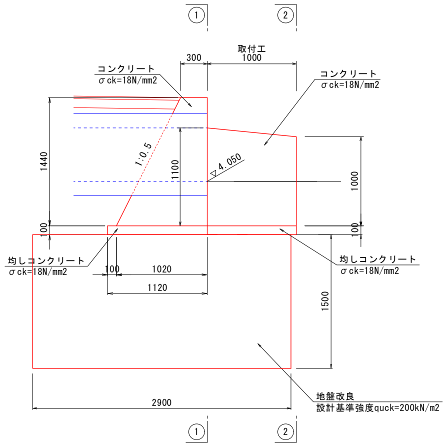
平　面　図　S=1:50



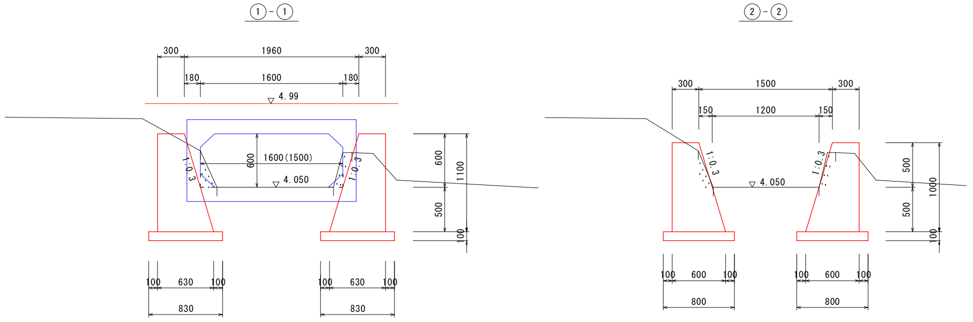
正　面　図　S=1:30



側　面　図　S=1:30



取付工断面図　S=1:30



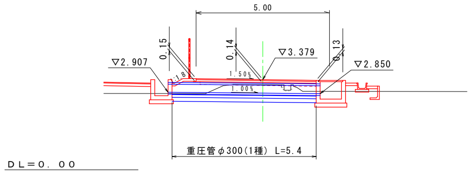
実施

第20期

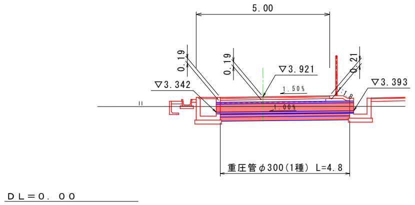
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一)矢尾今市線(大塚工区)
施工箇所	出雲　郡/㊢　高岡 里方　㊫/村　大字　地内
図面名称	呑口工・吐口工構造図　縮尺　図示
会社名 / 項目	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	

暗 渠 計 画 図　S=1:100

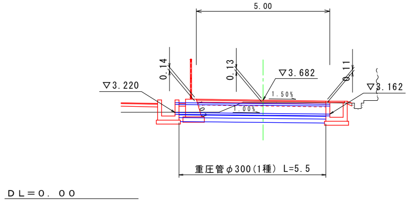
NO. 21+2付近右側
取付市道部



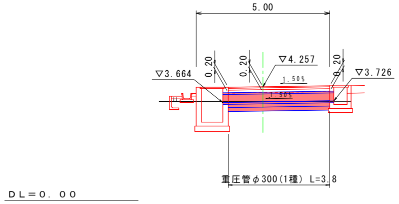
NO. 29+3付近左側
取付市道部



NO. 25+18付近右側
取付市道部



NO. 36+11付近左側
取付市道部



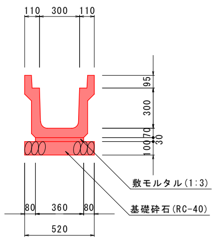
実施　　第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊥ 矢尾 里方 ㊦ 村 大字 地内
図面名称	暗渠計画図　縮尺 1:100
会社名 / 項目	会社名及び責任者
測量 調査	
設 計	
	79葉の内60

小構造物構造図(1/14)

道路用側溝A型3種300A

S=1:20

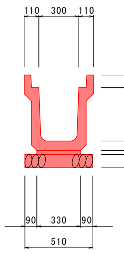


数 量 表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
側　　溝	A型3種300A	個	5
敷モルタル	1：3	m^3	0.108
基 礎 砕 石	RC-40 t=100mm	m^2	5.200

道路用側溝A型3種300B

S=1:20

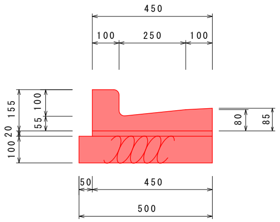


数 量 表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
側　　溝	A型3種300B	個	5
敷モルタル	1：3	m^3	0.099
基 礎 砕 石	RC-40 t=100mm	m^2	5.100

L型側溝250

S=1:10

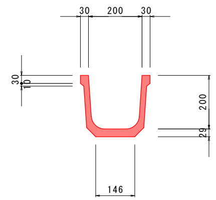


数量表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m^2	5.000
敷モルタル	1:3	m^3	0.090
L型側溝	1種250B	m	10.000

KF-200

S=1:10

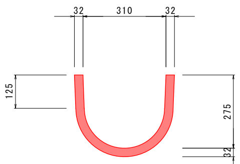


数 量 表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
角フリューム	200	m	10.000

UF-300

S=1:10

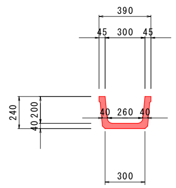


数 量 表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
U字フリューム	300	m	10.000

BF-300

S=1:20



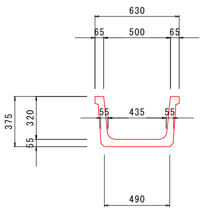
※）用水取水位置は、分水タイプを使用すること。
※）進入路部は、横断暗渠用を使用すること。

数 量 表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
ベンチフリューム	300	m	10.000

BF-500

S=1:20



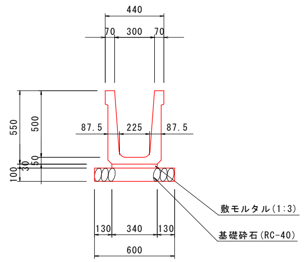
※）用水取水位置は、分水タイプを使用すること。
※）進入路部は、横断暗渠用を使用すること。

数 量 表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
ベンチフリューム	500	m	10.000

大型フリューム(B300xH500)

S=1:20

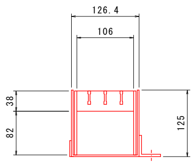


数 量 表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
床　　掘	土　砂	m^3	3.6
基 面 整 正		m^2	6.0
埋　　戻	種別D	m^3	2.0
フリューム	B300-H500	個	5.0
敷モルタル	1：3	m^3	0.102
基 礎 砕 石	RC-40 t=100mm	m^2	6.000

鋼製側溝

S=1:5

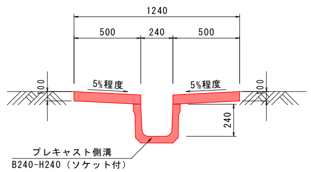


数 量 表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
鋼 製 側 溝	ドレンゲッター TA-3NSW同等品以上	m	10.000

縦排水工

S=1:20



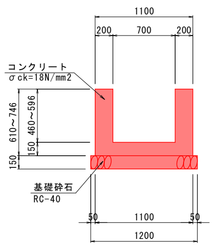
数 量 表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
プレキャスト側溝	B240-H240	m	10.000
コンクリート	σck=18N/mm²	m^3	1.000
型　　枠		m^2	4.000
目　地　材	t=10mm	m^2	0.100

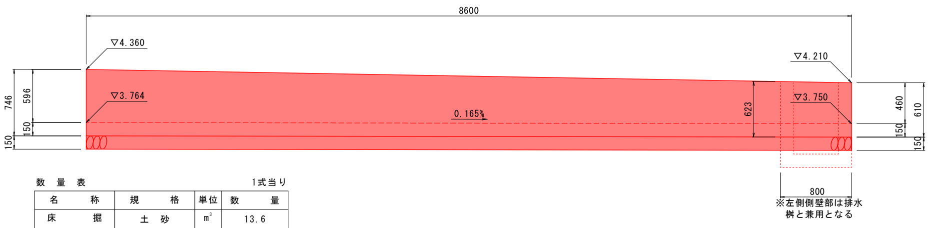
1号現場打水路

S=1:30

断面図



側面図



数 量 表　　1式当り

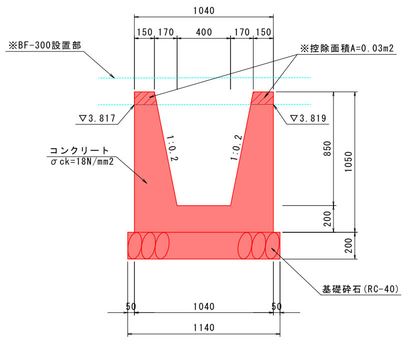
名　　称	規　　格	単位	数　　量
床　　掘	土　砂	m^3	13.6
基 面 整 正		m^2	10.1
埋　　戻	種別D	m^3	5.0
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	3.137
型　　枠	一般型枠	m^2	22.337
基 礎 砕 石	RC-40 t=150mm	m^2	10.120

実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	（一）矢尾今市線（大塚工区）
施工箇所	出雲 郡/㊥市 矢尾 里方 ㊥町/村 大字　　地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

小構造物構造図(2/14)

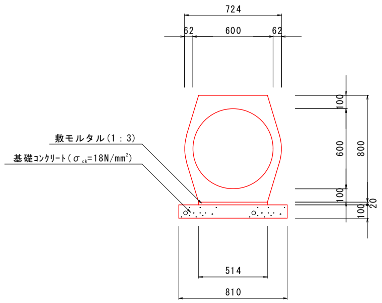
2号現場打水路　S=1:20



数　量　表　　1式当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	12.1
基面整正		m^2	5.1
埋　戻	種別C	m^3	7.1
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	2.722
型　枠	一般型枠	m^2	17.251
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m^2	5.130

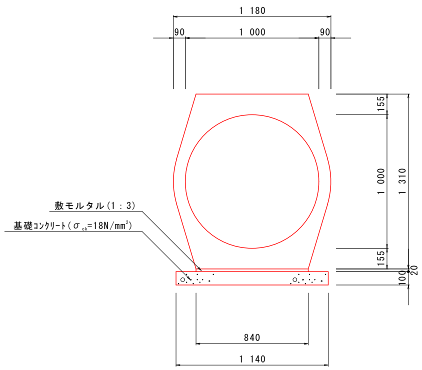
樋管φ600　S=1:20
（重圧管φ600(2種)）



数　量　表　　10.0m当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	17.2
基面整正		m^2	8.1
埋　戻	種別C	m^3	11.2
重圧管	φ600,2種	本	5
敷モルタル	1:3	m^3	0.103
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	0.810
同上型枠	均しコンクリート型枠	m^2	2.000

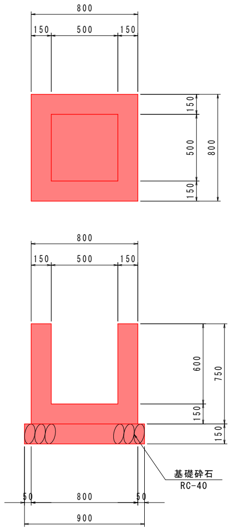
樋管φ1000　S=1:20
（重圧管φ1000(2種)）



数　量　表　　10.0m当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	40.8
基面整正		m^2	11.4
埋　戻	種別C	m^3	26.0
重圧管	φ1000,2種	本	5
敷モルタル	1:3	m^3	0.168
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	1.140
同上型枠	均しコンクリート型枠	m^2	2.000

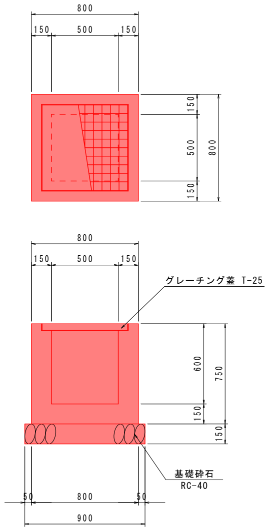
集水桝B500-L500-H600(1)　S=1:20
（蓋なし）



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	1.5
基面整正		m^2	0.8
埋　戻	種別D	m^3	1.2
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	0.330
型　枠	一般型枠	m^2	3.900
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810

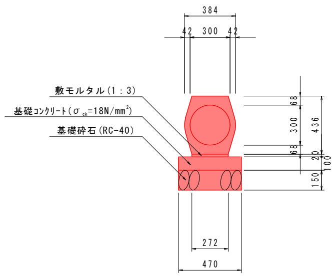
集水桝B500-L500-H600(2)　S=1:20
（グレーチング蓋）



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	2.1
基面整正		m^2	0.8
埋　戻	種別D	m^3	1.7
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	0.330
型　枠	一般型枠	m^2	3.900
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-25	枚	1

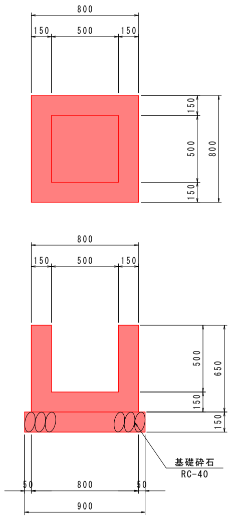
重圧管　φ300　S=1:20



数　量　表　　10.0m当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	8.1
基面整正		m^2	4.7
埋　戻	種別D	m^3	5.9
重圧管	φ300,1種	本	5
敷モルタル	1:3	m^3	0.054
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	0.470
同上型枠	均しコンクリート型枠	m^2	2.000
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	4.700

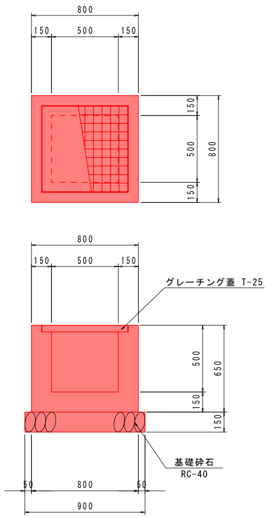
集水桝B500-L500-H500(1)　S=1:20
（蓋なし）



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	1.5
基面整正		m^2	0.8
埋　戻	種別D	m^3	1.2
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	0.291
型　枠	一般型枠	m^2	3.380
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810

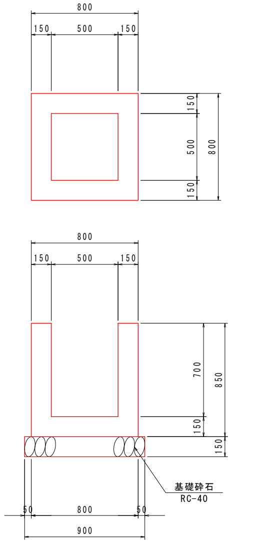
集水桝B500-L500-H500(2)　S=1:20
（グレーチング蓋）



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	0.8
基面整正		m^2	0.8
埋　戻	種別D	m^3	0.6
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	0.291
型　枠	一般型枠	m^2	3.380
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-25	枚	1

集水桝B500-L500-H700(1)　S=1:20
（蓋なし）



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	2.3
基面整正		m^2	0.8
埋　戻	種別D	m^3	1.8
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	0.324
型　枠	一般型枠	m^2	4.420
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810

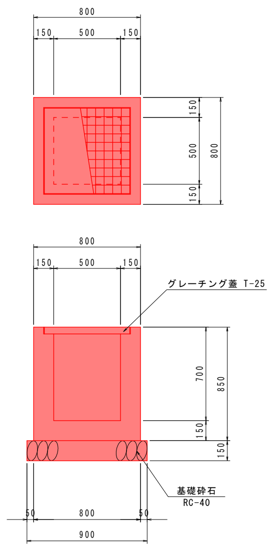
※用水路の分水部の桝については、
角落しを設けること。

実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊞市 矢尾/里方 ㊞町/村 大字　地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設　計	
79 葉の内 62	

小構造物構造図(3/14)

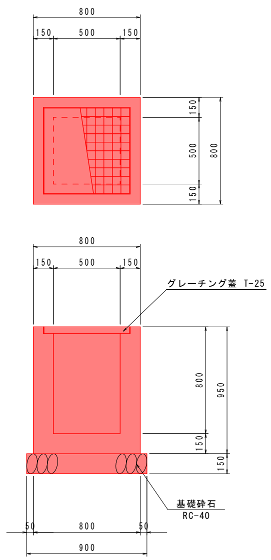
集水桝B500-L500-H700(2)北 S=1:20
（グレーチング蓋）



数 量 表　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	1.3
基面整正		m^2	0.8
埋戻	種別D	m^3	1.0
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.369
型枠	一般型枠	m^2	4.420
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-25	枚	1

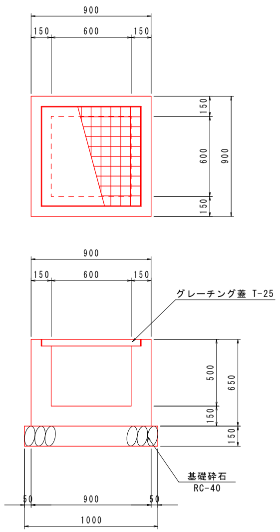
集水桝B500-L500-H800 S=1:20



数 量 表　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	2.1
基面整正		m^2	0.8
埋戻	種別D	m^3	1.7
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.408
型枠	一般型枠	m^2	4.940
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-25	枚	1

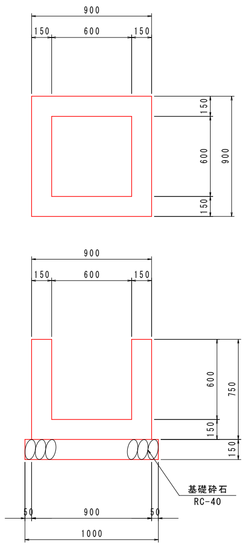
集水桝B600-L600-H500 S=1:20



数 量 表　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	2.0
基面整正		m^2	1.0
埋戻	種別D	m^3	1.5
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.347
型枠	一般型枠	m^2	3.900
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.000
グレーチング蓋	T-25	枚	1

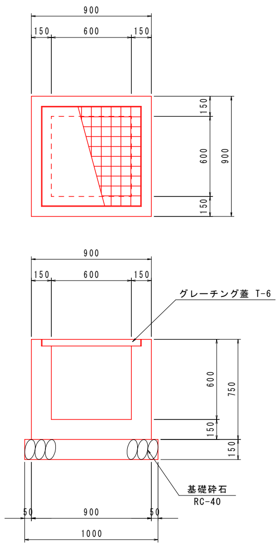
集水桝B600-L600-H600(1) S=1:20
（蓋なし）



数 量 表　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	2.3
基面整正		m^2	1.0
埋戻	種別D	m^3	1.7
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.392
型枠	一般型枠	m^2	4.500
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.000

集水桝B600-L600-H600(2) S=1:20
（グレーチング蓋）



数 量 表　1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	2.3
基面整正		m^2	1.0
埋戻	種別D	m^3	1.7
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.392
型枠	一般型枠	m^2	4.500
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.000
グレーチング蓋	T-6	枚	1

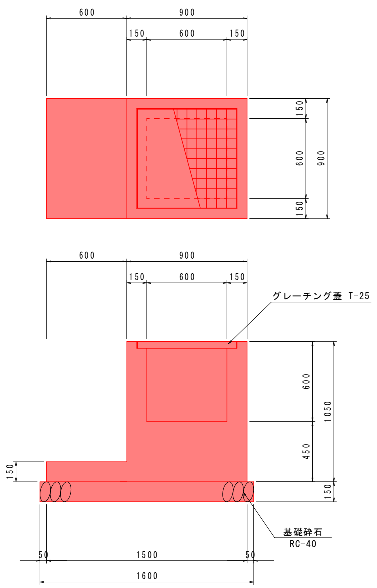
※用水路の分水部の桝については、
角落しを設けること。

実施　第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字 地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

小構造物構造図(4/14)

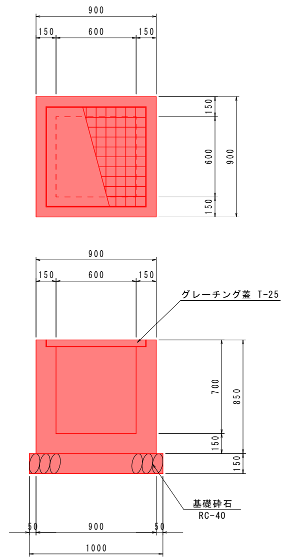
集水桝B600-L600-H600(3) S=1:20
(グレーチング蓋,かかと版あり)



数 量 表　　1箇所当り

名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	4.2
基面整正		m^2	1.6
埋 戻	種別D	m^3	3.3
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.680
型 枠	一般型枠	m^2	6.480
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.600
グレーチング蓋	T-25	枚	1

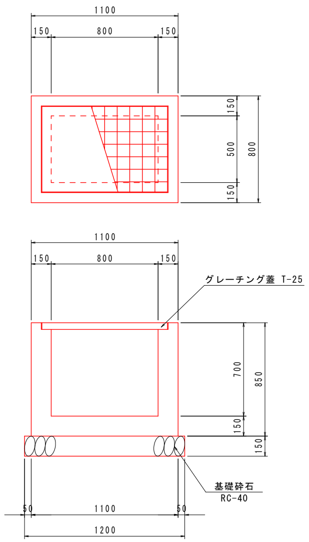
集水桝B600-L600-H700北 S=1:20



数 量 表　　1箇所当り

名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	2.2
基面整正		m^2	1.0
埋 戻	種別D	m^3	1.7
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.395
型 枠	一般型枠	m^2	5.100
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.000
グレーチング蓋	T-25	枚	1

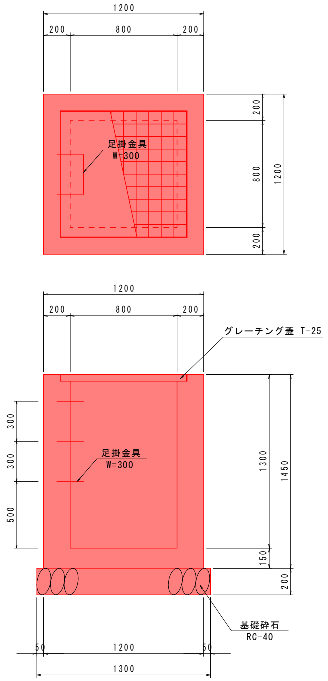
集水桝B800-L500-H700 S=1:20



数 量 表　　1箇所当り

名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	2.1
基面整正		m^2	1.1
埋 戻	種別D	m^3	1.6
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.428
型 枠	一般型枠	m^2	5.440
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.080
グレーチング蓋	T-25	枚	1

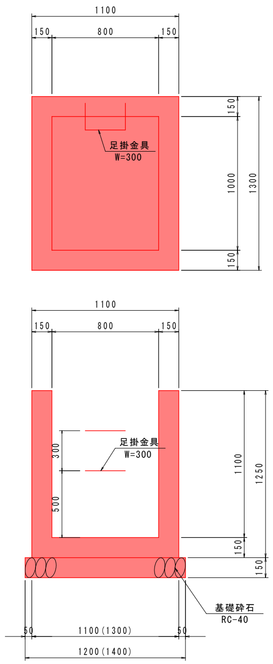
集水桝B800-L800-H1300 S=1:20



数 量 表　　1箇所当り

名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	9.2
基面整正		m^2	1.7
埋 戻	種別C	m^3	7.5
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	1.091
型 枠	一般型枠	m^2	11.600
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m^2	1.690
グレーチング蓋	T-25	枚	1
足掛金具	W=300	個	3

集水桝B800-L1000-H1100 S=1:20



数 量 表　　1箇所当り

名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	3.1
基面整正		m^2	1.7
埋 戻	種別D	m^3	2.1
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.731
型 枠	一般型枠	m^2	10.500
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.680
足掛金具	W=300	個	2

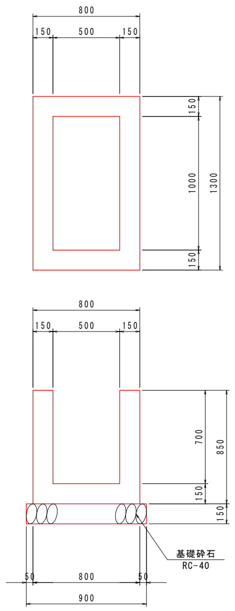
※用水路の分水部の桝については、
角落しを設けること。

実施　　第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊡市 矢尾 里方 ㊥町 村 大字 地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目／会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設 計	

小構造物構造図(5/14)

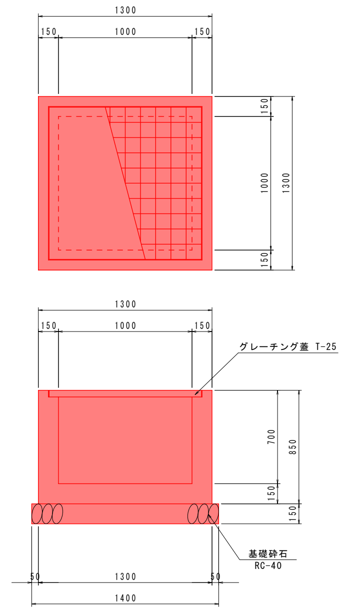
集水桝B1000-L500-H700 S=1:20



数 量 表　　1箇所当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
床　　掘	土　砂	m³	2.9
基 面 整 正		m²	1.3
埋　　戻	種別D	m³	2.1
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.489
型　　枠	一般型枠	m²	6.120
基 礎 砕 石	RC-40 t=150mm	m²	1.260

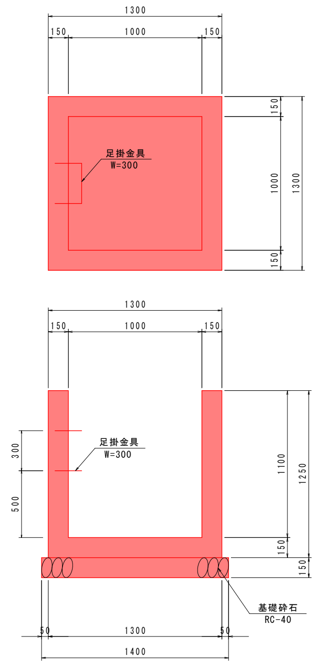
集水桝B1000-L1000-H700 S=1:20



数 量 表　　1箇所当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
床　　掘	土　砂	m³	2.1
基 面 整 正		m²	2.0
埋　　戻	種別D	m³	1.4
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.657
型　　枠	一般型枠	m²	7.820
基 礎 砕 石	RC-40 t=150mm	m²	1.960
グレーチング蓋	T-25	枚	1

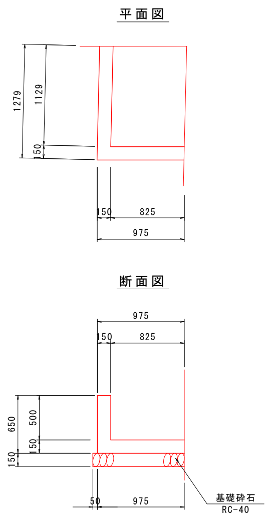
集水桝B1000-L1000-H1100 S=1:20



数 量 表　　1箇所当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
床　　掘	土　砂	m³	1.9
基 面 整 正		m²	2.0
埋　　戻	種別D	m³	1.3
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.844
型　　枠	一般型枠	m²	11.500
基 礎 砕 石	RC-40 t=150mm	m²	1.960
足掛金具	W=300	個	2

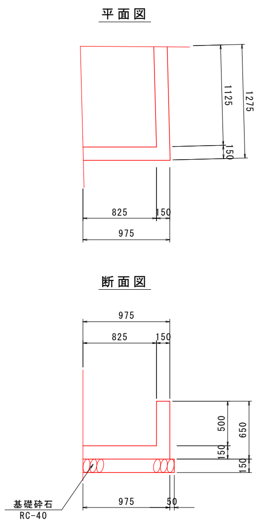
1号取付桝 S=1:30



数 量 表　　1箇所当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.345
型　　枠	一般型枠	m²	2.735
基 礎 砕 石	RC-40 t=150mm	m²	1.362

2号取付桝 S=1:30



数 量 表　　1箇所当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.344
型　　枠	一般型枠	m²	2.730
基 礎 砕 石	RC-40 t=150mm	m²	1.358

※用水路の分水部の桝については、
角落しを設けること。

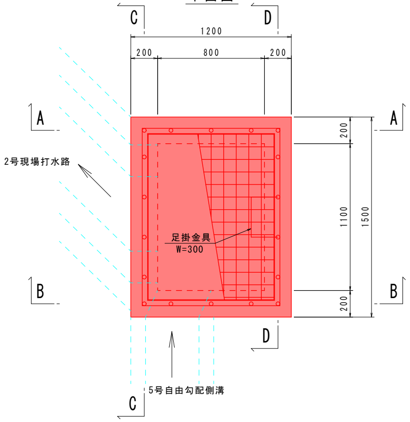
実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字　地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設　計	
	79 葉の内 65

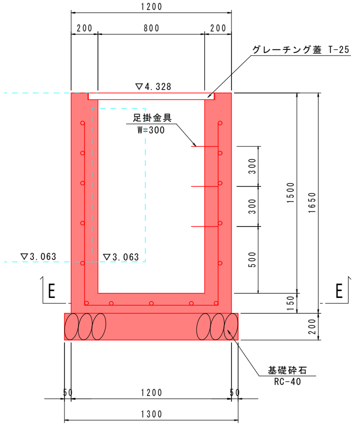
小構造物構造図(6/14)

集水桝B800-L1100-H1500 S=1:20

平面図

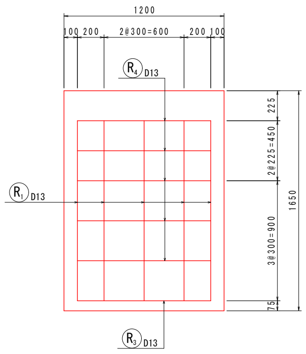


断面図

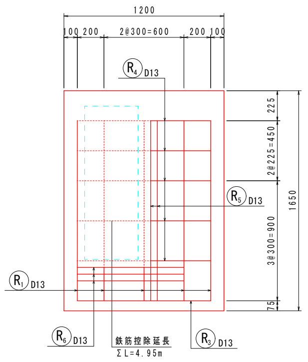


配筋図

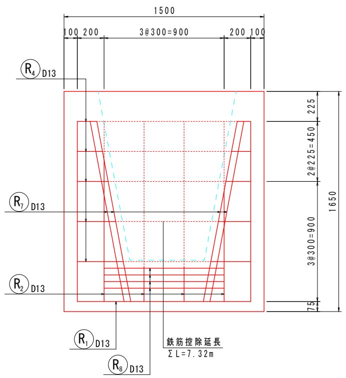
A-A



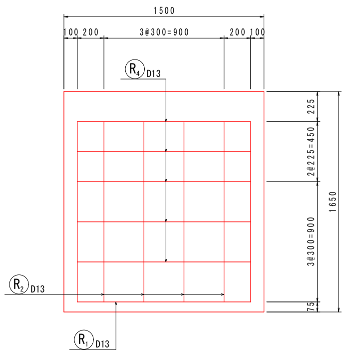
B-B



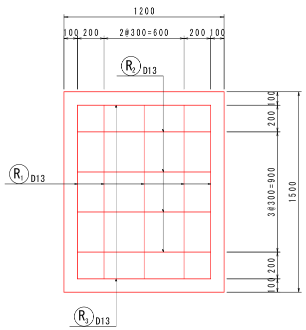
C-C



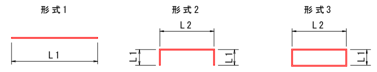
D-D



E-E



鉄筋加工表



鉄筋番号	鋼材材質	公称径 (mm)	鉄筋長 (mm)	本数	総延長 (mm)	形式番号	曲げ寸法(mm) L1	L2	L3	L4	H
R1	SD345	13	4000	5	20000	2	1350	1300			
R2	SD345	13	3760	4	15040	2	1363	1026			
R3	SD345	13	1000	2	2000	1	1000				
R4	SD345	13	4760	5	23800	3	1052	1326			
R5	SD345	13	1350	2	2700	1	1350				
R6	SD345	13	800	3	2400	1	800				
R7	SD345	13	1380	4	5520	1	1374				
R8	SD345	13	900	4	3600	1	900				

鉄筋質量表(SD345)

鉄筋番号	公称径 (mm)	鉄筋長 (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R1	13	4000	5	0.995	3.98	20	
R2	13	3760	4	0.995	3.74	15	
R3	13	1000	2	0.995	1.00	2	
R4	13	4760	5	0.995	4.74	24	
R5	13	1350	2	0.995	1.34	3	
R6	13	800	3	0.995	0.80	2	
R7	13	1380	4	0.995	1.37	5	
R8	13	900	4	0.995	0.90	4	
合計	D13			75	kg		
	控除			-12	kg	(0.995×(4.95+7.32))	
	総質量			63	kg		

数 量 表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土 砂	m^3	10.8
基面整正		m^2	2.1
埋戻	種別C	m^3	8.6
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	1.461
型枠	一般型枠	m^2	15.180
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m^2	2.080
グレーチング蓋	T-25	枚	1
足掛金具	W=300	個	3
鉄筋	D13, SD345	kg	63

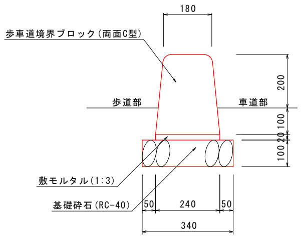
※用水路の分水部の桝については、
角落しを設けること。

実施 第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線(大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字 地内
図面名称	小構造物構造図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

小構造物構造図(12/14)

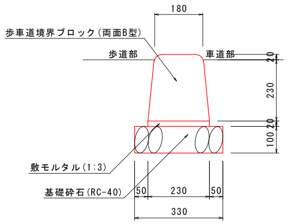
1号縁石工
(一般部)　S=1:10



数　量　表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
境界ブロック	両面C型(両面R)	m	10.0
敷モルタル	1:3	m³	0.048
基　礎　材	RC-40, t=100mm	m²	3.400

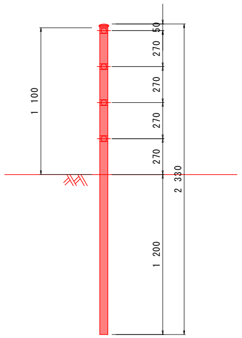
3号縁石工
(車両乗入部)　S=1:10



数　量　表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
境界ブロック	両面B型(両面R)	m	10.0
敷モルタル	1:3	m³	0.046
基　礎　材	RC-40, t=100mm	m²	3.300

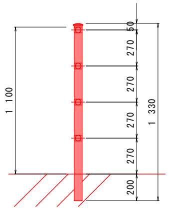
1号転落防止柵
(土中建込用)　S=1:20



数　量　表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
転落防止柵	P種H=1100, 土中建込用	m	10.000

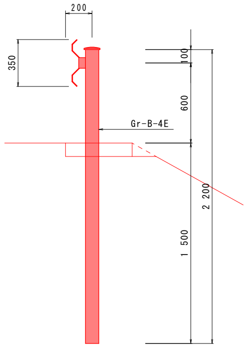
2号転落防止柵
(コンクリート建込用)　S=1:20



数　量　表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
転落防止柵	P種H=1100, コンクリート建込用	m	10.000

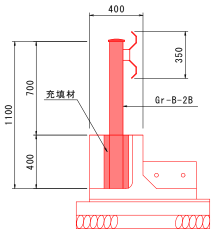
1号ガードレール
(土中建込用)　S=1:20



数　量　表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
ガードレール	Gr-B-4E	m	10.0

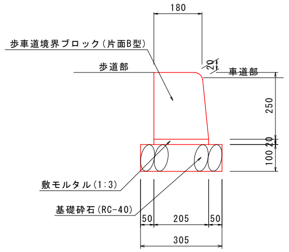
2号ガードレール
(コンクリート建込用)　S=1:20



数　量　表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
ガードレール	Gr-B-2B	m	10.0

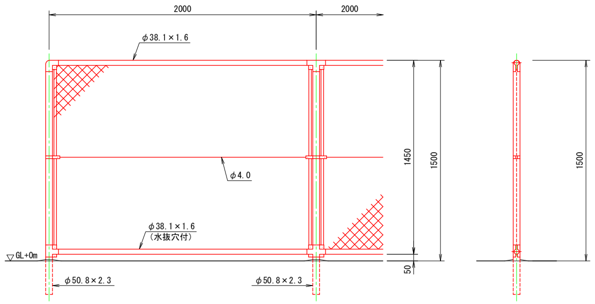
2号縁石工
(横断歩道部･交差点巻込部)　S=1:10



数　量　表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
境界ブロック	片面B型(片面R)	m	10.0
敷モルタル	1:3	m³	0.041
基　礎　砕　石	RC-40, t=100mm	m²	3.050

立入防止柵
※参考図　S=1:20



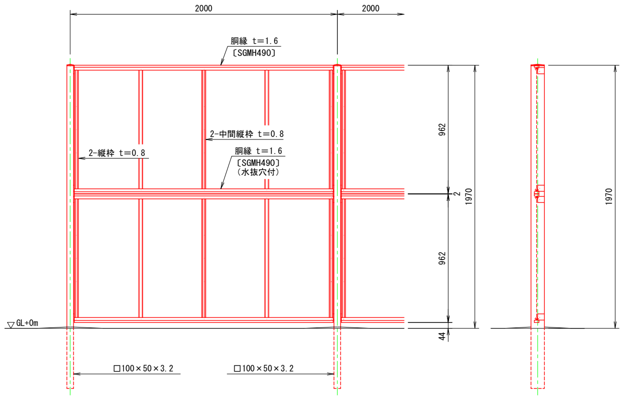
※施工時に製品を決定し、主柱を所定の方法にて埋め込むこと。

数　量　表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
立入防止柵		m	10.000

目隠しフェンス
(コンクリート建込用, H=2.0m)　S=1:20

※参考図



※施工時に製品を決定し、主柱を所定の方法にて埋め込むこと。

数　量　表　　10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
目隠しフェンス	コンクリート建込用 H=2.0m	m	10.000

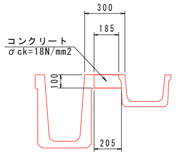
実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 矢尾 里方 町/村 大字　　地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

79 葉の内 67

小構造物構造図(14/14)

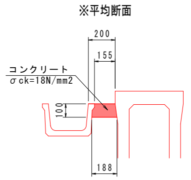
4号張コンクリート S=1:20



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.195
目 地 材	t=10mm	m^2	0.020

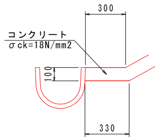
5号張コンクリート S=1:20



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.172
目 地 材	t=10mm	m^2	0.017

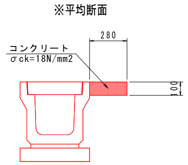
6号張コンクリート S=1:20



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.315
目 地 材	t=10mm	m^2	0.032

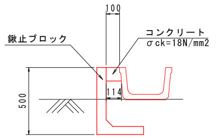
7号張コンクリート S=1:20



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.280
目 地 材	t=10mm	m^2	0.028

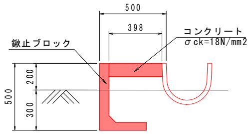
1号鍬止工 S=1:20



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	2.5
埋 戻	種別D	m^3	2.1
鍬止ブロック		m	10.0
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.107
目 地 材	t=10mm	m^2	0.011

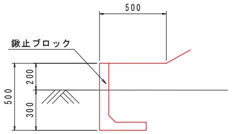
2号鍬止工 S=1:20



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	2.8
埋 戻	種別D	m^3	2.4
鍬止ブロック		m	10.0
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.398
目 地 材	t=10mm	m^2	0.040

3号鍬止工 S=1:20



数 量 表 10.0m当り

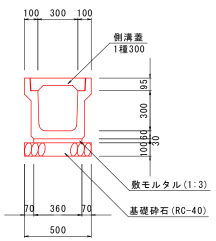
名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	2.8
埋 戻	種別D	m^3	2.4
鍬止ブロック		m	10.0

実施 第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊊ 矢尾 里方 ㊔ 村 大字 地内
図面名称	小構造物構造図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設 計	

小構造物構造図(1)

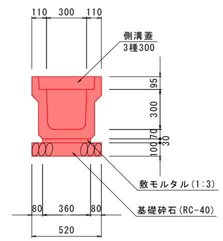
道路用側溝A型1種300A S=1:20



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
側 溝	A型1種300A	個	5
敷モルタル	1:3	m^3	0.108
基礎砕石	RC-40 t=100mm	m^2	5.000
側溝蓋	1種300	枚	20

道路用側溝A型3種300A S=1:20

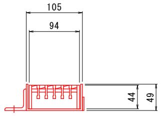


※NO.49+6付近右側はグレーチング蓋(T-25)とする。

数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	5.6
基面整正		m^2	5.2
埋 戻	種別D	m^3	3.5
側 溝	A型3種300A	個	5
敷モルタル	1:3	m^3	0.108
基礎砕石	RC-40 t=100mm	m^2	5.200
側溝蓋	3種300	枚	20

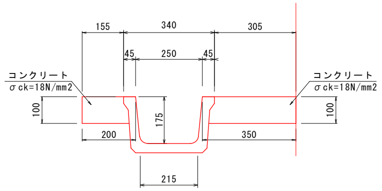
鋼製側溝 S=1:20



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
鋼製側溝	ドレンゲッター TA-5NS同等品以上	m	10.000

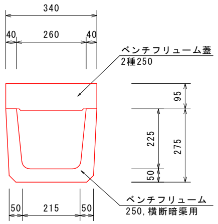
ベンチフリューム250 S=1:10



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
ベンチフリューム	250	m	10.000
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.460
目 地 材	t=10mm	m^2	0.046

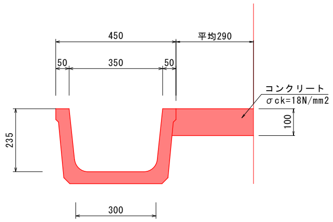
ベンチフリューム250(横断用) S=1:10



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	2.6
基面整正		m^2	2.5
埋 戻	種別D	m^3	1.7
ベンチフリューム	250 横断暗渠用	m	10.000
ベンチフリューム蓋	2種250	枚	20

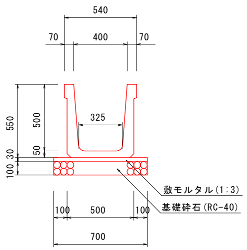
ベンチフリューム350 S=1:10



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
ベンチフリューム	350	m	10.000
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.290
目 地 材	t=10mm	m^2	0.029

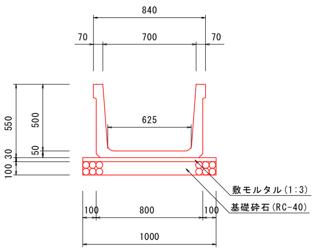
大型フリュームB400×H500 S=1:20



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
大型フリューム	B400×H500	m	10.000
敷モルタル	1:3	m^3	0.210
基礎砕石	RC-40 t=100mm	m^2	7.000

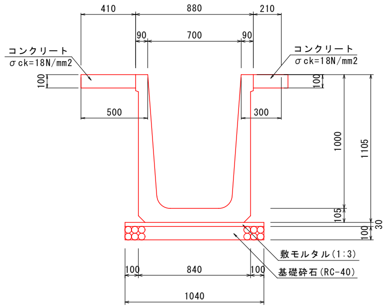
大型フリュームB700×H500 S=1:20



数 量 表 10.0m当り

名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	5.9
基面整正		m^2	10.0
埋 戻	種別D	m^3	1.9
大型フリューム	B700×H500	m	10.000
敷モルタル	1:3	m^3	0.300
基礎砕石	RC-40 t=100mm	m^2	10.000

大型フリュームB700×H1000 S=1:20



数 量 表 10.0m当り

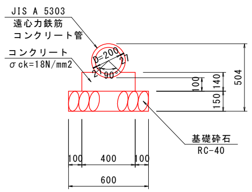
名 称	規 格	単位	数 量
床 掘	土 砂	m^3	18.0
基面整正		m^2	10.4
埋 戻	種別D	m^3	7.0
大型フリューム	B700×H1000	m	10.000
敷モルタル	1:3	m^3	0.312
基礎砕石	RC-40 t=100mm	m^2	10.400
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.620
目 地 材	t=10mm	m^2	0.062

実施 第20期

年 度	平成 30 年度
番 号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡(市) 高岡 里方 (町)村 大字 地内
図面名称	小構造物構造図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設 計	

小構造物構造図(2)

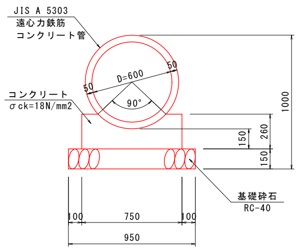
ヒューム管φ200
(1種,90°基礎) S=1:20



数　量　表　　10.0m当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	4.2
基面整正		m^2	6.0
埋　戻	種別D	m^3	2.7
ヒューム管	φ200 1種	本	5
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.509
型　枠	一般型枠	m^2	2.800
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	6.000

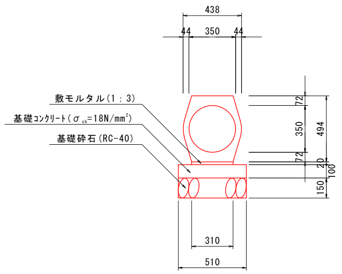
ヒューム管φ600
(1種,90°基礎) S=1:20



数　量　表　　10.0m当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	22.5
基面整正		m^2	9.5
埋　戻	種別C	m^3	15.7
ヒューム管	φ600 1種	本	4.1
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	1.563
型　枠	一般型枠	m^2	5.200
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	9.500

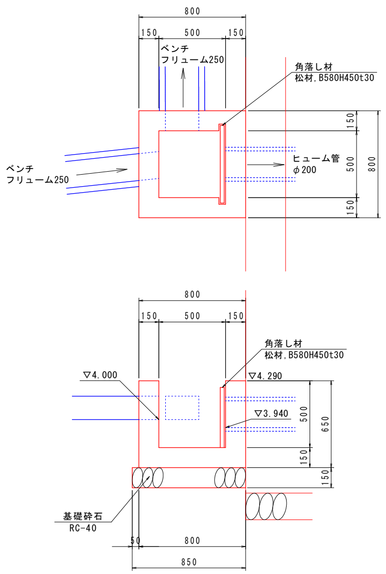
重圧管φ350
(1種) S=1:20



数　量　表　　10.0m当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	8.5
基面整正		m^2	5.1
埋　戻	種別D	m^3	5.3
重圧管	φ350 1種	本	5
敷モルタル	1:3	m^3	0.062
基礎コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.510
同上型枠	均しコンクリート型枠	m^2	2.000
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	5.100

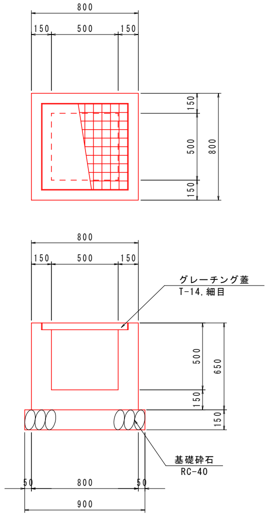
集水桝B500-L500-H500(1)
S=1:20
(蓋なし)



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	1.6
基面整正		m^2	0.8
埋　戻	種別D	m^3	1.2
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.291
型　枠	一般型枠	m^2	3.380
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.765
角落し材	松材 B580H450t30	m^3	0.008

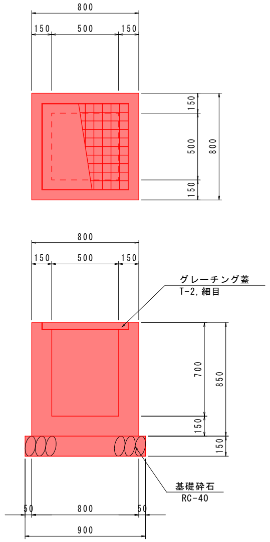
集水桝B500-L500-H500(2)
S=1:20
(グレーチング蓋)



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	2.6
基面整正		m^2	0.8
埋　戻	種別D	m^3	2.1
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.291
型　枠	一般型枠	m^2	3.380
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-14 細目	組	1

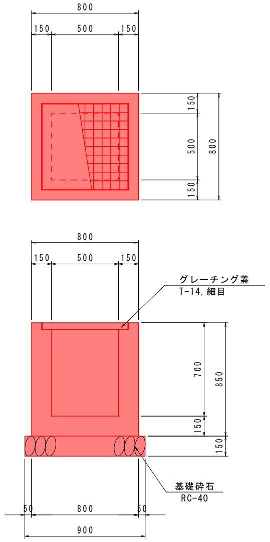
集水桝B500-L500-H700(1)
S=1:20
(グレーチング蓋)



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	2.1
基面整正		m^2	0.8
埋　戻	種別D	m^3	1.7
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.347
型　枠	一般型枠	m^2	4.420
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

集水桝B500-L500-H700(2)
S=1:20
(グレーチング蓋)



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	2.8
基面整正		m^2	0.8
埋　戻	種別D	m^3	2.2
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.329
型　枠	一般型枠	m^2	4.420
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-14 細目	組	1

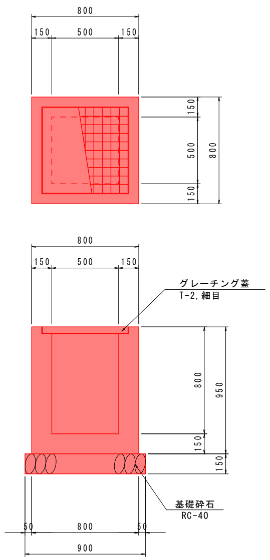
実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一)矢尾今市線(大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊫ 高岡 里方 ㊰ 村 大字　　地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目 \ 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

79 葉の内 70

小構造物構造図(3)

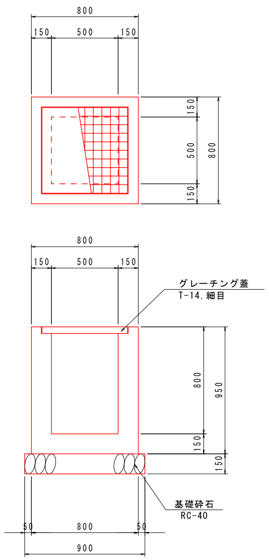
集水桝B500-L500-H800(1)　S=1:20
（グレーチング蓋）



数　量　表　　1箇所当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
床　　掘	土　砂	m^3	3.1
基面整正		m^2	0.8
埋　　戻	種別D	m^3	2.5
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.385
型　　枠	一般型枠	m^2	4.940
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

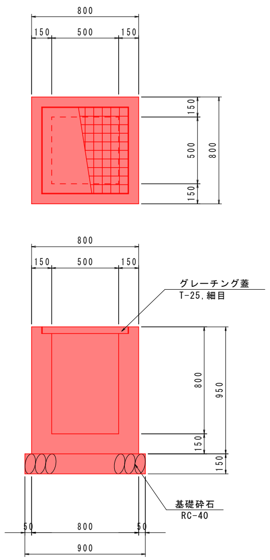
集水桝B500-L500-H800(2)　S=1:20
（グレーチング蓋）



数　量　表　　1箇所当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
床　　掘	土　砂	m^3	3.1
基面整正		m^2	0.8
埋　　戻	種別D	m^3	2.5
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.339
型　　枠	一般型枠	m^2	4.940
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-14 細目	組	1

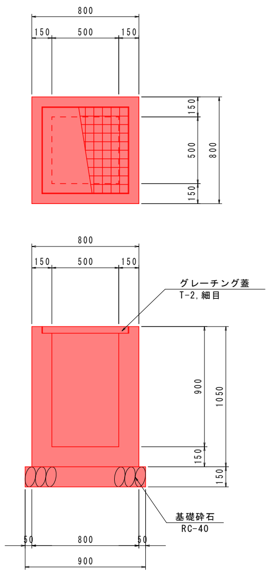
集水桝B500-L500-H800(3)　S=1:20
（グレーチング蓋）



数　量　表　　1箇所当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
床　　掘	土　砂	m^3	3.1
基面整正		m^2	0.8
埋　　戻	種別D	m^3	2.5
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.383
型　　枠	一般型枠	m^2	4.940
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-25 細目	組	1

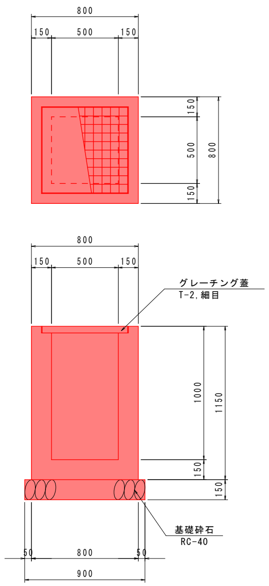
集水桝B500-L500-H900　S=1:20



数　量　表　　1箇所当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
床　　掘	土　砂	m^3	6.0
基面整正		m^2	0.8
埋　　戻	種別C	m^3	5.3
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.400
型　　枠	一般型枠	m^2	5.460
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

集水桝B500-L500-H1000　S=1:20



数　量　表　　1箇所当り

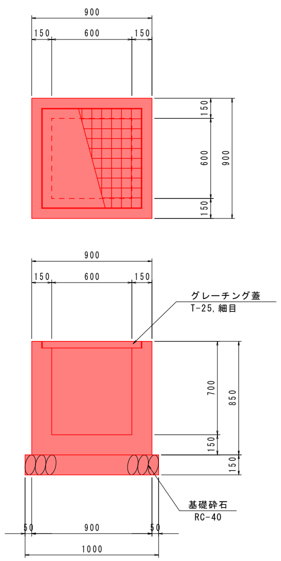
名　　称	規　　格	単位	数　　量
床　　掘	土　砂	m^3	7.3
基面整正		m^2	0.8
埋　　戻	種別C	m^3	6.5
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.463
型　　枠	一般型枠	m^2	5.980
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	0.810
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	（一）矢尾今市線（大塚工区）
施工箇所	出雲 郡 ㊉市 高岡 里方 ㊉町 村 大字　地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

小構造物構造図(4)

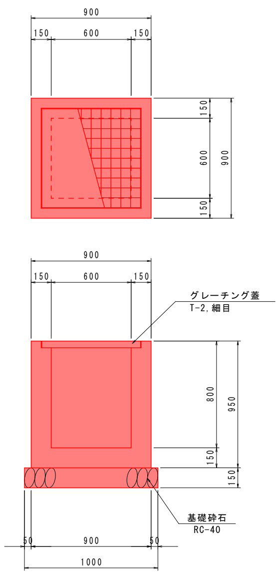
集水桝B600-L600-H700　S=1:20



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	2.5
基面整正		m^2	1.0
埋　戻	種別D	m^3	1.9
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.415
型　枠	一般型枠	m^2	5.100
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.000
グレーチング蓋	T-25 細目	組	1

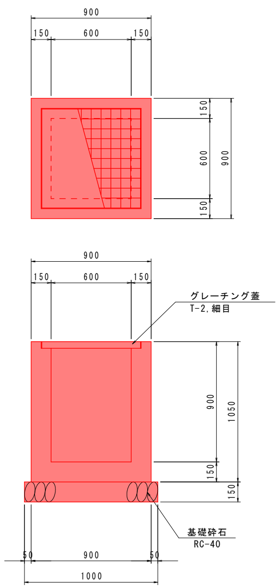
集水桝B600-L600-H800　S=1:20



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	3.4
基面整正		m^2	1.0
埋　戻	種別D	m^3	2.6
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.458
型　枠	一般型枠	m^2	5.700
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.000
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

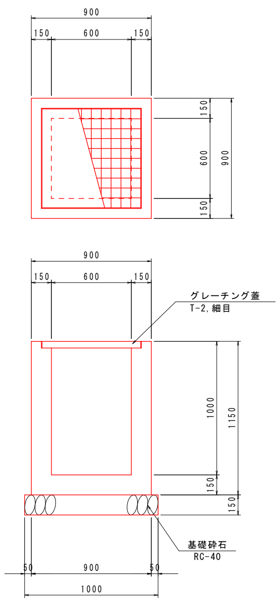
集水桝B600-L600-H900　S=1:20



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	6.5
基面整正		m^2	1.0
埋　戻	種別C	m^3	5.6
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.527
型　枠	一般型枠	m^2	6.300
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.000
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

集水桝B600-L600-H1000　S=1:20



数　量　表　　1箇所当り

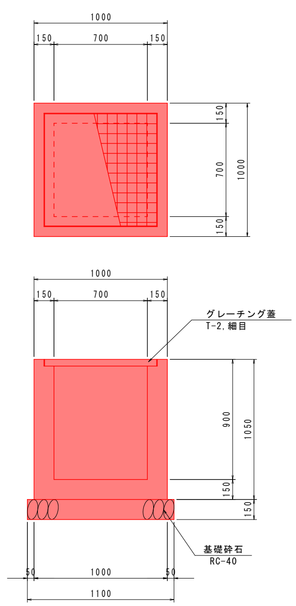
名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	0.7
基面整正		m^2	1.0
埋　戻	種別D	m^3	0.5
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.518
型　枠	一般型枠	m^2	6.900
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.000
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 高岡 里方 町/村 大字　地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

小構造物構造図(5)

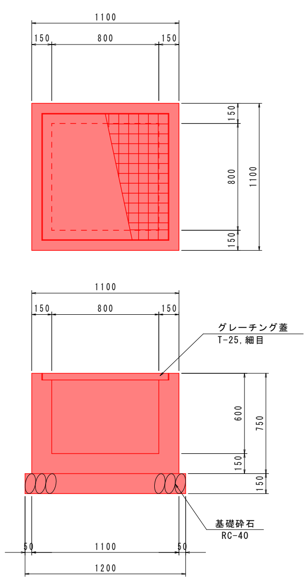
集水桝B700-L700-H900 S=1:20



数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	3.4
基面整正		m^2	1.2
埋戻	種別D	m^3	2.5
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.609
型枠	一般型枠	m^2	7.140
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.210
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

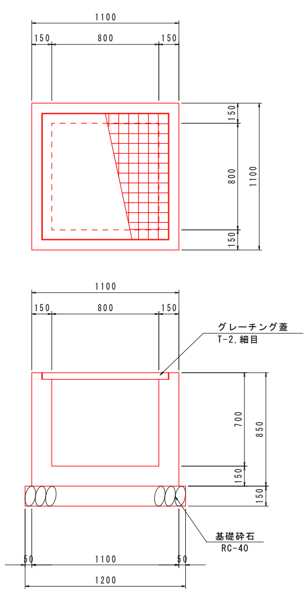
集水桝B800-L800-H600 S=1:20



数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	2.9
基面整正		m^2	1.4
埋戻	種別D	m^3	2.1
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.524
型枠	一般型枠	m^2	5.700
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.440
グレーチング蓋	T-25 細目	組	1

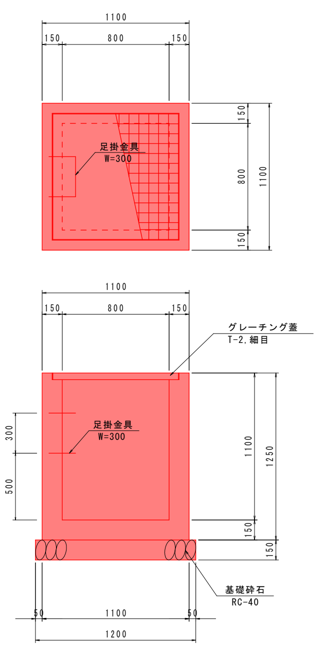
集水桝B800-L800-H700 S=1:20



数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	2.6
基面整正		m^2	1.4
埋戻	種別D	m^3	1.8
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.581
型枠	一般型枠	m^2	6.460
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.440
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

集水桝B800-L800-H1100 S=1:20



数量表 1箇所当り

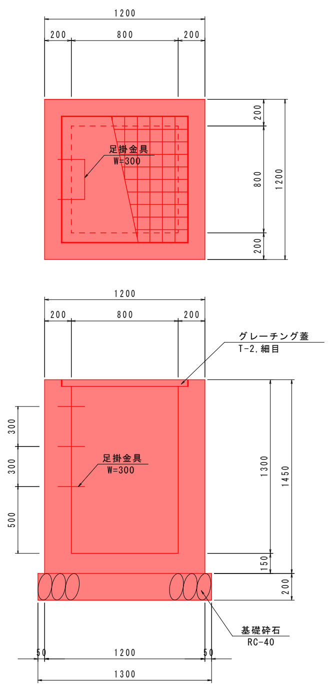
名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	3.3
基面整正		m^2	1.4
埋戻	種別D	m^3	2.4
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.809
型枠	一般型枠	m^2	9.500
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.440
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1
足掛金具	W=300	個	2

実施 第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一)矢尾今市線(大塚工区)
施工箇所	出雲 市 高岡 里方 町 大字 地内
図面名称	小構造物構造図
縮尺	図示
項目	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

小構造物構造図（6）

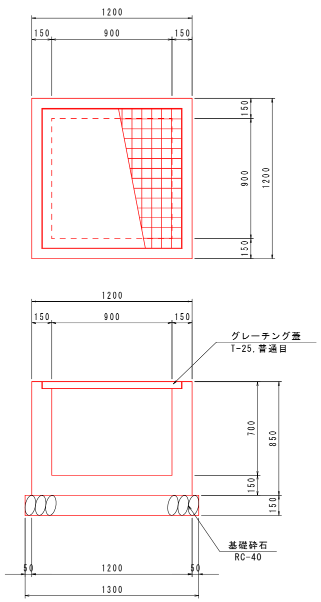
集水桝B800-L800-H1300 S=1:20



数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	3.9
基面整正		m^2	1.7
埋戻	種別D	m^3	2.7
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	1.234
型枠	一般型枠	m^2	11.600
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m^2	1.690
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1
足掛金具	W=300	個	3

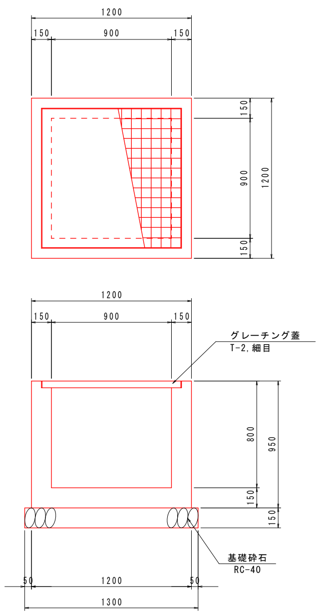
集水桝B900-L900-H700 S=1:20



数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	2.4
基面整正		m^2	1.7
埋戻	種別D	m^3	1.6
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.564
型枠	一般型枠	m^2	7.140
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.690
グレーチング蓋	T-25 普通目	組	1

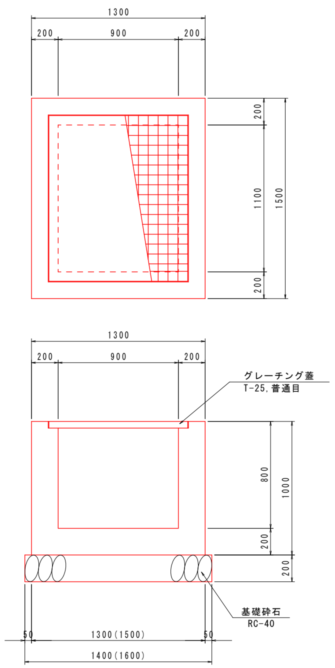
集水桝B900-L900-H800 S=1:20



数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	2.7
基面整正		m^2	1.7
埋戻	種別D	m^3	1.9
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.615
型枠	一般型枠	m^2	7.980
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.690
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

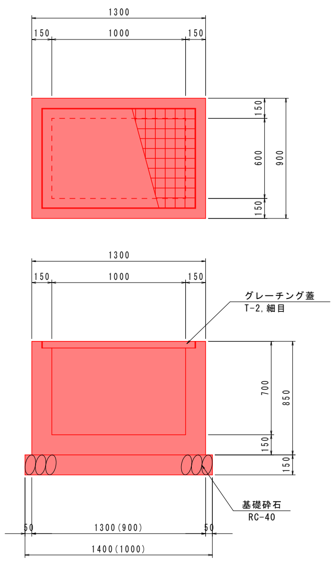
集水桝B900-L1100-H800 S=1:20



数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	3.5
基面整正		m^2	2.2
埋戻	種別D	m^3	2.3
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	1.054
型枠	一般型枠	m^2	9.600
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m^2	2.240
グレーチング蓋	T-25 普通目	組	1

集水桝B1000-L600-H700 S=1:20



数量表 1箇所当り

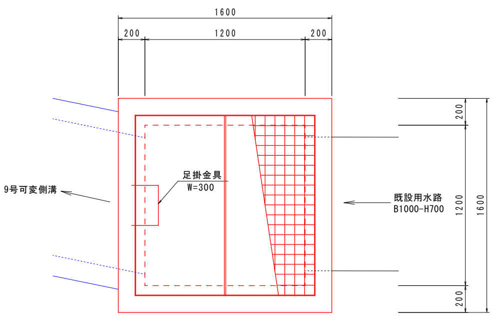
名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	2.8
基面整正		m^2	1.4
埋戻	種別D	m^3	2.0
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.549
型枠	一般型枠	m^2	6.460
基礎砕石	RC-40 t=150mm	m^2	1.400
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

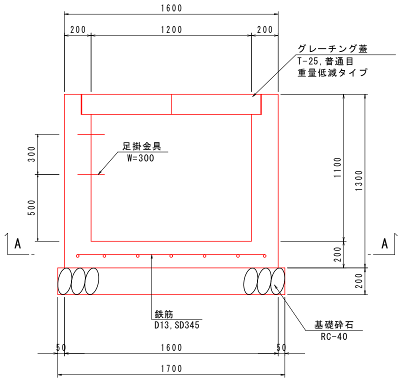
実施 第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金（改築）工事
道川港名	（一）矢尾今市線（大塚工区）
施工箇所	出雲 郡/㊢ 高岡/里方 ㊰/村 大字 地内
図面名称	小構造物構造図 縮尺 図示
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

小構造物構造図(7)

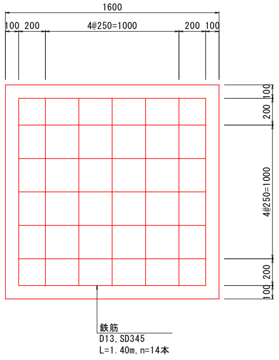
集水桝B1200-L1200-H1100 S=1:20





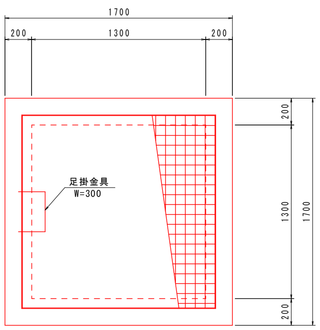
配筋図

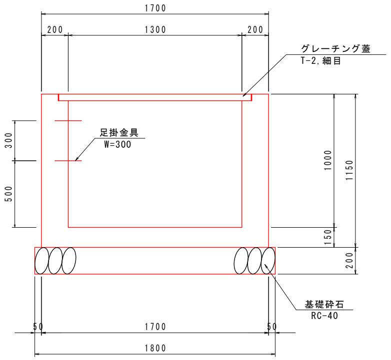
A-A断面



集水桝B1300-L1300-H1000(1) S=1:20

（グレーチング蓋）

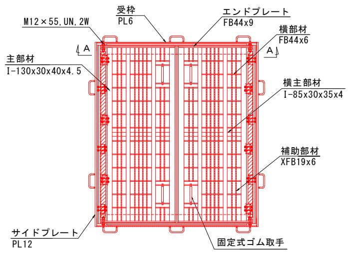


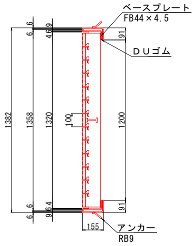


グレーチング蓋構造図

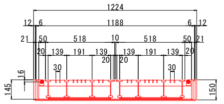
※参考図

B1200×L1200用(普通目)
T-25用,重量低減タイプ





A-A断面



参考重量
グレーチング：84.3kg/枚
開閉重量：約17kg

数　量　表　　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
床掘	土　砂	m^3	5.1
基面整正		m^2	2.9
埋戻	種別D	m^3	3.1
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	1.480
型枠	一般型枠	m^2	13.600
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m^2	2.890
グレーチング蓋	T-25 普通目 重量低減タイプ	組	1
足掛金具	W=300	個	2
鉄筋	D13 SD345	kg	20

数　量　表　　　1箇所当り

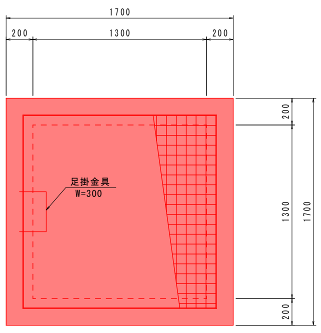
名　称	規　格	単位	数　量
床掘	土　砂	m^3	13.5
基面整正		m^2	3.2
埋戻	種別C	m^3	10.0
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	1.256
型枠	一般型枠	m^2	13.800
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m^2	3.240
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1
足掛金具	W=300	個	2

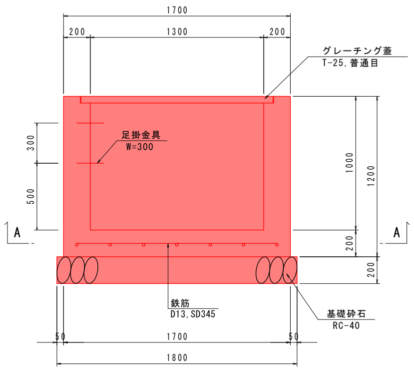
実施　　　第20期

年度	平成 30 年度
番号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊒ 高岡 里方 ㊞/村 大字　地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

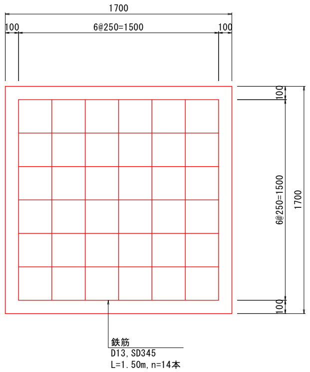
小構造物構造図(8)

集水桝B1300-L1300-H1000(2) S=1:20
(グレーチング蓋)





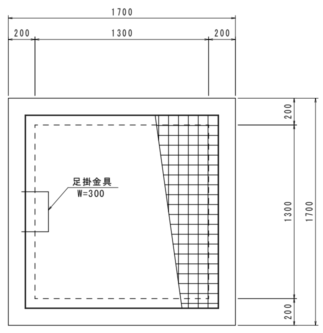
配筋図
A-A断面

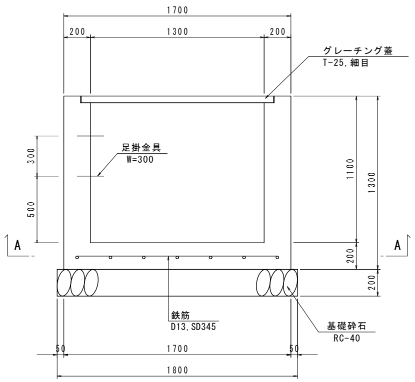


数 量 表 1箇所当り

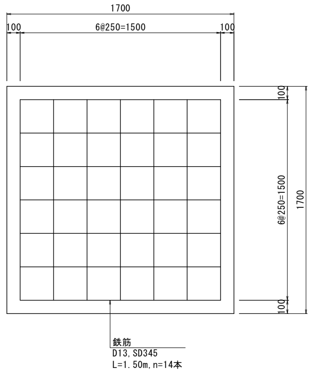
名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	5.1
基面整正		m^2	3.2
埋戻	種別D	m^3	3.0
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	1.514
型枠	一般型枠	m^2	13.360
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m^2	3.240
グレーチング蓋	T-25 普通目	組	1
足掛金具	W=300	個	2
鉄筋	D13 SD345	kg	21

集水桝B1300-L1300-H1100 S=1:20





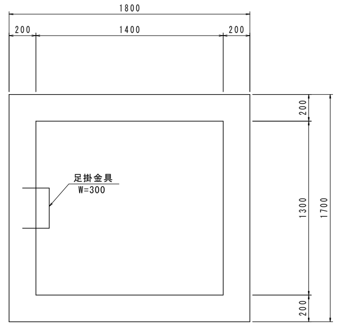
配筋図
A-A断面

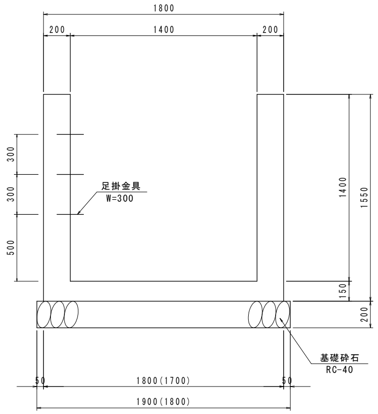


数 量 表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	13.5
基面整正		m^2	3.2
埋戻	種別C	m^3	10.0
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	1.511
型枠	一般型枠	m^2	14.560
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m^2	3.240
グレーチング蓋	T-25 細目	組	1
足掛金具	W=300	個	2
鉄筋	D13 SD345	kg	21

集水桝B1400-L1300-H1400 S=1:20





数 量 表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m^3	15.6
基面整正		m^2	3.4
埋戻	種別C	m^3	11.6
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	1.520
型枠	一般型枠	m^2	19.220
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m^2	3.420
足掛金具	W=300	個	3

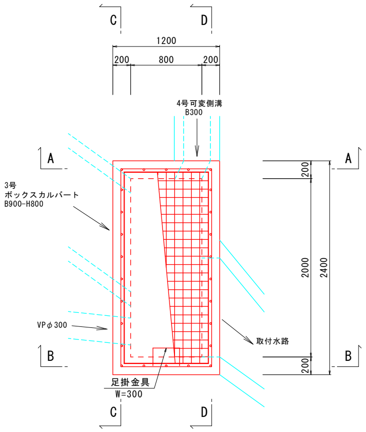
実施 第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線(大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 市 高岡 里方 町 村 大字 地内
図面名称	小構造物構造図 縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

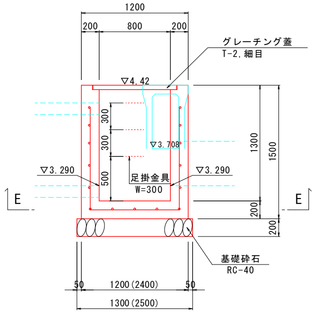
小構造物構造図（9）

集水桝B800-L2000-H1300　S=1:30

平面図

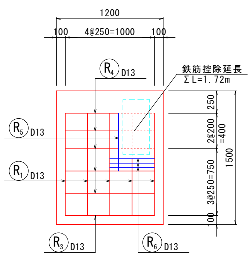


断面図

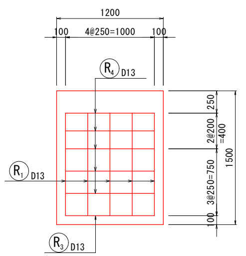


配筋図

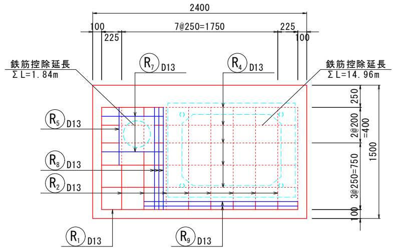
A－A



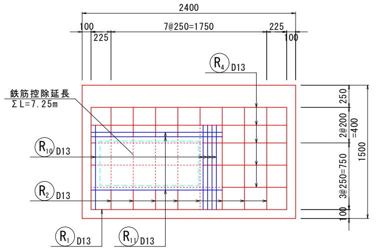
B－B



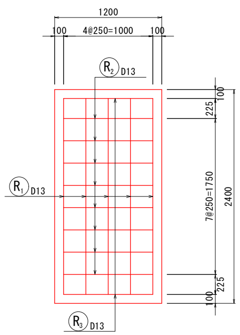
C－C



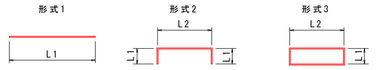
D－D



E－E



鉄筋加工表



鉄筋番号	鋼材材質	公称径(mm)	鉄筋長(mm)	本数	総延長(mm)	形式番号	曲げ寸法(mm) L1	L2	L3	L4	H
R1	SD345	13	4500	5	22500	2	1150	2200			
R2	SD345	13	3360	8	26880	2	1163	1026			
R3	SD345	13	1000	2	2000	1	1000				
R4	SD345	13	6560	5	32800	3	1052	2226			
R5	SD345	13	650	2	1300	1	650				
R6	SD345	13	500	3	1500	1	500				
R7	SD345	13	700	2	1400	1	692				
R8	SD345	13	1150	3	3450	1	1150				
R9	SD345	13	1730	2	3460	1	1725				
R10	SD345	13	950	5	4750	1	950				
R11	SD345	13	1480	3	4440	1	1475				

鉄筋質量表(SD345)

鉄筋番号	公称径(mm)	鉄筋長(mm)	本数	単位質量(kg/m)	一本当り質量(kg)	質量(kg)	摘要
R1	13	4500	5	0.995	4.48	22	
R2	13	3360	8	0.995	3.34	27	
R3	13	1000	2	0.995	1.00	2	
R4	13	6560	5	0.995	6.53	33	
R5	13	650	2	0.995	0.65	1	
R6	13	500	3	0.995	0.50	2	
R7	13	700	2	0.995	0.70	1	
R8	13	1150	3	0.995	1.14	3	
R9	13	1730	2	0.995	1.72	3	
R10	13	950	5	0.995	0.95	5	
R11	13	1480	3	0.995	1.47	4	
合計	D13			103	kg		
	控除			26	kg	(0.995×(1.72+1.84+14.96+7.25))	
	総質量			77	kg		

数　量　表　　1箇所当り

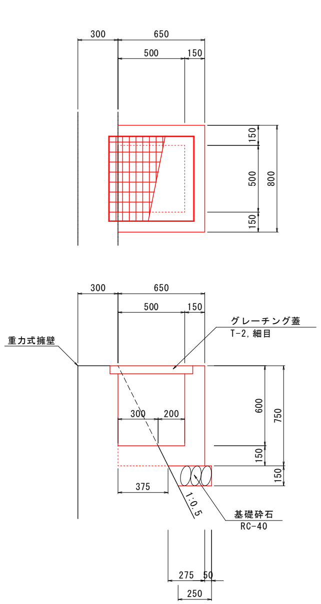
名称	規格	単位	数量
床掘	土　砂	m^3	13.9
基面整正		m^2	3.3
埋戻	種別C	m^3	10.4
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²	m^3	1.847
型枠	一般型枠	m^2	18.080
基礎砕石	RC-40 t=200mm	m^2	3.250
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1
足掛金具	W=300	個	3
鉄筋	D13 SD345	kg	77

実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金（改築）工事
道川港名	（一）矢尾今市線（大塚工区）
施工箇所	出雲 郡(市) 高岡 里方 (町)村 大字　地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺　図示
項目＼会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

小構造物構造図(11)

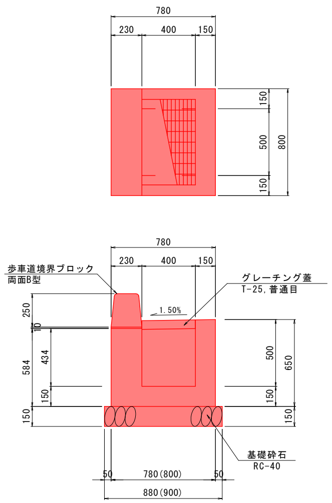
1号接合桝　S=1:20



数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.173
型　枠	一般型枠	m^2	2.250
基 礎 砕 石	RC-40 t=150mm	m^2	0.259
グレーチング蓋	T-2 細目	組	1

1号街渠桝　S=1:20

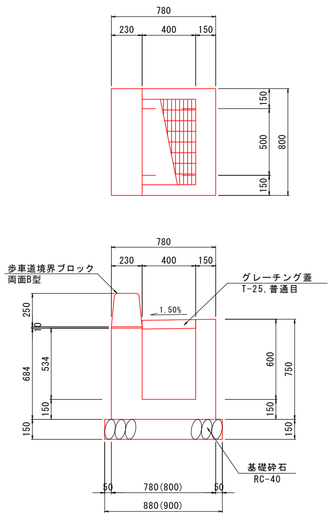


※縁石切下げ部に設置の場合は、境界ブロックの設置高を調整すること。

数　量　表　　1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.293
型　枠	一般型枠	m^2	3.108
基 礎 砕 石	RC-40 t=150mm	m^2	0.792
グレーチング蓋	T-25 普通目	組	1
歩車道境界ブロック	両面B型	m	0.8
敷モルタル	1:3	m^3	0.002

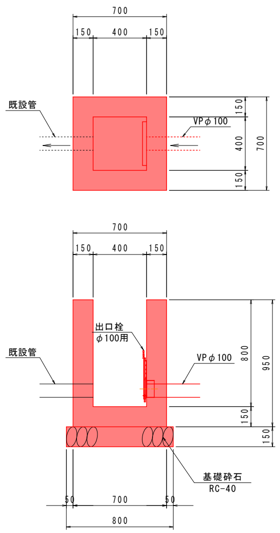
2号街渠桝　S=1:20



数　量　表　　1箇所当り

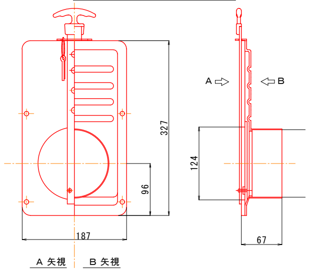
名　称	規　格	単位	数　量
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.336
型　枠	一般型枠	m^2	3.604
基 礎 砕 石	RC-40 t=150mm	m^2	0.792
グレーチング蓋	T-25 普通目	組	1
歩車道境界ブロック	両面B型	m	0.8
敷モルタル	1:3	m^3	0.002

取水桝　S=1:20



※管及び桝の深さは、現場状況から推定した目安であるため施工時に既設管位置を確認し、寸法を適宜修正すること。

出口栓(φ100用)構造図
※参考図　S=1:5

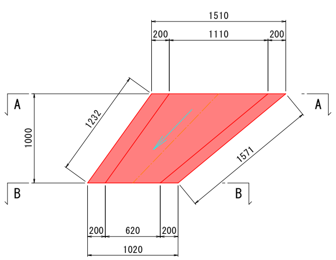


数　量　表　　1箇所当り

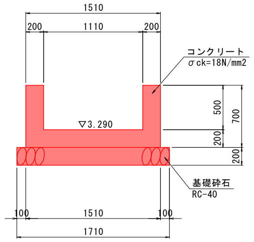
名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	5.9
基 面 整 正		m^2	0.6
埋　戻	種別C	m^3	5.3
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.338
型　枠	一般型枠	m^2	4.180
基 礎 砕 石	RC-40 t=150mm	m^2	0.640
出 口 栓	φ100用	個	1

取付水路　S=1:30

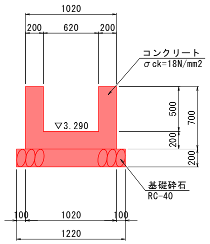
平面図



A-A断面



B-B断面



数　量　表　　1箇所当り

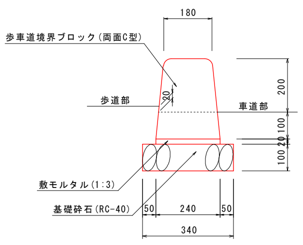
名　称	規　格	単位	数　量
床　掘	土　砂	m^3	2.1
基 面 整 正		m^2	1.5
埋　戻	種別D	m^3	0.9
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.453
型　枠	一般型枠	m^2	3.924
基 礎 砕 石	RC-40 t=200mm	m^2	1.465

実施　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊢ 高岡 里方 ㊫ 村 大字　　地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測 量 調 査	
設　計	

小構造物構造図(12)

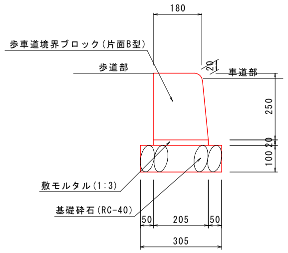
1号縁石 S=1:10
(一般部)



数 量 表 10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
境界ブロック	両面C型(両面R)	m	10.0
敷モルタル	1:3	m^3	0.048
基　礎　材	RC-40,t=100mm	m^2	3.400

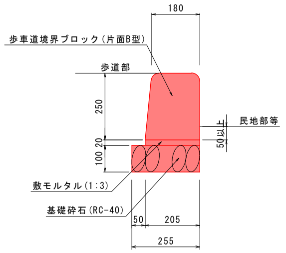
2号縁石 S=1:10
(横断歩道部・交差点巻込部)



数 量 表 10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
境界ブロック	片面B型(片面R)	m	10.0
敷モルタル	1:3	m^3	0.041
基　礎　砕　石	RC-40,t=100mm	m^2	3.050

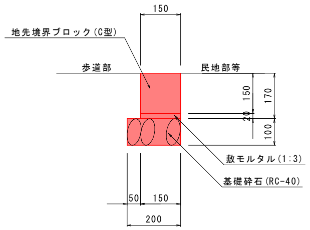
3号縁石 S=1:10
(官民境界部等)



数 量 表 10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
境界ブロック	片面B型(両面R)	m	10.0
敷モルタル	1:3	m^3	0.041
基　礎　砕　石	RC-40,t=100mm	m^2	2.550

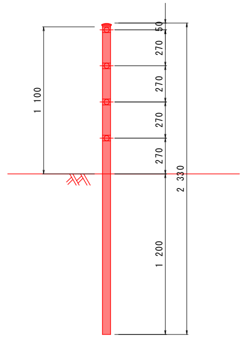
地先境界ブロック S=1:10



数 量 表 10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
地先境界ブロック	C型	m	10.0
敷モルタル	1:3	m^3	0.030
基　礎　砕　石	RC-40,t=100mm	m^2	2.000

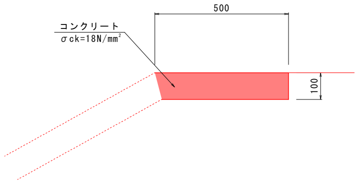
転落防止柵 S=1:20
(土中建込用)



数 量 表 10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
転落防止柵	P種H=1100,土中建込用	m	10.000

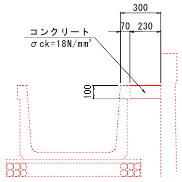
路肩コンクリート S=1:10



数 量 表 10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.500
型　　枠	一般型枠	m^2	1.000
目　地　材	t=10mm	m^2	0.050

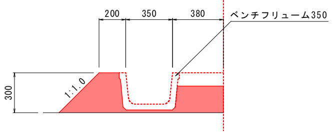
1号張コンクリート S=1:20



数 量 表 10.0m当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.230
目　地　材	t=10mm	m^2	0.023

畦畔工 S=1:20

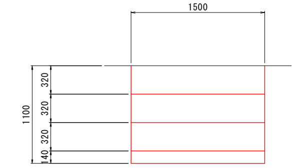


数 量 表 10.0m当り

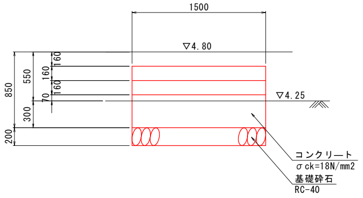
名　　称	規　　格	単位	数　　量
盛　土		m^3	1.7

階段工 S=1:30
(W=1.5m)

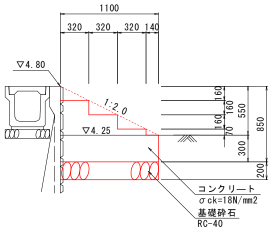
平面図



正面図



側面図



数 量 表 1箇所当り

名　　称	規　　格	単位	数　　量
床　　掘	土　砂	m^3	2.0
基面整正		m^2	1.7
埋　　戻	種別D	m^3	1.3
コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2	m^3	0.826
型　　枠	一般型枠	m^2	2.137
基礎砕石	RC-40,t=200mm	m^2	1.650

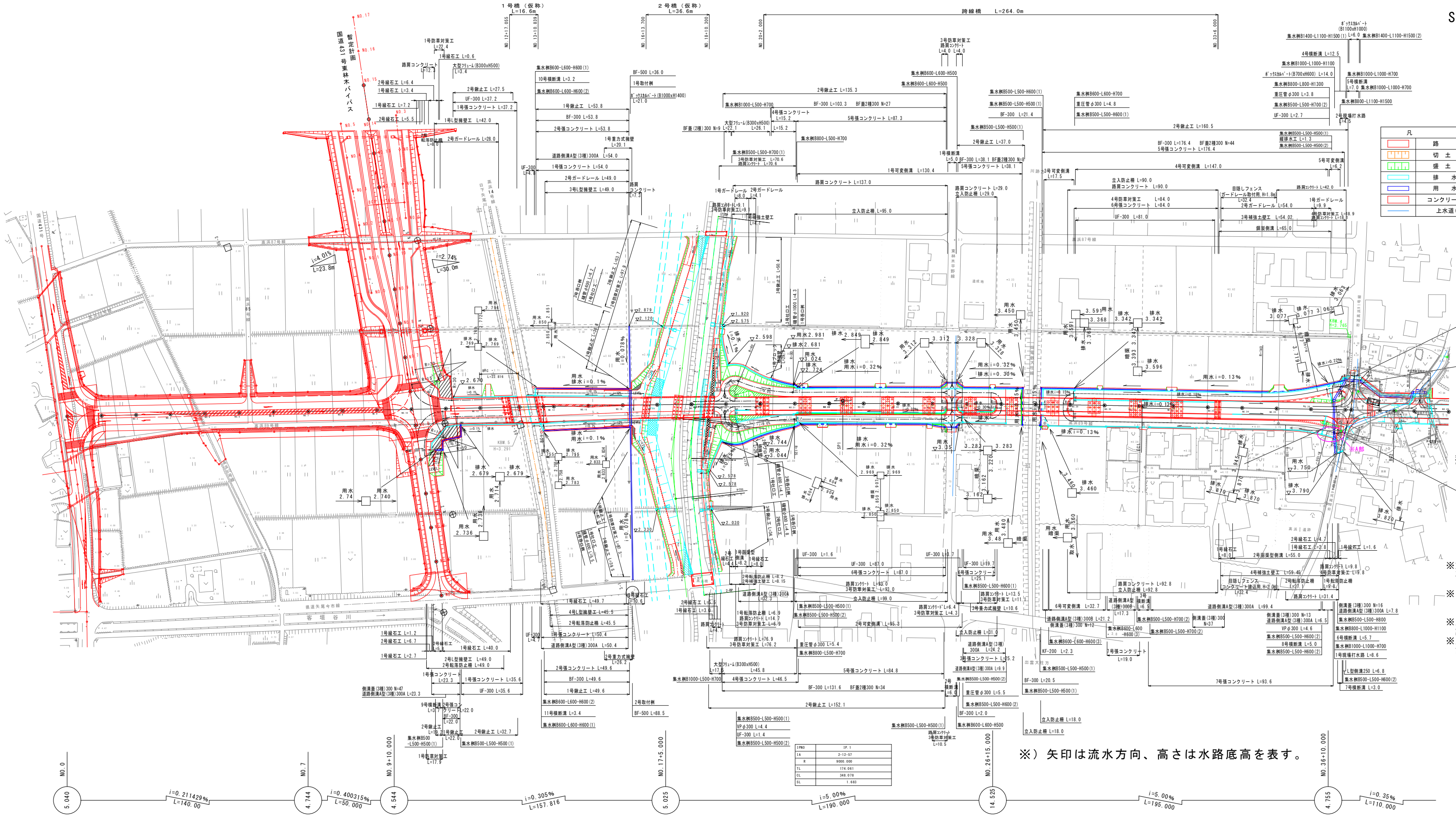
実施　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊢ 高岡 里方 ㊖ 村 大字　地内
図面名称	小構造物構造図　縮尺 図示
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設　計	

79 葉の内 79

用排水系統図

S=1:1000



（一）矢尾今市線　道路規格

第3種第2級
V=60km/hr

NO.11～NO.16付近右折車線部

NO.17～NO.19付近一般部

NO.20～NO.37付近跨線橋部

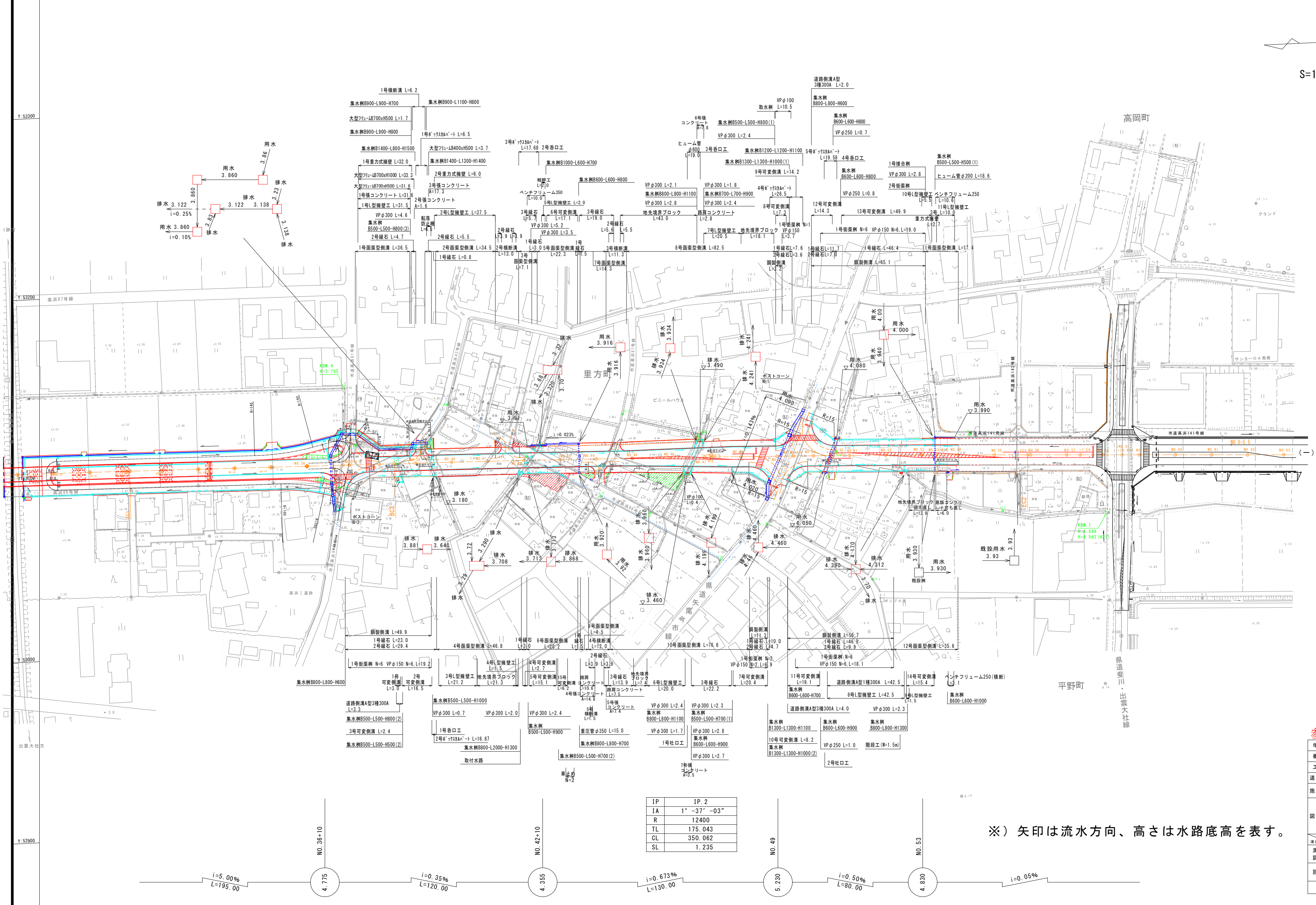
※上図に示した既設宅内排水管の流末については、右側取付市道に設置する側溝に付け替えること。

※施工時に東林木バイパス交差点施工済部の再確認を行い、必要ならば計画を整合させること。
※田区等への進入路は、図示していないものも含めて施工時に地権者と協議の上、位置を最終決定すること。
※用水路の取水位置は、施工時に地権者と協議の上、決定すること。
※用水路の分水部の桝については、角落しを設けること。

参考図　第20期

年度	平成　30　年度
番号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 都市 矢尾 里方 町村 大字 地内
図面名称	用排水系統図　縮尺1:1000
項目／会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設計	
9 葉の内 1	

用排水系統図



IP	IP.2
IA	1° -37′ -03″
R	12400
TL	175.043
CL	350.062
SL	1.235

※）矢印は流水方向、高さは水路底高を表す。

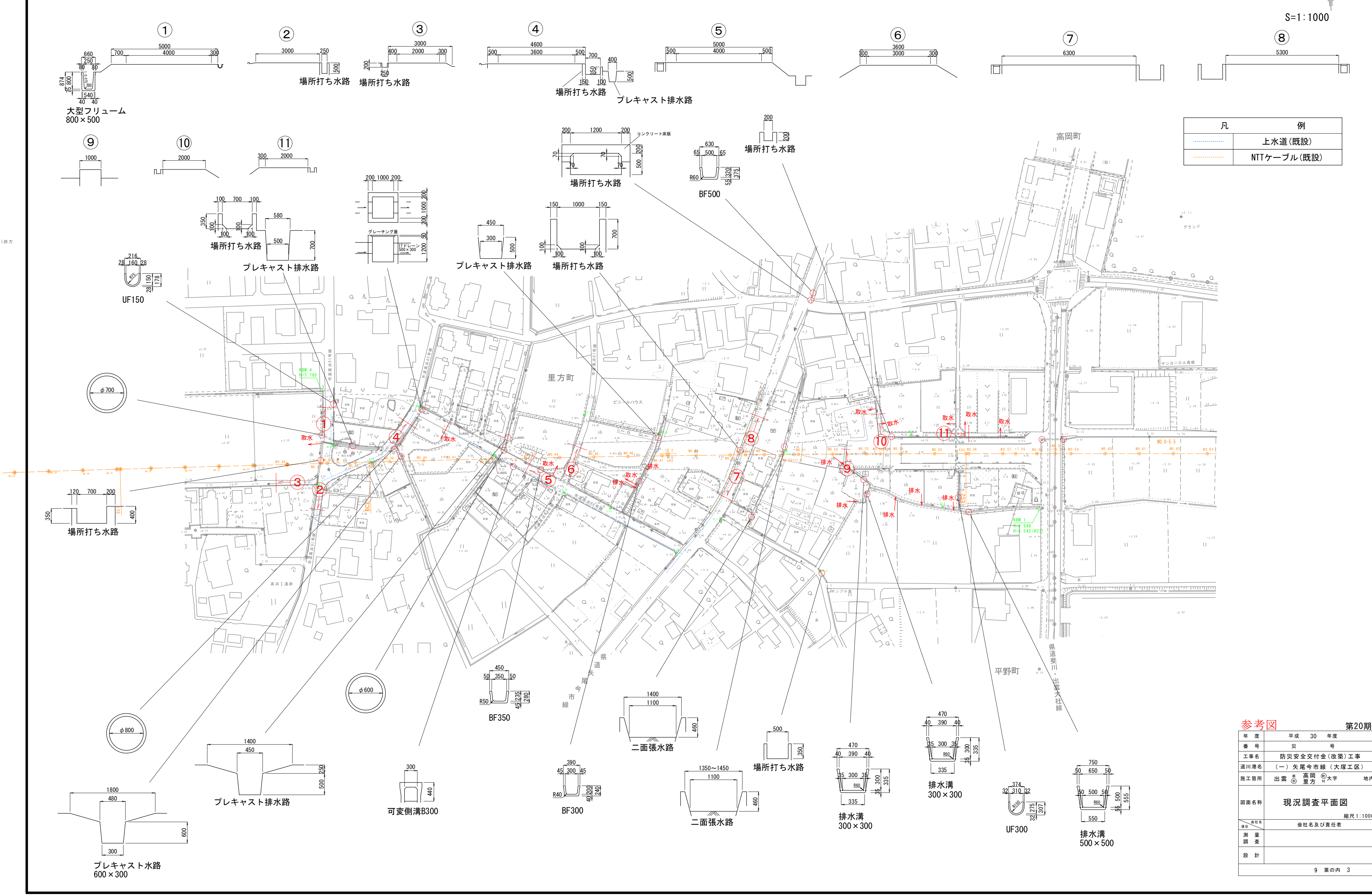
(一) 矢尾今市線　道路規格
第3種第2級
V=60km/hr
右折車線部
3500 750 3250 1500 1500 3250 750 3500
一般部
3500 750 3250 3250 750 3500

凡	例
	路面
	切土法面
	盛土法面
	排水路
	用水路
	コンクリート構造物
	上水道（既設）
	NTTケーブル（既設）
	幅杭

参考図　　第20期

年度	平成 30 年度
番号	災　号
工事名	防災安全交付金（改築）工事
道川港名	（一）矢尾今市線（大塚工区）
施工箇所	出雲 郡/㊞市 高岡 里方 ㊞町/村 大字　地内
図面名称	用排水系統図　縮尺1:1000
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設計	
9　葉の内　2	

現況調査平面図



参考図　第20期

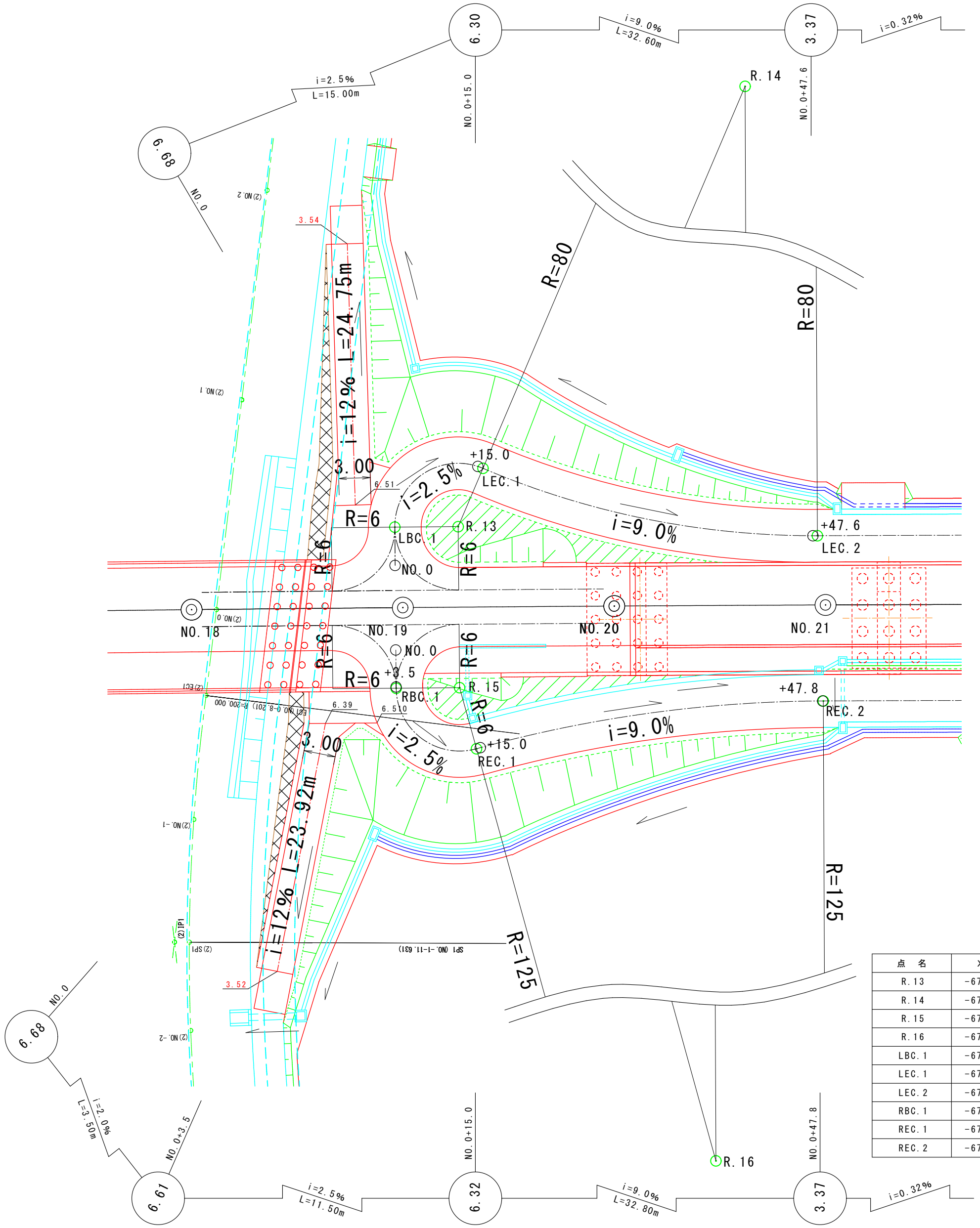
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊅市 高岡/里方 ㊅町/村 大字　地内
図面名称	現況調査平面図 縮尺1:1000
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	

9　葉の内　3

交差点計画詳細図

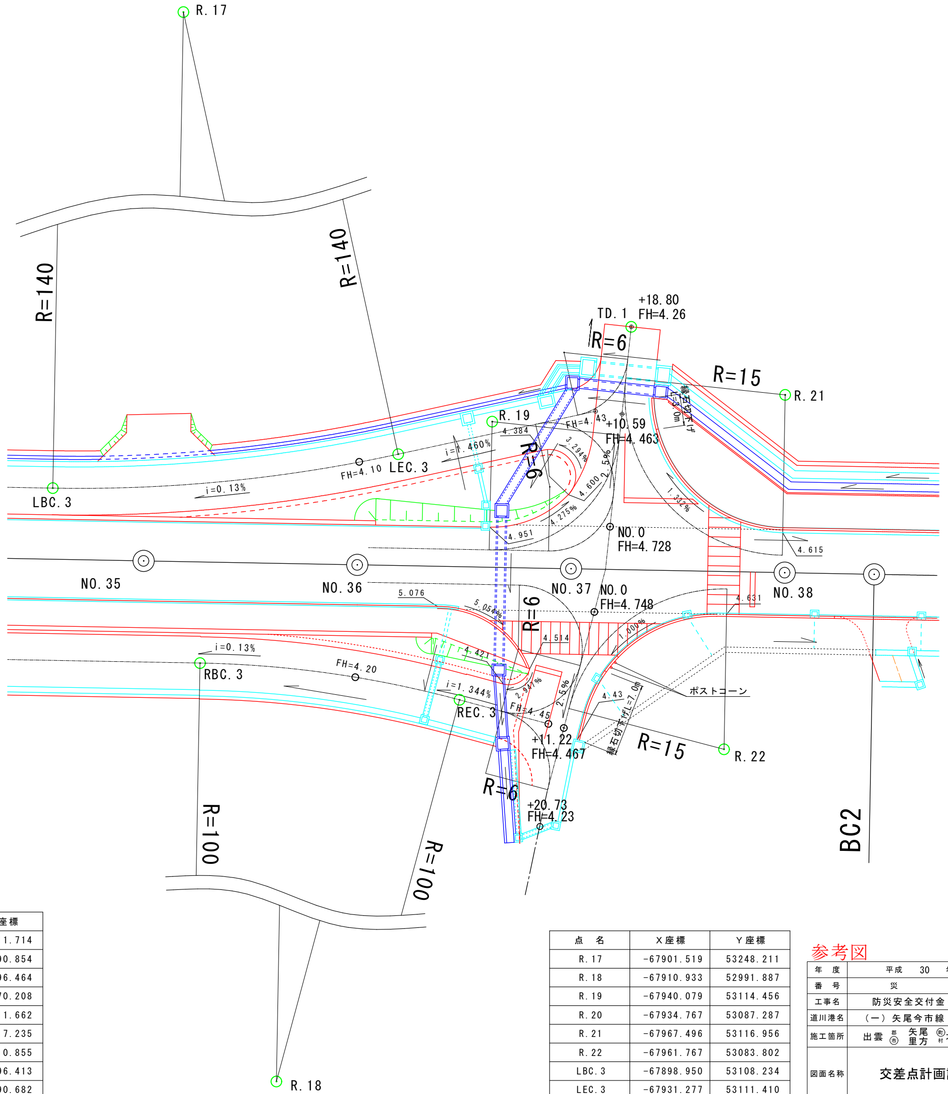
S=1:250

No.19付近



点　名	X座標	Y座標
R.13	-67592.714	53111.714
R.14	-67626.371	53190.854
R.15	-67592.846	53096.464
R.16	-67627.779	52970.208
LBC.1	-67586.715	53111.662
LEC.1	-67595.062	53117.235
LEC.2	-67626.706	53110.855
RBC.1	-67586.846	53096.413
REC.1	-67594.446	53090.682
REC.2	-67627.264	53095.207

No.37付近



点　名	X座標	Y座標
R.17	-67901.519	53248.211
R.18	-67910.933	52991.887
R.19	-67940.079	53114.456
R.20	-67934.767	53087.287
R.21	-67967.496	53116.956
R.22	-67961.767	53083.802
LBC.3	-67898.950	53108.234
LEC.3	-67931.277	53111.410
RBC.3	-67912.734	53091.870
RBC.4	-67937.014	53088.426
TD.1	-67953.088	53123.322
TD.2	-67945.215	53079.829

参考図　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊋ 矢尾/里方 ㊌/村 大字　地内
図面名称	交差点計画詳細図 縮尺 1:250
項目＼会社名	会社名及び責任者
測量調査	
設　計	

9 葉の内 4

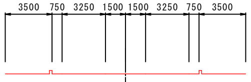
NO. 49+8付近交差点計画平面図

S=1:500

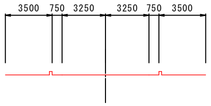
◎（一）矢尾今市線

第3種第2級
V=60km/hr

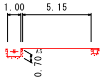
右折車線部, NO. 50～NO. 79付近一般部

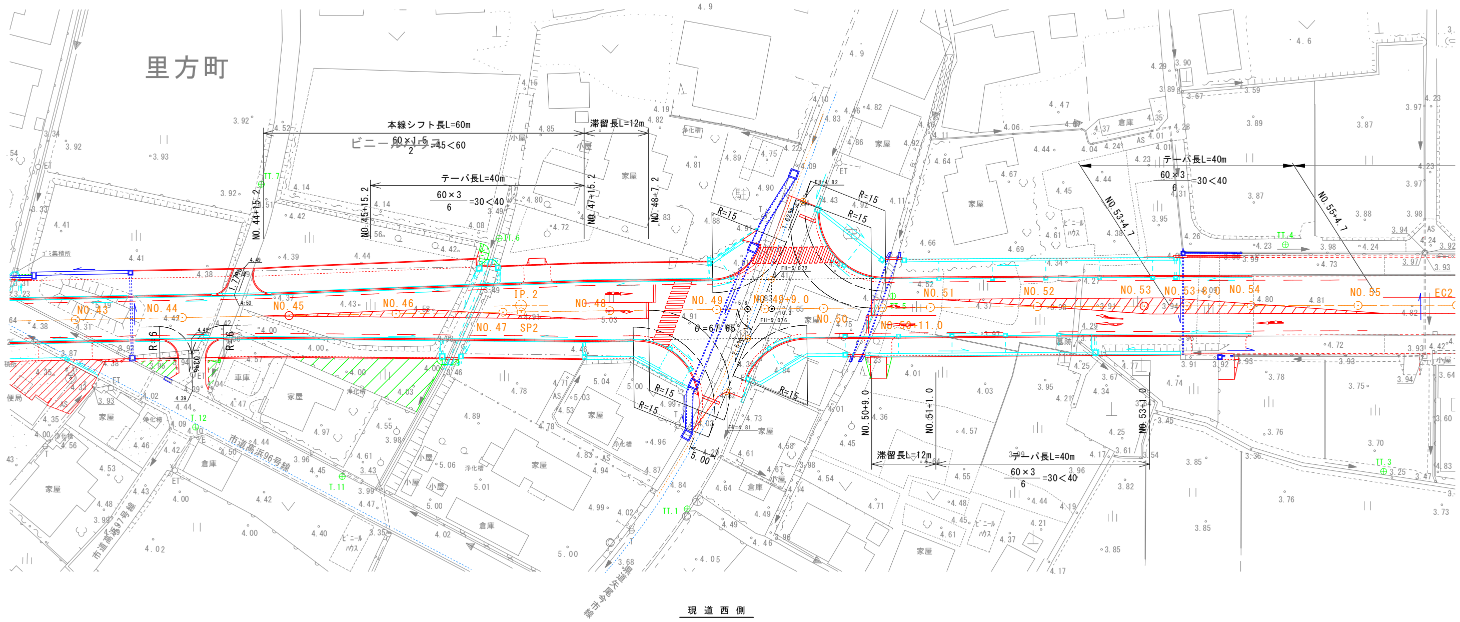


NO. 37～NO. 50付近一般部

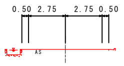


現 道 東 側





現 道 西 側

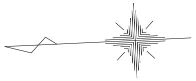


参考図

第20期

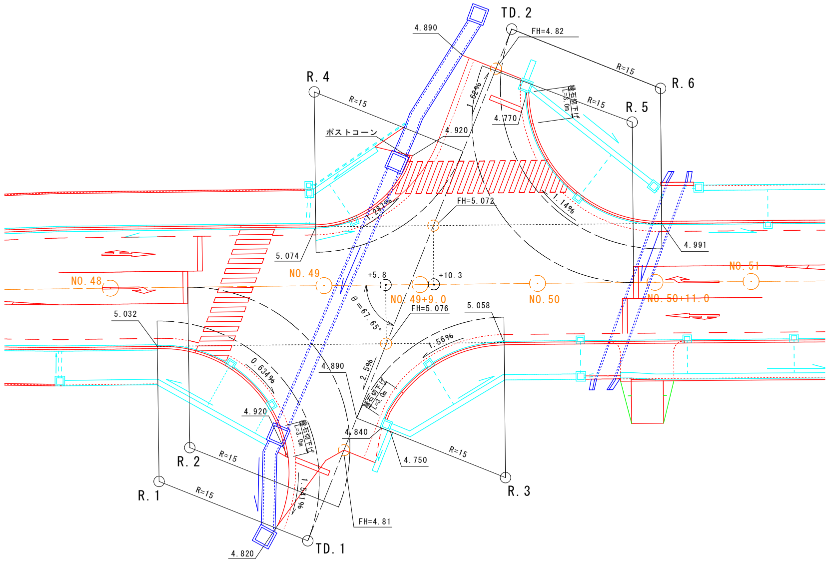
年　度	平成　30　年度
番　号	災　　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	（一）矢尾今市線（大塚工区）
施工箇所	出雲 郡 ㊖ 高岡 里方 ㊘ 村 大字　地内
図面名称	NO. 49+8付近 交差点計画平面図 縮尺 1:500
会社名 / 項目	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	
9　葉の内　5	

交差点計画詳細図



S=1:250

No.49＋8付近



点　名	X座標	Y座標
R. 1	-68171.087	53076.914
R. 2	-68174.107	53079.938
R. 3	-68203.512	53075.763
R. 4	-68187.299	53112.622
R. 5	-68216.911	53108.413
R. 6	-68219.706	53111.433
TD. 1	-68184.745	53070.713
TD. 2	-68206.048	53117.634

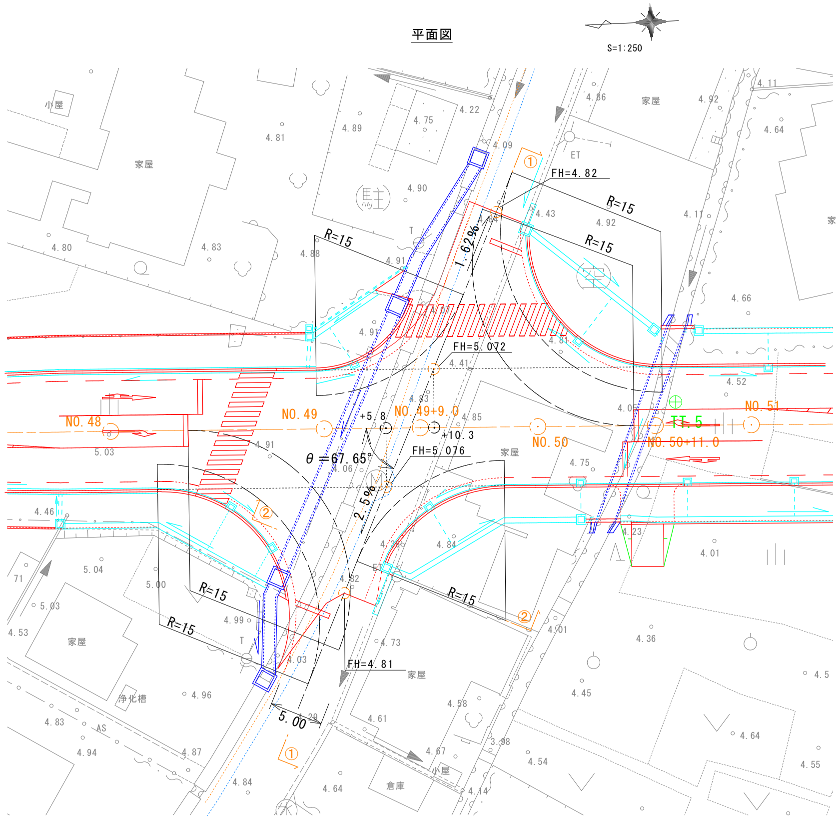
参考図　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊒市 高岡 里方 ㊐町 村 大字　地内
図面名称	交差点計画詳細図 縮尺 1:250
項目 ＼ 会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	
	9　葉の内　6

NO.49+8付近現道取付計画図

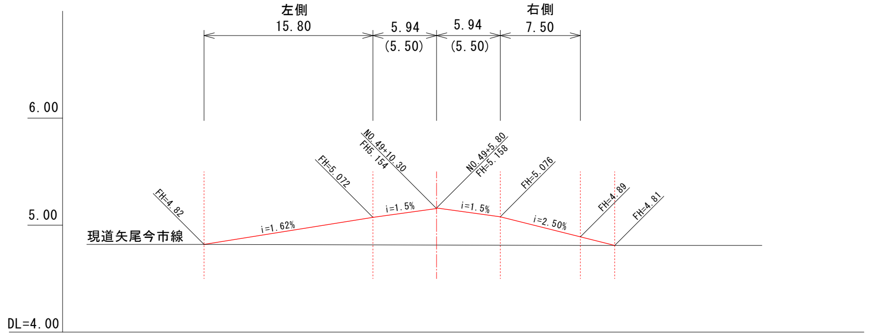
平面図

S=1:250



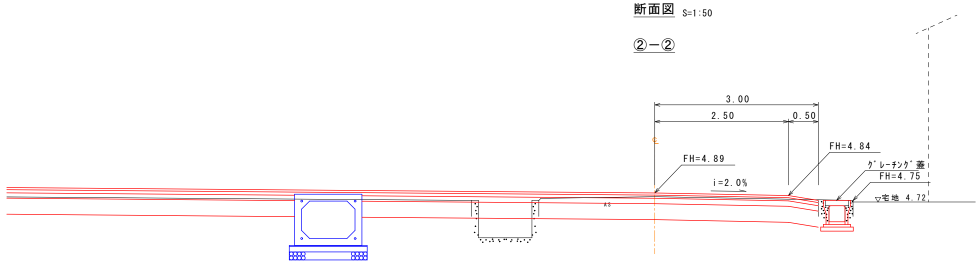
縦断図 SH=1:250 SV=1:25

①−①



断面図 S=1:50

②−②



DL=2.00

参考図

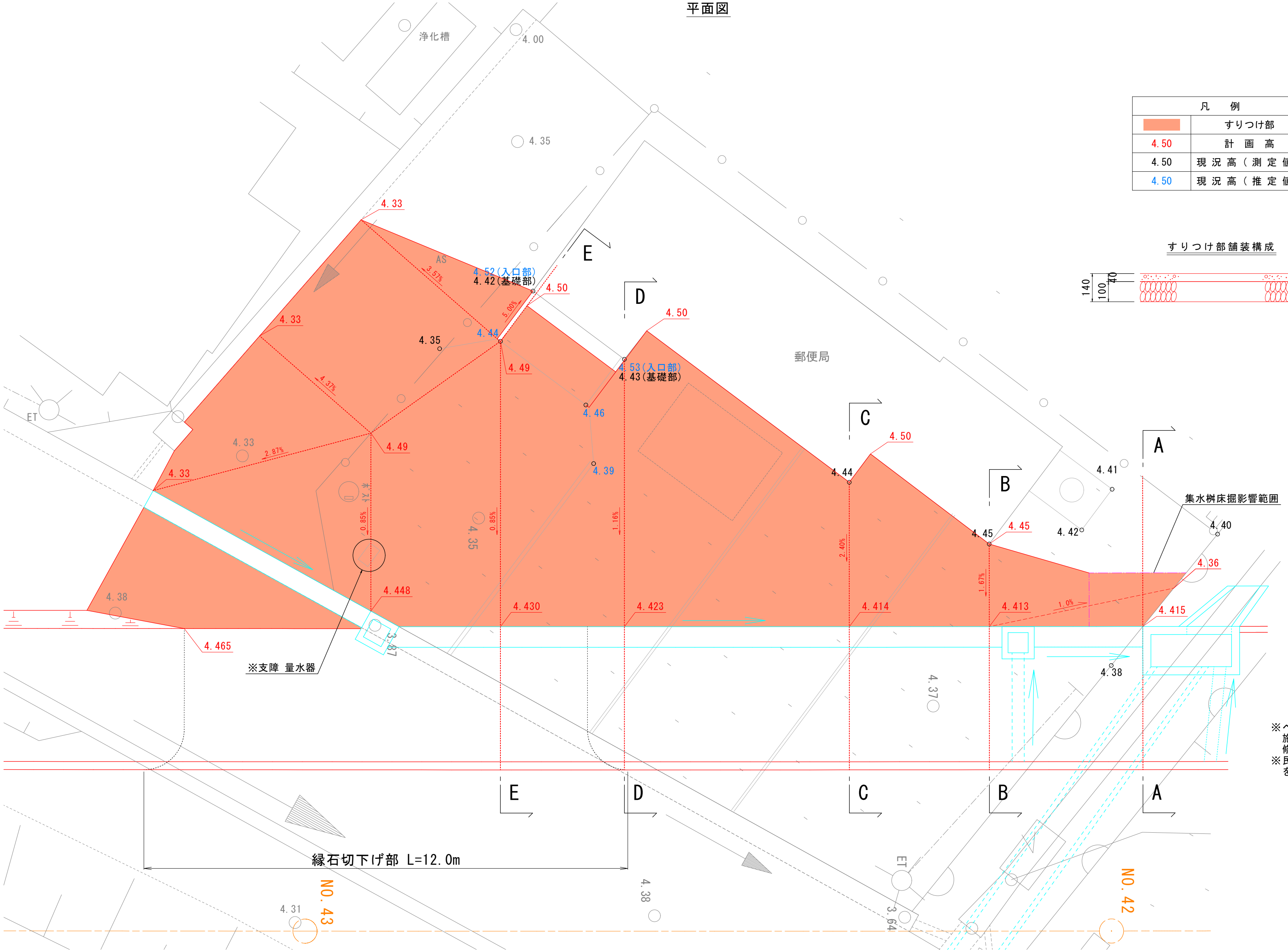
第20期

年度	平成 30 年度
番号	災 号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡 ㊕ 高岡 里方 ㊖ 村 大字 地内
図面名称	NO.49+8付近 現道取付計画図 縮尺 図示
項目 \ 会社名	会社名及び責任者
測量 調査	
設計	

9 葉の内 7

郵便局部すりつけ計画図(1) S=1:50

平面図



凡　例	
(着色)	すりつけ部
4.50	計 画 高
4.50	現況高(測定値)
4.50	現況高(推定値)

すりつけ部舗装構成

表　層 : 密粒度As
路　盤 : 切込砕石(RC-30)

※ペーロケによる概略すりつけ計画であるため、施工においては現地状況を確認し、計画を適宜修正すること。
※民地部の量水器が支障するため、出雲市と詳細を詰める必要がある。

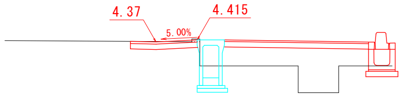
参考図　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/市 高岡/里方 町/村 大字　地内
図面名称	郵便局部すりつけ計画図 縮尺 1:50
項目 / 会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	
9　葉の内　8	

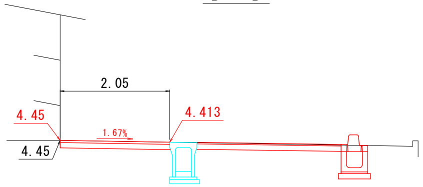
郵便局部すりつけ計画図(2) S=1:50

横断図

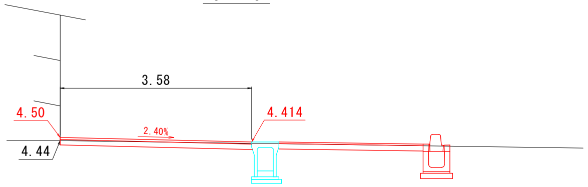
A － A



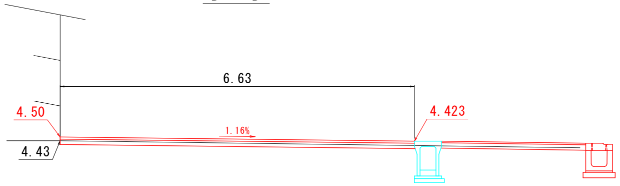
B － B



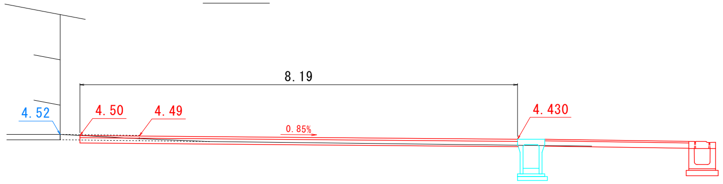
C － C



D － D



E － E



※ペーロケによる概略すりつけ計画であるため、施工においては現地状況を確認し、計画を適宜修正すること。
※民地部の量水器が支障するため、出雲市と詳細を詰める必要がある。

参考図　　第20期

年　度	平成　30　年度
番　号	災　　号
工事名	防災安全交付金(改築)工事
道川港名	(一) 矢尾今市線 (大塚工区)
施工箇所	出雲 郡/㊫ 高岡/里方 ㊮/村 大字　地内
図面名称	郵便局部すりつけ計画図 縮尺 1:50
項目＼会社名	会社名及び責任者
測　量 調　査	
設　計	
9　葉の内　9	